

総務文教常任委員会資料

平成30年6月7日

教育委員会教育振興部教育総務課

目 次

- 1 平成29年度教育委員会 点検と評価
- 2 平成29年度教育委員会 点検と評価 資料編
- 3 第2期加東市教育振興基本計画
実施計画〈平成28～32年度〉平成29年度

平成29年度

教育委員会 点検と評価

加東市教育委員会

はじめに

平成28年3月に策定した「第2期加東市教育振興基本計画」（平成28年度から平成32年度）に沿って、「学びから新しい自分づくりと地域づくりをめざす加東市に！」の実現のため積極的に取り組んでおり、平成29年度の加東の教育のスローガンは、平成21年度から目指している「人間力の育成」とし、将来の教育のかたちを見据えた小中一貫教育の推進、学校教育の分野では、確かな学力の定着、豊かな人間性の育成、健康体力づくり、不登校・いじめ等に対応する校内体制の整備等安全・安心で信頼される学校づくり、また、生涯学習の分野では、青少年健全育成、成人学習の充実、芸術・文化活動の振興、文化財保護事業の推進や生涯スポーツの普及、人権教育の分野では、共に生きる社会の実現に向けた人権教育・啓発の推進や男女共同参画事業の推進、図書館では資料・情報提供の充実や魅力ある蔵書の整備・充実など、幼児から高齢者に至る様々な教育活動を展開してきました。

また、これまで学校施設の耐震化100%、空調施設整備やICT機器の導入など学校教育環境の充実、そして、平成29年度からは、東条地域小中一貫校(仮称)の基本設計にとりかかり、平成33年開校に向けて事業を進めています。

とりわけ、平成25年度からは新規・重点事業の内、特に重点的に取り組んでいく事業を、加東の教育「かとう夢プラン」と位置づけ、様々な事業を推進してきました。

これらの取組みの一つ一つが「人間力の育成」に繋がり、加東市が掲げる「文化よし」のまちづくりのため、重要なステップであると考えており、平成29年度も概ね成果を挙げることが出来ました。

この報告書は、平成20年4月に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」により、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検と評価を行うことが義務付けられ、併せて議会へ評価の結果を報告し、公表しなければならないとされたことに基づくものです。

そこで、加東市教育委員会において、外部の方々の意見を聞きながら、加東の教育の点検と評価を行い、諸事業の成果と課題を明確にし、次年度への発展につなげていきます。

ご高覧いただき、今後ともご指導、ご鞭撻賜りますようお願いいたします。

平成30年3月

加東市教育委員会

目 次

	ページ
1 教育委員会の活動及び運営状況	… 1
(1) 教育委員会委員	… 1
(2) 教育委員会の開催状況及び付議された議案等	… 1
(3) 教育委員会以外の主な活動状況	… 3
2 平成29年度 加東の教育目標	… 4
3 平成29年度 主要事業の点検と評価	… 9
教育委員会の活性化	… 9
基本方針1 小中一貫教育を通して自立した子どもを育む学校教育の充実	
(1) 社会的自立に向けたキャリア形成の支援	… 10
(2) グローバル化に対応した教育の推進	… 11
(3) 地域人材や地域資産等を活用した「ふるさと学習」の推進	… 12
(4) 小中一貫校開校に向けた適切な準備	… 13
基本方針2 「生きる力」としての「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」 を育む教育の推進	
(1) 確かな学力・主体的に学ぶ態度の育成	… 15
(2) 自尊感情や思いやりの心の醸成	… 17
(3) 心身の健康増進・個性の伸長	… 19
基本方針3 子どもたちの学びや育ちを支える仕組みの確立	
(1) 学校の組織力及び教職員の資質能力の向上	… 23
(2) 安全・安心で信頼される学校づくり	… 25
(3) 子どもたちの健全な成長を見守り支える体制づくり	… 27
(4) 家庭の教育力の向上	… 28
基本方針4 生涯学習による、だれもが生きがいをもてる社会の形成	
(1) 生涯を通じた学びの機会・場の提供	… 30
(2) 文化財保護の推進と活用	… 32
(3) 生涯スポーツの普及と振興	… 33
(4) 社会教育・体育関係施設の管理・運営	… 35
(5) 市立図書館の充実	… 36
基本方針5 人権教育・啓発の推進による、共生社会と人権文化の創造	
(1) 豊かな人権感覚を培う人権教育・啓発	… 38
(2) 男女共同参画社会の実現のための意識・機会・環境・地域 づくり	… 40
4 評価委員所見	… 42

1 教育委員会の活動及び運営状況

(1) 教育委員会委員

区 分	氏 名	任 期	
教 育 委 員 長	大 島 巧 男	平成26年5月27日～ 平成30年5月26日	
委員長職務代行者	藤 本 洋 二	平成27年5月27日～ 平成31年5月26日	
委 員	神 崎 芳 美	平成28年5月27日～ 平成32年5月26日	
委 員	田 中 寿 一	平成29年5月27日～ 平成33年5月26日	新任
教 育 長	藤 本 謙 造	平成26年5月27日～ 平成30年5月26日	
委 員	浅 川 る り	平成25年5月27日～ 平成30年5月26日	退任

(2) 教育委員会の開催状況及び付議された議案等

開催日	番 号	案 件 名
4月28日	第 1 号議案	附属機関等委員の委嘱の件
	第 2 号議案	加東市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令の件について
	第 3 号議案	加東市学校給食センター規則の一部を改正する規則制定の件について
	報 告	1.平成28年度教育委員会の点検と評価について 2.平成29年度新規予算重点事業 3.東条地域小中一貫校の整備について
	報 告	各課主要行事予定・報告、後援名義の使用許可 9件
5月29日 (臨時)	第 1 議事	加東市教育委員会会議録署名委員の指名について
	第 2 議事	加東市教育委員会委員長の選任について
	第 3 議事	加東市教育委員会委員長職務代行者の選任について
	第 4 議事	加東市教育委員会会議録署名委員の指定順序について
5月30日	第 4 号議案	加東市適正就学指導委員会等規程の一部を改正する訓令制定の件について
	第 5 号議案	附属機関等委員の委嘱の件
	報 告	1.平成29年度「人権文化をすすめる県民運動」及び「ひょうご・ヒューマンフェスティバル」に係る共催について 2.東条地域小中一貫校について
	報 告	各課主要行事予定・報告、後援名義の使用許可 11件
6月29日	第 6 号議案	附属機関等委員の委嘱の件
	第 7 号議案	加東市英語指導助手の身分の取扱いに関する規則の一部を改正する規則制定の件
	第 8 号議案	図書館の臨時休館の件
	第 9 号議案	加東市加古川流域滝野歴史民俗資料館の閲覧料の無料化について
	報 告	1.専決処分の報告について 2.東条地域小中一貫校について
	報 告	各課主要行事予定・報告、後援名義の使用許可 16件
7月28日	第10号議案	加東市加古川流域滝野歴史民俗資料館の閲覧料の無料化についての件
	第11号議案	平成30年度小学校道徳教科用図書(検定本)における採択についての件
	報 告	1.加東市立小中学校 校区外・区域外就学許可基準について 2.東条地域小中一貫校について
	報 告	各課主要行事予定・報告、後援名義の使用許可 9件
8月29日	第12号議案	平成30年度学校教育法附則第9条に基づく一般図書採択について
	第13号議案	加東市体育施設条例の一部を改正する条例を制定することについて

	報 告	1.学校給食配送ルート変更の経緯について 2.東条地域小中一貫校について
	報 告	各課主要行事予定・報告、後援名義の使用許可 16件
9月29日	報 告	1.東条地域小中一貫校について 2.図書情報センター閉館について
	報 告	各課主要行事予定・報告、後援名義の使用許可 8件
10月31日	第14号議案	加東市立幼稚園設置条例の一部を改正する条例を制定することについて
	報 告	1.学校給食の異物混入について 2.東条地域小中一貫校について
	報 告	各課主要行事予定・報告、後援名義の使用許可 10件
11月28日	第15号議案	図書館の臨時休館の件
	第16号議案	加東市公民館条例の一部を改正する条例を制定することについて
	第17号議案	加東市教育委員会就学援助規則の一部を改正する規則制定の件
	第18号議案	加東市教育委員会就学援助要綱の一部を改正する要綱制定の件
	報 告	1.東条地域小中一貫校について 2.平成30年度新規予算要求重点事業
	報 告	各課主要行事予定・報告、後援名義の使用許可 8件
12月26日	第19号議案	加東市教育委員会規則及び加東市公民館規則の一部を改正する規則制定の件
	報 告	東条地域小中一貫校について
	報 告	各課主要行事予定・報告、後援名義の使用許可 8件
1月30日	報 告	1.東条地域小中一貫校について 2.平成30年度庁内組織について
	報 告	各課主要行事予定・報告、後援名義の使用許可 5件
2月27日	第20号議案	加東市臨時又は非常勤の嘱託員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて
	第21号議案	加東市いじめ問題対策連絡協議会条例を制定することについて
	第22号議案	加東市いじめ問題対策委員会条例を制定することについて
	第23号議案	加東市有害図書類及び有害がん具類等自動販売機設置の規制に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて
	第24号議案	加東市青少年問題協議会条例の一部を改正する条例を制定することについて
	第25号議案	加東市加古川流域滝野歴史民俗資料館条例の一部を改正する条例を制定することについて
	第26号議案	加東市加古川流域滝野歴史民俗資料館条例施行規則の一部を改正する規則制定の件
	第27号議案	加東市滝野文化会館条例の一部を改正する条例を制定することについて
	第28号議案	加東市東条文化会館条例の一部を改正する条例を制定することについて
	第29号議案	加東市文化財保護条例の一部を改正する条例を制定することについて
	第30号議案	地方自治法第180条の2の規定による補助執行について
	報 告	1.東条地域小中一貫校について 2.学校教育課予算について
	報 告	各課主要行事予定・報告、後援名義の使用許可 6件
	事前協議事項	平成29年度教育委員会の点検と評価について
3月29日	第31号議案	附属機関等委員の委嘱の件
	第32号議案	加東市英語指導助手の身分の取扱いに関する規則の一部を改正する等の規則制定の件
	第33号議案	加東市教育支援委員会規程制定の件
	第34号議案	加東市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則制定の件
	第35号議案	加東市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則施行規程の一部を改正する訓令制定の件
	第36号議案	加東市社会教育推進委員設置要綱を廃止する告示制定の件

	第37号議案	加東市教育委員会規則の一部を改正する規則制定の件
	第38号議案	加東市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令制定の件
	第39号議案	加東市教育研究所設置規則の一部を改正する規則制定の件
	第40号議案	機構改革に伴う関係訓令の整理に関する訓令制定の件
	第41号議案	加東市ひょうご放課後プラン事業運営委員会設置要綱の一部を改正する要綱制定の件
	第42号議案	加東市立学校施設使用条例施行規則の一部を改正する規則制定の件
	第43号議案	加東市学校給食センター規則の一部を改正する規則制定の件
	第44号議案	加東市東条地域小中一貫校開校準備委員会設置要綱の一部を改正する要綱制定の件
	第45号議案	加東市教育委員会事務局職員の任命の件
	報 告	1.平成29年度教育委員会の点検と評価について 2.東条地域小中一貫校について
	報 告	各課主要行事予定・報告、後援名義の使用許可 4件
3月30日 (臨時)	第46号議案	加東市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則制定の件
	第47号議案	加東市教育委員会事務局組織決裁規程の一部を改正する訓令制定の件
	第48号議案	加東市滝野複合施設規則の一部を改正する規則制定の件

(3) 教育委員会以外の主な活動状況

教育委員会委員は教育委員会への出席以外に次の行事等に出席しました。

- 市議会
 - ・本会議(教育長)
 - ・予算特別委員会、決算特別委員会、各常任委員会(教育長)
- 総合教育会議(12月6日)
- 学校訪問(5月30日、6月6日、6月8日、6月12日、6月13日)
- 各種学校行事
 - ・小中学校入学式、幼稚園入園式(小中学校4月10日、幼稚園11日)
 - ・小中学校PTA総会、幼稚園PTA総会
 - ・学校園オープン:5月(3校園)、6月(12校園)、10月(11校園)、11月(4校園)、12月(2校園)、1月(8校)
 - ・小学校水泳交歓会(7月27日社小、滝野東小)
 - ・幼稚園小学校運動会(9月23日、30日)、中学校体育祭(9月16日)
 - ・小中学校音楽会・発表会
 - ・学習発表会
 - ・学校経営研究発表会(11月2日福田小、11月17日社中)
 - ・ICT教育推進事業実践校発表会(10月24日東条西小、11月7日三草小)
 - ・小中学校卒業証書授与式、幼稚園卒園式(幼稚園3月16日、小学校3月22日、中学校3月9日)
 - ・小中学校長会、幼稚園長会(教育長)
- 各種会議及び研修会
 - ・市町村教育委員会教育長会議(4月17日教育長)
 - ・兵庫県都市教育長協議会(5月24日教育長)
 - ・兵庫県女性教育委員の会総会・研修会(6月28日女性教育委員)
 - ・播磨東地区教育長会議(7月24日教育長)
 - ・播磨東地区教育委員会連合会理事会・総会(7月27日教育長)
 - ・播磨東地区教育長・教育委員連合会合同研修会(7月27日、11月28日)
 - ・全県教育委員研修会(5月22日)
 - ・全県教育長研修会(8月22日、23日)
- その他行事等
 - ・加東市新成人の集い(1月7日)
 - ・各種市内イベント・大会及び研修会等

2 平成29年度 加東の教育目標

スローガン「人間力の育成」

－ 学びから新しい自分づくりと地域づくりをめざす加東市に！ －

人間は、自らの学びや他者との学び合いによって、心身共に成長するものである。人間何歳になっても、「新しいことが分かった」「できた」など自分が変わることの喜びや生きがいを感じるものであり、それが生涯を通して学び続ける意欲を高める。

しかし、近年、少子高齢化・グローバル化・高度情報化の進展など、教育を取り巻く環境は、大きく変化している。さらに、生活習慣の多様化や核家族化から、特に子どもたちにとっては、学校外で群れ遊ぶ機会や幅広い年齢の人々と触れ合う機会が減少している。

このような状況の中、児童生徒に対し、確かな学力の定着はもちろんのこと、豊かな情操や規範意識、他者への思いやりなどの道徳性の育成、体力や運動能力の向上など、学校教育の担う役割はますます重要となっている。

そこで、教育の方針である「第2期加東市教育振興基本計画（平成28年3月）」に掲げる基本理念『「人間力の育成」－学びから新しい自分づくりと地域づくりをめざす加東市に！－』を平成29年度の教育のスローガンと定めた。

そして、第2期加東市教育振興基本計画の最終年度である平成32年度の計画達成にむけ、年次ごとの評価・点検を行なうための実施計画を作成し取り組むこととした。

学びを通じた市民の生きがいづくりを目指し、「人間力」の向上を図っていくことは、学びから新しい自分づくりと地域づくりを目指す加東市の実現に繋がっていくものと考えます。

教育員会の活性化

・教育委員会の運営

教育委員会が教育の推進役を担うため、積極的に学校訪問や各種研修会等に参加して見識を広め、学校や社会教育等に提言、助言を行う。

・主要施策

教育振興基本計画の基本理念を実現するため、5つの基本方針の基本的方向別に取り組む施策である。

基本方針

1. 小中一貫教育を通して自立した子どもを育む学校教育の充実

多様な教育課題や少子高齢化といった教育環境の変化に対応し、未来を担う

子どもたちにより良い学びと成長を支援するすぐれた学習環境の提供のため、小中一貫教育を推進し、学校教育の一層の充実を図る。

(1) 社会的自立に向けたキャリア形成の支援

児童生徒の発達段階に応じた体系的な体験活動を実施し、豊かな情操や社会性を育む。

(2) グローバル化に対応した教育の推進

*小中学校での外国語活動をより充実させ、児童・生徒の英語力及び学習意欲の向上を図る。

*ICT機器を効果的に活用した授業づくりを推進し、学習課題への興味付けや思考する場の提供等授業の質の向上を図る。

(3) 地域人材や地域資産等を活用した「ふるさと学習」の推進

ふるさと学習「かとう学」の副読本とカリキュラムの作成を進める。

(4) 小中一貫校開校に向けた適切な準備

*小中一貫教育の推進に向け、小小連携、小中連携による児童生徒の交流活動を一層充実させる。

*義務教育9年間を通して自立した子どもを育む小中一貫教育について、学校、保護者及び地域の意見を取り入れながら、その課題を整理し、東条・社・滝野地域の順に小中一貫校の整備を進める。

2. 「生きる力」としての「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む教育の推進

子どもたちが、心身共に健康で、幅広い知識と教養や豊かな情操と道徳心を身につけるため、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の「生きる力」をバランスよく育む教育を推進する。

(1) 確かな学力・主体的に学ぶ態度の育成

*全国学力・学習状況調査の結果を分析し、児童・生徒の学力の実態把握に基づききめ細かな指導の充実努める。

*自主学習室の設置や家庭学習の手引き等による学習方法のポイントの提示等により、児童・生徒が自主的に学ぶ態度を育成する。

*インクルーシブ教育システムを充実させ、一人一人の教育的ニーズを把握し、きめ細かい教育的な支援を行う。(平成29年6月から「はびあ」オープン)

*幼・保・小連携を推進し、幼児一人一人の特性に応じた教育・保育の充実を図る。

(2) 自尊感情や思いやりの心の醸成

学校の教育活動全体を通じて道徳教育の充実を図り、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む。

(3) 心身の健康増進・個性の伸長

*体力・運動能力調査の結果を分析し、系統的・計画的に児童生徒の体力・運

動能力の向上を図る。

- * 地域や保護者・高校と連携して食育を推進し、子どもたちの望ましい食習慣の形成を図る。
- * 学校給食を活用した食育指導を行い、地産地消の推進や楽しみのある学校給食特別メニューの実施等による魅力ある学校給食を行う。
- * 学校給食に対する理解を深めてもらうため、給食センター見学会、親子料理教室、給食試食会等を実施する。

3. 子どもたちの学びや育ちを支える仕組みの確立

子どもたちの成長に関わる当事者である学校・家庭・地域が、責任と役割を果たし、互いに連携・協力して子どもたちの教育に取り組む。

(1) 学校の組織力及び教職員の資質能力の向上

喫緊の教育課題について大学教授等専門的見識を持つ講師を招聘した研修を実施する。また、授業研究や事例検討会等校内研修を一層充実させることで、教職員の資質と実践的指導力の向上を図る。

(2) 安全・安心で信頼される学校づくり

- * いじめや不登校等、こころに悩みを抱えた児童・生徒の早期発見に努め、悩みの解決に向けた支援体制を整える。
- * いじめ防止基本方針に基づき教職員の協働体制を充実させ、いじめの根絶を目指す。
- * 地域、保護者や警察等関係機関と行動連携を図り、より一層、子どもたちの安全の確保に努める。
- * 安全・安心で質の高い教育環境の確保のため、計画的に学校施設等の維持管理を行う。

(3) 子どもたちの健全な成長を見守り支える体制づくり

学校教育活動について、学校オープンや各種通信、HP等を活用して積極的に保護者や地域住民への周知を図り、開かれた学校づくりを推進する。

(4) 家庭の教育力向上

地域、家庭や関係機関等とも連携して、子どもたちに製作活動や野外活動、そして地域や伝統文化などを学習・体験できる場と機会を提供するとともに、青少年の健全育成関係団体の育成・支援を行う。

4. 生涯学習による、だれもが生きがいをもてる社会の形成

生涯学習や市民スポーツ等を通じて、学習や体験をする機会を提供し、多種の生きがいを育み、そして市民が有意義で活力に満ちた人生を送れるよう支援する。

(1) 生涯を通じた学びの機会・場の提供

- * 各年代に応じた多種にわたる学習の場と機会を創出・提供し、生きがいを育

むとともに、成人の社会教育関係団体を育成・支援を行う。

*市民が文化・芸術に触れる機会を数多く設け、市の文化振興に努めるとともに、各種の文化・芸術団体を支援する。

(2) 文化財保護の推進と活用

市内の貴重な文化財の保護と伝承・活用に努め、地域と連携して後継者の育成を図る。

(3) 生涯スポーツの普及と振興

体力・年齢に応じたスポーツの場と機会を数多く提供し、スポーツ振興や健康増進に努め、地域コミュニティ、生きがいを育むとともに、市のスポーツ振興に寄与する団体の育成・支援を行う。

(4) 社会教育・体育関係施設の管理・運営

市民が便利で快適に利用できるよう、適切な管理・運営を行う。

(5) 市立図書館の充実

*活字文化を通して、こころ豊かで自発的なまちづくりに役立つよう、市民の読書環境を整える。

*図書館の使命である貸出を中心とした資料提供の充実を図り、市民の暮らしを高めるサービスを行う。

*次世代の子どもたちが本と触れ合える機会を提供する。

5. 人権教育・啓発の推進による、共生社会と人権文化の創造

「加東市人権尊重のまちづくり基本計画」に基づき、同和問題を重要な柱に据えて、さまざまな人権にかかわる課題の解決に向けて、計画的・総合的に取り組む。

(1) 豊かな人権感覚を培う人権教育・啓発

*加東市人権・同和教育研究協議会の活動を通して、地区毎にきめ細かい人権意識の高揚を図り、人権尊重のまちづくりを進める。

*各種人権講演会等を通して、さまざまな人権問題の早期解決や人権尊重のまちづくりを推進する。

*インターネットを悪用した人権侵害等が発生しており、小中学校と連携して人権教育講演会を開催し、人権尊重のための教育を推進する。

*子どもの人権作文、絵画等を活用して、市民への人権啓発を行う。

*福祉の向上と人権意識の高揚を図るため、広域隣保活動事業を行う。

*人権尊重の精神の芽生えが感性として育まれる幼児期に「絶対人権感覚」に関するプログラムを活用したセミナーを開催し、幼児期の人権教育事業を行う。

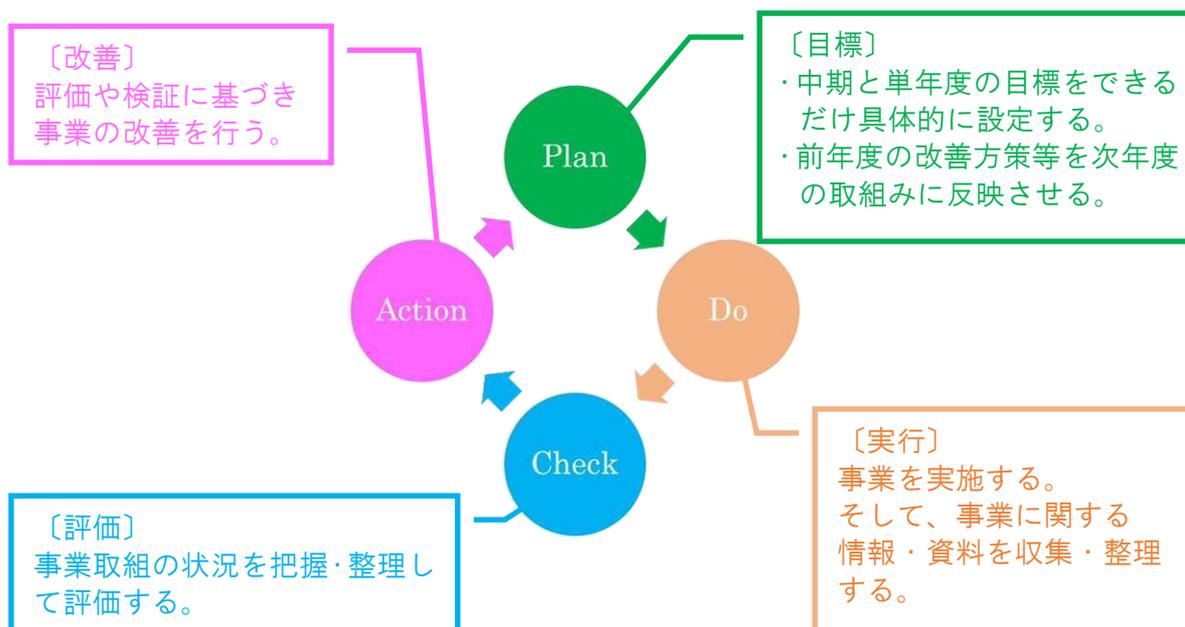
*インターネット上の人権侵害事件を監視するため、インターネットモニターリング事業を行う。

(2) 男女共同参画社会の実現のための意識・機会・環境・地域づくり

「男女共同参画プラン」を実践するため、セミナーや各種講演会等を通して、男女共同参画の意識の啓発を行う。

評価基準

平成28年3月に策定した「第2期加東市教育振興基本計画」の実施計画を作成し、基本方針の基本的方向別に評価する。



点検と評価表は、目標設定（Plan）、取組内容（Do）、成果と評価（Check）、今後の課題（Action）で整理している。

なお、2020年（平成32年）度の目標値と比較し、評価基準は、次のようにアルファベットをもって評価した。

A	目標以上を達成している
B	目標に向けて順調に推移している
C	順調に推移していない
D	見直しが必要

3 平成29年度主要事業の点検と評価

教育委員会の活性化

所管課 教育総務課

取組	教育委員会での施策提言、活発な意見交換、学校教育や社会教育の方針決定、各種行事・研修会への積極的な参加					
		2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
1	教育委員会の活性化 教育委員会での議論や学校訪問や各種研修会への参加	議論 活動	議論 活動	⇒		

H29

【点検と評価】

	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
年度評価	A	A			

凡例 (→表示) 単年事業 ⇒ 複数年事業 ⇨

所管課	教育総務課							
目標設定 Plan	成果指標	単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
	活発な議論、研修会や研究発表会、学校訪問への参加			議論 活動	議論 活動	⇒		
	評価目標値 活発な議論、積極的な参加:「A」、参加や出席あり:「B」、参加や活動が減:「C」、参加や活動減が続く:「D」							
取組内容 Do	①教育委員会の活性化 * 定例教育委員会(毎月)と臨時教育委員会を開催した。 1 * 学校訪問や研究発表会、運動会への出席、各種式典、各種研修会へ参加した。 * 加東市総合教育会議に出席し、市長と協議した。							
	関連事業	① 小学校・中学校・幼稚園への学校訪問						
成果と評価 Check	取組	継続課題	成果					
	①	▷ 小中一貫校開校に向けた取組を推進し、教育全般に関する活発な議論	▶ 定例教育委員会で、小中一貫教育の推進への取り組み報告、学校教育や社会教育について活発な意見交換や、議案に対し慎重に審議を行った。 ▶ 学校訪問、各種行事・研修会(5回)への積極的な参加により学校教育・社会教育現場の現状把握を行い、定例教育委員会での意見交換や提言に繋げることができた。(学校訪問、各種研修会、学校経営研究発表会、入学(園)式、卒業(園)式、成人式、オープンスクール、音楽会、人権講演会、人権研修会、スポーツ大会、文化行事等) ▶ 加東市総合教育会議(12/6)において、東条地域小中一貫校の基本設計案や「はぴあ」の活動報告、貧困対策や新教育長制度などの協議を行った。					
	評価	以上の活動を行ったので、評価は「A」とします。						
今後の課題 Action	取組	課題や改善点						
	①	◇ 新教育長のリーダーシップにより、事務局を総括し活発な議論や活動を行う。 ◇ 東条地域小中一貫校の平成33年開校に向けた取組み(施設整備など)を推進し、教育全般に関する案件の活発な議論を行う。						

H29

【点検と評価】

基本方針1	小中一貫教育を通して自立した子どもを育む学校教育の充実	年度評価	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
基本的方向(1)	社会的自立に向けたキャリア形成の支援		B	B			

所管課	学校教育課							
目標設定 Plan	成果指標	単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
	将来の夢や目標を実現するために努力している児童生徒の割合(小・中)	目標値 (%)	56.3	57	59	61		65
		実績値 (%)		57.2	57.8			
評価目標値 将来の夢や目標を実現するために努力している児童生徒の割合65%以上:「A」、56%以上:「B」、46%以上:「C」、46%未満:「D」								
取組内容 Do	①体験活動をととして職業観、勤労観を培う進路指導の充実 1 職業観、勤労観を培うため、系統性を重視した進路学習を実施した。 2 主体的に進路選択し、決定できる能力や態度を育成するため、個に応じた進路指導を実施した。							
	②家庭や地域と連携した組織的・系統的なキャリア教育の推進 1 キャリアプランニング能力を育成するため、「キャリアノート」を活用した取組を推進した。 2 他者と協力・協働して社会に参画する態度や、自ら考え主体的に行動し、問題を解決する能力を育成するため、トライやる・ウィーク等、多様な体験活動を取り入れたキャリア教育を推進した。							
関連事業 ①② 地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」推進事業								
成果と評価 Check	取組	継続課題	成果					
	①②	▶ キャリアノートを活用した系統的なキャリア教育の推進	▶ 学校、家庭、地域の連携のもと、「トライやる・ウィーク」等の体験学習を実施することにより、地域の人々の暮らしを支える仕事や地域とのつながり、学ぶことや働くことの意義について考えさせることができた。 ▶ 「トライやる・ウィーク」を3校合同で実施し、受け入れ事業所を拡大することができた。					
評価		将来の夢や目標を実現するために努力している児童生徒の割合が57.8%であったため、評価を「B」とします。						
今後の課題 Action	取組	課題や改善点						
	①②	◇ 「キャリアノート」を活用した取組等、小中連携したキャリア教育を推進する。 ◇ トライやる・ウィークの事業所を新しく開拓する。						

H29

【点検と評価】

基本方針1	小中一貫教育を通して自立した子どもを育む学校教育の充実	年度評価	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)	
基本的方向(2)	グローバル化に対応した教育の推進		B	B				
所管課	学校教育課							
目標設定 Plan	成果指標	単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
	英検3級相当以上の英語力を有する中学校3年生の割合	中(%)	38.9	40	42	45		50
		実績値	中(%)	39.9	43.9			
	評価目標値 英検3級相当以上の英語力を有する中学校3年生の割合が50%以上:「A」、39%以上:「B」、35%以上:「C」、35%未満:「D」							
取組内容 Do	<p>①外国人留学生や姉妹都市の学校との交流等による国際理解教育の推進</p> <p>1.2 外国人と意欲的にコミュニケーションをとろうとする態度や多文化理解の精神を育成するため、外国人留学生や姉妹都市の学生や学校との交流を実施した。</p> <p>②英語教育の充実</p> <p>1.2 英語に慣れ親しませ、英語によるコミュニケーション能力を育成するため、ALTを活用した授業や小学校からの英語活動を実施した。</p> <p>3.4 より実践的な英語力の向上を図るため、市独自の「かとう英語ライセンス制度」や「加東わくわく英語村」等を改善を加えて実施した。</p> <p>5 英検の検定料を助成した。</p> <p>③ICT機器を活用したプレゼンテーション活動の充実</p> <p>1 発達段階に応じた情報活用能力をバランスよく育成するため、アンケートにより児童生徒の実態を調査し、今後の取組について検討した。</p> <p>2 正しく安全にインターネットを利用する態度や能力を育成するため、専門家を招聘し、情報モラル学習を実施した。</p> <p>3.4 ICT機器を授業で効果的に活用できるよう、研究や研修の充実を図った。</p>							
関連事業	<p>① 外国人留学生との交流 姉妹都市(オリンピア市)の学校との交流</p> <p>② かとう英語ライセンス制度 加東わくわく英語村 英検検定料助成事業</p> <p>③ ICT教育研究推進事業 情報モラル学習</p>							
成果と評価 Check	取組	継続課題	成果					
	①	▶ 姉妹都市の学校との交流の継続	▶ 姉妹都市からの訪問生徒との交流を行うとともに、学校に送付する交流物の準備を行った。					
	②	▶ 校内研修の充実	▶ 課題と今後の方向性を共有するため、市英語教育推進委員会を開催するとともに、市内研修会を実施し、今後の研修の指針とした。各校では、新教育課程に係る研修やALTを活用した英語力向上研修を行った。					
	③	▶ 情報活用能力指標の作成	▶ 情報活用能力指標を作成し、児童生徒に身に付けたい力を具体化することができた。					
	評価	英検3級相当以上の英語力を有する中学校3年生の割合が43.9%だったため、評価を「B」とします。						
今後の課題 Action	取組	課題や改善点						
	①	◇ 外国人留学生や姉妹都市の学校との交流に引き続き取り組む。						
	②	◇ 小学校英語教育の移行期間を踏まえ、市内及び校内の研修の充実を図るなど、小中一貫した英語教育充実のための取組を進める。						
	③	◇ 児童生徒の情報活用能力の育成のため、情報活用能力指標を活用した取組を推進する。						

H29

【点検と評価】

基本方針1		年度評価			2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
基本的方向(3)		地域人材や地域資産等を活用した「ふるさと学習」の推進			B	B			
所管課	学校教育課								
目標設定 Plan	成果指標		単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
	ふるさと学習「かとう学」の副読本の作成準備状況	目標値	%	なし	20	40	60		100
		実績値	%		20	40			
評価目標値 副読本作成の進捗進行率30%以上:「A」、20%以上:「B」、10%以上:「C」、10%未満:「D」									
取組内容 Do	<p>①地域人材や地域資産を活用した、地域に学ぶ「ふるさと学習」の実施</p> <p>1 「ふるさと学習」副読本の内容を検討した。 2 地域人材や地域資産等を活用した郷土の歴史や文化等にふれる副読本を作成した。 3 ゲストティーチャーを積極的に活用した。</p> <p>関連事業 ① 小学校「加東遺産」めぐりの旅</p>								
成果と評価 Check	取組	継続課題			成果				
	①	<p>▶「ふるさと学習」の内容の精選と編集作業の推進</p> <p>▶学校や関係部署との連携による、ゲストティーチャーの登録の充実</p>			<p>▶加東市教育研究所員会を開催し、副読本上巻・下巻の二部構成で掲載内容を検討した。そして、上巻と下巻ごとに原稿案を作成した。</p> <p>▶「加東遺産」めぐり、総合的な学習の時間等において、ゲストティーチャーを招聘することで学習を深めることができた。</p>				
		評価	副読本の掲載内容について、教育研究所員会において協議や調整が順調に進み、進捗進行率が+20%であったので、評価を「B」とします。						
今後の課題 Action	取組	課題や改善点							
	①	<p>◇「ふるさと学習」の内容を精選し、編集作業を進める。</p> <p>◇学校や関係部署と連携を図り、ゲストティーチャーの登録を充実させる。</p> <p>◇副読本作成と共に、副読本の活用促進を計画する。</p>							

H29

【点検と評価】

基本方針1	小中一貫教育を通して自立した子どもを育む学校教育の充実		年度評価		2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
基本的方向(4)	①	小中一貫校開校に向けた適切な準備			B	B			
所管課	学校教育課								
目標設定	成果指標		単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
Plan	統合する小学校間や小中学校間で児童生徒の交流活動を実施した学級の割合	目標値	%	33	38	43	48		55
		実績値	%		40	44			
	評価目標値 交流活動実施率55%以上:「A」、40%以上:「B」、33%以上:「C」、33%未満:「D」								
取組内容	①小中一貫校開校に向けた児童生徒の交流活動と教職員研修の計画的な実施								
Do	<p>1 小学校間の児童交流、小中学校間児童生徒交流の計画的な実施</p> <ul style="list-style-type: none"> * 学年毎の校外学習の機会を捉えて、交流を実施した。自然学校や水泳交歓会、陸上記録会等の行事において交流機会を設けた。 * 小学校児童の中学校での部活動体験や授業体験を実施した。 <p>2 計画的、継続的な教職員研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> * 9年間の教科カリキュラム作成を小中合同担当者研修会で実施した。 * 道徳の研修を小中一貫の4-3-2制のステージで実施した。 * 中学校区ごとにカウンセリングマインド研修を実施した。 <p>3 小中一貫教育カリキュラムの早期作成と試行</p> <ul style="list-style-type: none"> * 義務教育9年間を見通した系統性のある教科カリキュラム(4教科)を作成した。 								
	関連事業 ① 道徳教育実践研究事業								
成果と評価	取組	継続課題	成果						
Check	①	<ul style="list-style-type: none"> ▷ 教職員研修の計画的な実施。 ▷ 体験活動を通じた小中学校間交流の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 先進校の教育研究会に参加し、9年間の学びの姿を実際に参観し、研修を深めた。 ▶ 自然学校の同日程実施に加え、学習成果の学校間発表や校外活動の合同開催を行うことで、交流を広めた。 ▶ 先行的に4教科(国語、社会、算数・数学、理科)のカリキュラムを作成した。 						
	評価	交流活動実施学級は東条地域では100%となり、市内全域でも40%を超えている。順調に推移しているため、評価を「B」とします。							
今後の課題	取組	課題や改善点							
Action	①	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 小中学校間交流を児童会生徒会活動や体験活動等に広げる。 ◇ 4教科以外のカリキュラムを作成する。 ◇ 教科カリキュラム作成等による教職員の負担軽減を図る。 							

H29

【点検と評価】

基本方針1	小中一貫教育を通して自立した子どもを育む学校教育の充実	年度評価	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
基本的方向(4) ②	小中一貫校開校にむけた適切な準備		B	B			

所管課	教育総務課、学校教育課							
目標設定 Plan	成果指標	単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
	目標値	-						H33開校
	実績値	回数		開校準備委員会 3	開校準備委員会 3			
評価目標値 H33開校(東条):「A」、順調に協議や調整ができた:「B」、協議や調整が遅れた:「C」、協議や調整できない:「D」								
取組内容 Do	②「小中一貫校開校準備委員会」の設置、運営 1 加東市東条地域小中一貫校開校準備 * 開校準備委員会を開催した。 * 専門委員会、部会を開催した。							
関連事業 ② 小中一貫校用地取得、基本設計								
成果と評価 Check	取組	継続課題	成果					
	②	▷ 開校準備委員会の運営、小中一貫校建設・開校準備、小中一貫教育に関する情報発信	▶ 開校準備委員会(5/29、11/15、H30/1/23)等で、基本設計、通学路について、協議し、案を作成することができた。 ▶ 専門委員会 ◇施設整備委員会(12/7、12/27) ◇学校運営委員会(H30/1/16) ◇通学路等安全対策部会(12/6) ▶ 小中一貫校建設に向けて、用地を取得できた。 ▶ 公募型プロポーザルにより、設計業者を選定し、基本設計書をまとめた。 ▶ 広報かとうや市ホームページを使用して、情報発信を行った。					
評価		順調に協議を進められたので、評価を「B」とします。						
今後の課題 Action	取組	課題や改善点						
②		◇ 開校準備委員会を小中一貫校開校に向け、検討や課題を協議するために、開校スケジュールに合わせ運営する。						

H29

【点検と評価】

基本方針2	「生きる力」としての「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む教育の推進	年度評価	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
基本的方向(1)	確かな学力・主体的に学ぶ態度の育成		B	B			

所管課	学校教育課							
目標設定 Plan	成果指標	単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
	家庭など学校での授業以外で平日に1時間以上学習する児童生徒の割合(小・中)	目標値	61.9	62	66	70		72
		実績値		65.6	69.5			
	評価目標値 平日の家庭学習の時間1時間以上が70%以上:「A」、65%以上:「B」、60%以上:「C」、60%未満:「D」							
取組内容 Do	①効果的な授業形態の展開							
	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習指導の課題を明確にするために、学力向上プロジェクト委員会を開催した。 2 10分間程度の短い時間に行う漢字学習や計算学習により、基礎基本の習得を図った。 3 児童生徒の学習上のつまづきを支援するために、学習チュータを配置した。 4 きめ細かな学習指導を行うために、少人数指導、同室複数指導を実施した。 							
	②家庭学習の習慣化							
	<ol style="list-style-type: none"> 1 教員OBや教員を志望する大学生等を指導員として、自主学習室を夏季・冬季休業期間中に設けた。 2 家庭学習を支援するために、「家庭学習の手引き」を活用した。 3 放課後補充学習を全小中学校で実施した。 4 研究推進校を指定し、子どもの読書活動の実践研究を行った。 							
	③理数教育の充実							
<ol style="list-style-type: none"> 1 小学校高学年で教科担任制による指導を実施した。 2 観察や実験のための教材・設備を充実させることで、理数授業の活性化を図った。 3 スペシャリストやゲストティーチャーを招へいしたスペシャリスト特別授業を実施した。 4 「数学・理科甲子園ジュニア」への参加を促進した。 								
④特別支援教育の充実								
<ol style="list-style-type: none"> 1 一人ひとりの教育的ニーズにあった適切な合理的配慮の提供を実施した。 2 スクールアシスタントや介助員等の特別支援教育支援員を配置し、特別な支援を要する児童生徒を支援した。 3 十分な情報提供を行い、一人ひとりの教育的ニーズにあった適切な就学指導、教育相談を実施した。 4 早期から一貫した支援を提供するため、サポートファイルや個別の指導計画などを活用した。 5 発達障害等について理解を深めるため、市民向け啓発研修を実施した。 6 学校生活指導教員による通級指導を実施し、ソーシャルスキルトレーニングや教科学習の補充を行った。 7 発達サポートセンターを開設し、未就園の子どもと保護者を対象に療育事業、園・学校への巡回指導、発達検査・発達相談等を実施した。 								
⑤就学前教育の充実								
<ol style="list-style-type: none"> 1 幼稚園施設開放と教育内容の紹介のため幼稚園オープンを実施する。 2 幼保一元化のため、就学前教育保育関係者連絡会を実施する。 3 入園前の子どもを対象とし、園の教育活動や雰囲気親子で体験する場を設定する。 4 子育てに関する相談や情報の提供を行い、子育て支援の一助とする。 5 幼保こども園の合同研修会を実施する。 								

		① 新学習システム推進事業、放課後における補充学習等推進事業、子どもの読書活動推進事業 ② 学習チューター配置事業 ③ サイエンスライ・やる事業 ④ インクルーシブ教育システム構築事業 ⑤ 幼保小発達支援連絡事業	
成果と評価	取組	継続課題 ▶ 小中学校の出前授業の積極的な実施 学習による中1ギャップの改善を図るための学習指導の工夫	成果 ▶ 小中学校の教員相互による出前授業を行うことにより、専門性の高い学習活動が実施できた。 ▶ 小6時から中3の学習状況調査の変化を検証することで、学習による中1ギャップの改善策について共有できた。
	①	▶ 家庭学習の手引きの活用 主体的に学習する習慣の定着	▶ 全小中学校において家庭学習の手引きを作成し、家庭学習の充実に取り組むことができた。 ▶ 放課後補充学習を全小中学校で実施することにより、児童生徒が自主学習に取り組む時間を確保することができた。
	②	▶ 理数学習への関心意欲を高めるための指導方法の工夫改善 ICTの活用及び教材等の共有化	▶ 小学校理科担当者対象の観察・実験実技研修を実施することで、主体的・対話的で深い学びの視点の実現に向けた授業改善の方法について学ぶことができた。 ▶ 各学校からアクセス可能なフォルダを活用して教材を共有化する仕組みを構築した。
	③	▶ インクルーシブ教育システムの構築	▶ 市内全ての園(18園)、学校(14校)の特別支援の担当者を対象に、特別支援教育コーディネーターネットワーク会議を開催し、サポートファイルの管理について周知し、小中学校に対し点検のための巡回を徹底したことにより、サポートファイルによる一貫した支援体制の充実につながった。 ▶ 専門家による巡回相談を充実(拡充)したことにより、支援体制の強化が図れた。 ▶ 保育士、教諭、介助員等対象の研修及び市民対象の講演会の実施により、合理的配慮等についての理解が深まった。
	④	▶ 合同研修会(幼小、幼保)	▶ 幼稚園、保育園、こども園の教員が教育課程の合同様式を作成することで、共通の視点で幼児教育を考えることができるようになった。 ▶ 公開保育研修を合同で実施することで、園ごとの特色ある教育・保育を学ぶことができた。
	⑤		
	Check	評価	平日の家庭学習の時間、1時間以上の割合が69.5%により、評価「B」とします。
今後の課題	取組	課題や改善点	
	①	◇ 小6時から中3の学習状況調査の変化を検証することで児童生徒の課題を把握し、小中教員が協働して授業改善に取り組む必要がある。	
	②	◇ 家庭学習の手引きの活用、放課後補充学習の実施により、主体的に学習する習慣を定着させる。	
	③	◇ 理数学習に対する子どもの関心・意欲をさらに高めるために、主体的・対話的で深い学びの実現を目指すなど指導方法の工夫改善が必要である。 電子黒板やプロジェクター等の機器やデジタル教科書等のコンテンツを有効に活用した授業を行う。	
	④	◇ 発達障害等の当事者、支援者、教育・福祉・保健などの関係者だけでなく、幅広く市民への啓発強化を図り、研修参加を促すことで、誰もが発達障害等に関する知識や理解を深め、適切な対応を学び、共生社会の形成を目指す。	
	⑤	◇ こども園への移行にむけて、教育・保育の目標やカリキュラム等の検討が必要である。 ◇ 幼児期の教育・保育と小学校教育のより円滑な接続を図る必要がある。	
	Action		

H29

【点検と評価】

基本方針2	「生きる力」としての「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む教育の推進	年度評価	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
基本的方向(2)	自尊感情や思いやりの心の醸成		B	B			

所管課	学校教育課								
目標設定 Plan	成果指標		単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
	自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合	目標値	(%)	26.3	29	33	37		45
		実績値	(%)		32.8	34.8			
評価目標値 自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合45%以上:「A」、27%以上:「B」、20%以上:「C」、20%未満:「D」									
取組内容 Do	①発達段階に応じた系統性を重視した体験活動の実施 1 命を大切にする心や思いやりの心、自尊感情や規範意識を養うなど、「心の教育」の充実を図るため、児童生徒の発達段階に応じた系統性を重視した体験活動を推進した。 4								
	②異年齢交流や縦割り班活動の意図的・計画的な実施 1 小学生と中学生と一緒に活動出来る機会を設定した。 2 縦割り班活動の実施により、異学年交流を実施した。 3 交流学年を決め、継続的に交流し合う機会を設定した。								
	③家庭や地域と連携した道徳教育の充実 1 「兵庫版道徳教育副読本」等の教材本を家庭保管とすることで、道徳教育を家庭へ広げる一助とした。 2 授業参観、オープンスクール等での道徳の授業公開を実施し、家庭・地域と連携した道徳教育を推進した。 3 道徳科に関する悉皆研修を実施した。								
	関連事業	① 環境体験事業(小3) 自然学校推進事業(小5) わくわくオーケストラ教室(中1) トライやる・ウィーク(中2) ② 入学体験、部活動体験 ③ 道徳教育実践研究事業、人権講演会							
成果と評価 Check	取組	継続課題	成果						
	①	▶ 児童生徒の実態や地域の実情に応じた活動内容の工夫	▶ 学校・家庭・地域が連携し、新たな活動を実施するなど、各学校の実態に合わせた活動内容の工夫を図ることができた。						
	②	▶ 小中学校間の交流の推進	▶ 異年齢の班構成による遠足や班遊びなどの交流活動を実施するとともに、学習成果の発表、学習姿勢のモデル化などへ交流を広げてきた。						
	③	▶ 検定教科書の導入による年間指導計画の見直しや評価の導入に向けた研究の推進 ▶ いじめ問題への対応など体系的な指導計画への改善	▶ 教科化に対する悉皆研修を実施し、授業づくりと評価について研修を深めた。 ▶ 小学校では、道徳科の全面実施に向け通知表の評価記入等の準備ができた。また、採択された検定教科書の活用を図るため、年間指導計画を更新した。 ▶ 道徳の質的転換によるいじめの防止に向けての研修にも取り組むことができた。						
評価	自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合が34.8%であったため、評価を「B」とします。								

今後の課題	取組	課題や改善点
Action	①	◇ 児童生徒の実態や地域の実情に応じた活動内容の工夫に引き続き取り組むとともに、体験活動が教科等の学習に生きて働くようにカリキュラムを見直す。
	②	◇ 小中一貫教育の導入に際し、小中学校間の交流をさらに進めていく必要がある。
	③	◇ 道徳の教科化に向けて、中学校の検定教科書の導入による年間指導計画の見直しや評価の導入に向けた研究が必要である。

H29

【点検と評価】

基本方針2	「生きる力」としての「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む教育の推進				年度評価	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
基本的方向(3) ①	心身の健康増進・個性の伸長					B	C			
所管課	学校教育課									
目標設定 Plan	成果指標		単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)	
	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う児童生徒の割合(小6・中3)	目標値	%	79.4	84	86	88		100	
		実績値	%		83.2	78.4				
	評価目標値 児童生徒の割合90%以上:「A」、80%以上:「B」、75%以上:「C」、75%未満:「D」									
取組内容	<p>①小中学校教員の情報共有による一貫した生徒指導の充実</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学級集団の状態(児童生徒の心理面)を把握するために、市立小中学校4年生以上の全児童生徒を対象にhyper-QU、QUテストを実施した。 2 いじめの未然防止、早期発見・対応を行うために、小4から実施していたいじめ調査を小学低学年まで広げて実施した。 3 不登校生の内面理解と対応について教員が共有するために、対策委員会を開催し、スクールカウンセラー等と連携して細やかな関わりや粘り強い支援を行った。 4 ネットいじめや誹謗中傷等の相談に対応するため、特別監視員や関係機関と連携して支援・指導を行った。 5 正しくインターネットが活用できるように、市内中学校生徒会がルールを決め、その啓発のためのぼりと横断幕を作成した。 6 広域に及ぶ青少年のインターネット上の非行や被害を防止するため、北播磨5市1町の連絡会議を開催し、情報の共有化に取り組んだ。 <p>②発達段階に応じた学校行事の実施</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 児童一人一人の個性や能力を伸ばすために、日常的な異学年交流や縦割り班活動等を実施した。 2 上級生や保護者に対する感謝の心を培うために、6年生を送る会等の学校行事において、児童生徒が意欲的に活動する機会を提供した。 <p>③運動の習慣化と健康教育、地域と連携した食育の推進</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 小学校では、児童の泳力を伸ばしたり、他校の児童の模範となる泳ぎから学んだりするために、夏季休業中に水泳教室等を実施した。 2 中学校では、生徒に運動の楽しさを実感させたり、技能の向上を図ったりするために、体育的行事や部活動等を実施した。 3 小中学校では、児童生徒の運動能力・体力を計測して実態を把握し、より改善するための方法を模索するために、体力・運動能力テストを1学期に実施した。 4 低年齢段階から健康への影響を認識させ、誘惑に負けない態度を培うために、喫煙・飲酒・薬物乱用教育を計画的に実施した。 5 性に関する科学的知識や異性に対する正しい理解を深め、相手を大切にしたい行動がとれるようにするために、性教育を充実させた。 6 家庭や地域、高校等と連携して食文化への関心や理解を深めるために、学校給食を活用した食育を推進した。 									
Do	関連事業	<ol style="list-style-type: none"> ① 児童生徒のいじめに関する実態把握調査 ② 出前授業 ③ 部活動外部指導者派遣事業、食育推進事業 								
成果と評価	取組	継続課題	成果							
Check	①	▶ 各校における教職員研修の充実	▶ いじめの未然防止、早期発見・対応を行うために、教職員研修を開催し、教職員のいじめへの認識を高め積極的にいじめ認知ができた。							
	②	▶ 中学校区の小学校間の交流の推進	▶ 小中一貫校の開校に向け、小学校間の交流学習の機会をつくり、つながりを深めることができた。							
	③	▶ 給食センターと各学校及び関係機関の連携による食育の推進	▶ 和食給食を学期に1回、年3回実施し、和食の文化伝統に対する正しい理解を身につける機会が提供できた。							

	評価	減少理由： 児童生徒の割合が78.4%だったため、評価を「C」とします。
今後の課題	取組	課題や改善点
Action	①	◇ いじめ認知後の初期対応から事後指導まで、適切にできるように教職員研修を実施する。また、被害児童、加害児童の指導後の教育相談を充実させる。
	②	◇ 小中一貫校の開校に向けた取組を進めるために、学校オープン等で小中学校間の交流を図り、9年間を見通した行事を行う。
	③	◇ 運動会等における組体操の事故防止について、重傷事故が発生しないよう安全確保を最優先とした計画・指導を行う。 ◇ 保護者を対象に、和食の文化や望ましい食習慣について研修する機会を提供する。

H29

【点検と評価】

基本方針2	「生きる力」としての「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む教育の推進	年度評価	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
基本的方向(3) ②	心身の健康増進・個性の伸長		C	C			

所管課	学校給食センター								
目標設定 Plan	成果指標		単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
	地元食材の使用率	目標値	%	16.2	17	17	17		18
		実績値	%		14.7	14.7			
評価目標値 年次目標値以上:「A」、基準値以上:「B」、基準値以下:「C」、数値の減少が続く:「D」									
取組内容 Do	③運動の習慣化と健康教育、地域と連携した食育の推進								
	<ul style="list-style-type: none"> * 地元食材の使用促進を図るため全国学校給食週間(1月24日～30日)に加東市産(7品目)の食材を使用した給食を提供した。これについて広報「かとう」に掲載し、学校給食の意義と役割について改めて考える機会とした。さらに、子どもたちからのリクエストメニューや新メニューを取り入れた献立にするなど工夫した。 6 * 広報「かとう」に地元産野菜等を積極的に取り入れるため、市内で野菜類を栽培している生産者登録の募集を掲載した。 * 加東市特産などの初めて使用する食材(東条山の芋、黒豆)の特性を生かした献立で給食を提供した。 * 「かとう夢プラン 楽しみのある学校給食特別メニュー」(毎月1回)として地元の果物を使用した桃ゼリーやいちごを提供した。 								
	<ul style="list-style-type: none"> 7 * 毎月の「かとうの献立」「かとうの給食」の配布や給食試食会、給食センター見学会、親子料理教室等を実施した。 * 7年目となる社高校生活科学科と連携した「学校給食研究事業」を実施し、郷土料理「つなぐ・兵庫・福島・熊本」をテーマとした献立を考案した。 								
<ul style="list-style-type: none"> * 今年度から食育推進専門員が配置され、食育のさらなる推進を図るため組織構築に取り組んだ。 * 給食センターと学校・関係機関が連携し、食育推進のための組織(食育推進会議・委員会)づくりと運営を行った。 * 食に関する実態調査を年2回実施し、食育推進会議で報告及び協議をするとともに各校へ結果を配布して、食育活動の活性化を図った。 8 * 食育推進指定校を中心とした研究活動の支援を行った。 * 学期に1回、和食給食提供日と食育活動を連動し、食育の推進を図った。 * 食育推進担当者研修会を実施し、食育推進の加速を図った。 * 「食育だより」や食育教材DVDを作成し、食育の啓発活動を行った。 									
関連事業	③ 給食指導訪問、給食試食会、給食センター見学会、親子料理教室、社高校生活科学科との連携、楽しみのある学校給食特別メニュー								
成果と評価 Check	取組	継続課題	成果						
		▶ 地元生産者からの食材確保	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 平成25年度から実施の「かとう夢プラン 楽しみのある学校給食特別メニュー」(毎月1回)の提供においては、加東市の学校給食の特色を出して食への興味・関心を高め、より一層魅力ある学校給食の充実を図ることができた。 ▶ 生産者組合や部会の協力を得て、初めての食材で「東条山の芋」を使った給食を提供したり、加東市オリジナルメニューの開発についても地産地消の視点で研究に努めた。 						

	③	<ul style="list-style-type: none"> ▷ かとう夢プラン等の新メニューを考案 ▷ 学校での食育活動支援(訪問指導) 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 広報「かとう」に地元産野菜等を積極的に取り入れるため、市内で野菜類を栽培している生産者登録の募集を掲載したところ地元生産者が3者増えた。 ▶ 地産地消の給食について、市民の理解を得るため初めて全国学校給食週間に加東市産の食材を使用した給食の広報をした。 ▶ 7年目を迎えた社高校生活科学科との連携事業「学校給食研究事業」では、高校生が考案した「郷土料理」をテーマとした献立で実際に高校生が調理に携わって作った給食を提供した。同時に東条東小学校4年生の2クラスを訪問し、郷土料理についてその歴史や作り方などの話をした。
		▷ 食育教材DVD(シリーズ第2編)の制作	<p>◎今年度から食育推進専門員が配置されたことにより以下の取組成果を得た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 生産者と子どもたちをつなぐ食育活動の実現のために、食育教材DVDを制作して各校園に配布、食育活動の資料として活用してもらった。 ▶ 栄養教諭2名と食育推進専門員が、各学校を訪問し児童・生徒の心身の健全な発達と食に関する正しい知識を育むため、学校給食を活用した食に関する指導及び学校における食育の推進を図ることが出来た。 ▶ かとう和食の日の11月24日に連動して、11月16日に和食給食を提供した。今年度から和食の魅力を伝えるため学期に1回の提供を実施しており、6月7日と2月6日にも提供し、食育活動の活性化を図った。 ▶ 給食センター、学校、家庭との連携による食育推進を図る為、毎月の「かとうの献立」「かとうの給食」の配布や給食試食会、給食センター見学会、親子料理教室等を実施した。 ▶ 給食等に関する観察・質問紙調査でみると、食育活動により「正しい箸の持ち方」「正しい姿勢での食べ方」「食に対する感謝の気持ち」の向上が図れた。より一層の向上を目指す。 ▶ 社高校生等をゲストティチャーとして、「かとう和食の日」に合わせた食育活動を展開し、食を大切にする子どもが育まれつつある。各学校の協力を得て、給食残食量は、昨年に比べて約3分の1になった。
	評価	平成27年度の16.2%に対し平成28～29年度は14.7%と低下した。原因は、天候にもよるが生産農家の高齢化、また大量供給の不可が考えられる。学校での食育の取組が着実に進んでいるが、地域との連携による地産地消の取組が基準値以下のため、評価を「C」とします。	
今後の課題	取組	課題や改善点	
Action	③	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 農産物等の地産地消の推進については、生産者グループや関係団体等と連携しながら地元生産者の新規納入業者登録を図るとともに、登録された地元生産者へ前年度の月別野菜使用実績等の情報を提供するなど、地元の食材の確保に努めたい。 ◇ 加東市独自である「かとう夢プラン 楽しみのある学校給食特別メニュー」の新メニューを地産地消の視点から考案していきたい。 ◇ 「食を大切にする(食べ物と食べることを大切にする)子どもの育成」が課題であり、各学校での食育活動をより一層充実させていく。 	

H29

【点検と評価】

基本方針3	子どもたちの学びや育ちを支える仕組みの確立	年度評価	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
基本的方向(1)	学校の組織力及び教職員の資質能力の向上		B	B			

所管課	学校教育課									
目標設定 Plan	成果指標		単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)	
	授業中にICTを活用して指導することができる教員の割合	目標値	(%)	78	81	85	89		95	
		実績値	(%)		80.1	85.3				
評価目標値 授業中にICTを活用して指導することができる教員の割合95%以上:「A」、80%以上:「B」、70%以上:「C」、70%未満:「D」										
取組内容 Do	①計画的・継続的な教職員研修の実施									
	1 ↳ 今日的な教育課題に対応した実践的な指導力の向上を図るため、教職員の職務内容に応じた各種研修を実施した。 7									
	②保護者や地域住民に開かれた学校づくり									
	1 ↳ 学校の特色や地域の実態を踏まえた学校づくりのため、学校評価の公表や、学校評議員制度の活用を通して、保護者や地域住民の意向を学校運営に反映するよう努めた。 2									
取組内容 Do	③教職員の円滑な職務遂行のための職場環境の整備									
	1 セクシャル・ハラスメントやパワー・ハラスメント等のない、一人一人が意欲を持って教育活動にあたることのできる教職員相互の協力・協働の職場づくりを推進した。 2 た。 3 ↳ メンタルヘルスの保持増進とワーク・ライフ・バランスに配慮した職場環境づくりのため、勤務時間の適正化を推進した。 5									
	関連事業	① 教職員夏季研修 シリーズ研修 Hyper-QU事例検討会 学校経営研究発表会 教職員の短期海外研修 児童生徒の考える力を高める授業実践研修								
		② 学校評価の実施 学校評議員制度の活用								
『セクシャル・ハラスメントのない学校に』(兵庫県教委)等を活用した研修の実施 ③ 『パワー・ハラスメントの防止に向けた取扱指針』(兵庫県教委)の徹底 メンタルヘルスの保持増進に配慮した校内体制等の構築 校務支援システムの活用 「教職員定時退勤日」「ノ一部活デー」の完全実施										
成果と評価 Check	取組	継続課題			成果					
	①	▷ 本市の教育課題や各学校の課題解決のための研修の充実			▶ 小中一貫教育先進校の視察や各種研究会への参加、海外視察研修等、本市の課題に対応した研修を実施した。「小中一貫教育」について教職員の意識を高めるとともに、いじめ対策について理解を深めることができた。					
	②	▷ 学校評価結果を踏まえた学校運営の改善			▶ 学校評議員会や保護者・住民アンケート結果を取り入れた学校評価を実施し、学校運営の改善に活用することができた。					

	③	教職員定時退勤日・ノー部活デーの実施	全ての学校において、定時退勤・ノー部活デーの実施に取り組むことができた。
	評価	授業中にICTを活用して指導することができる教員の割合が85.3%だったため、評価を「B」とします。	
今後の課題	取組	課題や改善点	
Action	①	◇ 小中一貫教育の推進、英語教育の充実、道徳教育の充実等、本市の教育課題に応じた研修に引き続き取り組む。	
	②	◇ 保護者の意見や地域の実態を踏まえ、PDCAサイクルによる組織的・継続的な学校運営改善に努める。	
	③	◇ 定時退勤日やノー部活デーの完全実施に引き続き取り組む。	

H29

【点検と評価】

基本方針3	子どもたちの学びや育ちを支える仕組みの確立	年度評価	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
基本的方向(2) ①②	安全・安心で信頼される学校づくり		B	A			

所管課	学校教育課							
目標設定 Plan	成果指標	単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
	避難訓練、防災訓練、防犯訓練等の実施回数	回	47	48	48	52		54
	実績値	回		47	52			
	評価目標値 避難訓練、防災訓練、防犯訓練等の実施回数 50回以上 :「A」、47回以上 :「B」、46回以上 :「C」、46回未満 :「D」							
取組内容 Do	①保護者や地域住民の参画を得た学校行事の積極的な実施 1.2 学校・家庭・地域の連携をより強化し、信頼される学校づくりを行うため、保護者や地域住民が参加できる学校行事等を実施した。 3 保護者や地域住民が学校行事に参画しやすい雰囲気づくりを行うため、学校便りやホームページ等とおして積極的な情報発信に努めた。							
	②子どもたちが安全な環境の中で、安心して学校生活が送れる環境づくり 1.2 避難訓練や防犯訓練など、安全に関する教職員の知識・技能の向上を図るため、研修機会の充実を図った。 3.4 子どもたちの安全を守るための取組を推進するため、学校・家庭・地域が連携し、防災訓練や引き渡し訓練等を実施した。							
	関連事業	① 運動会、体育祭、音楽会、文化祭等の学校行事 ふるさと学習、体験学習 ホームページ、学校だよりでの情報発信 ② 避難訓練、防犯訓練、防犯教室 教員研修(不審者対応等) 引き渡し訓練 学校自主防災組織合同訓練						
成果と評価 Check	取組	継続課題	成果					
	①	▷ 学校だよりの充実やホームページの定期的な更新	▶ 学校便り等を通じて、子どもたちや学校の様子をタイムリーに発信することができた。					
	②	▷ 防犯教室や防犯訓練の充実	▶ より実践的な不審者対応訓練を実施し、教職員の防犯意識、判断力、対応力の向上が図れた。					
	評価	避難訓練、防災訓練、防犯訓練等の実施回数が、52回だったため、評価「A」とします。						
今後の課題 Action	取組	課題や改善点						
	①	◇ 保護者や地域住民にタイムリーな情報を提供できるよう、学校だよりの充実やホームページの定期的な更新に引き続き取り組む。						
	②	◇ 地域や子どもたちの実態に合わせたより実践的な防災訓練、防犯訓練を実施する。						

H29

【点検と評価】

基本方針3	子どもたちの学びや育ちを支える仕組みの確立	年度評価	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
基本的方向(2) ③	安全・安心で信頼される学校づくり		A	A			

所管課	教育総務課							
目標設定 Plan	成果指標	単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
	安全・安心、快適な施設に向けた事業の取組み件数	目標値	-					-
		実績値	小(件数) 中(件数)		3(トイレ洋式化) 3(電子黒板)	4(体育館窓 等) 2(体育館外壁 等)		
	評価目標値 順調に実施できた:「A」、実施できたが課題が残った:「B」、課題等により事業が遅れた:「C」、事業ができなかった:「D」							
取組内容 Do	<p>③学校教育施設や教材等などの教育環境や就学支援の充実</p> <p>1 * 東条地域小中一貫校開校に向け、プロポーザルを実施し、設計業者の選定を行い、開校準備委員会を6回開催するなど協議を行った。</p> <p>2 * 教職員関係及び開校準備委員会に基本設計(素案)を提示し、意見を聞き、小中一貫校の基本設計の作成を進めた。</p> <p>* PC教室のパソコンをタブレット型に更新し、ICT教育機器の整備を行った。</p> <p>3 * 安全・安心な教育環境の整備のため、小中学校のエアコン改修や体育館の外壁などの改修工事を実施した。</p> <p>4 * 就学援助・就学奨励の補助を実施し、平成30年度入学前準備金を支給した。</p> <p>関連事業 ③ 小中学校の施設改修工事、小学校のトイレ洋式化工事、就学援助事業</p>							
成果と評価 Check	取組	継続課題	成果					
	③	学校現場の実情把握と調整を図る	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 東条地域小中一貫校開校に向けた調整を行い、用地取得や移転補償、開校準備委員会の開催など学校建設の準備を進めることができた。 ▶ デジタル教科書や新しい活用に対応するため、パソコン教室の教育用PCをタブレット型に更新した。(福田小学校、社中学校、東条中学校) ▶ 老朽化した学校施設の整備・改修工事(東条中学校体育館外壁補修、福田小学校体育館窓防水改修)やエアコン改修工事(社小学校・滝野南小学校・三草小学校)、滝野南小学校プールのろ過器改修を実施し、学校環境の改善ができた。 ▶ 生徒の13%に就学援助を実施し、就学支援ができた。 ▶ 平成30年度入学予定の就学援助対象者へ、入学準備金早期支給を行った。 ▶ 各学校・園へ出向き、現場確認を行い、状況把握を行った。 					
	評価	年度計画どおりに事業が実施できたので評価は「A」とします。						
今後の課題 Action	取組	課題や改善点						
	③	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 東条地域小中一貫校開校に向けた実施設計の作成、地元協議、学校施設建設を計画どおり進めていく。 ◇ 既存校は、必要な修理を実施しながら、学校間の均衡を図り、更なる学校現場の実情把握及び学校との調整を図っていく必要がある。 						

H29

【点検と評価】

基本方針3	子どもたちの学びや育ちを支える仕組みの確立	年度評価	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
基本的方向(3)	子どもたちの健全な成長を見守り支える体制づくり		B	D			

所管課	学校教育課							
目標設定 Plan	成果指標	単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
	各校で開催している「情報モラル研修会」に参加した保護者、地域住民の人数	目標値	(人)	814	900	930	930	1,000
	実績値	(人)		918	744			
	評価目標値	各校の「情報モラル研修会」に参加した割合、1,000以上:「A」、900人以上:「B」、800人以上:「C」、800人未満:「D」						
取組内容	<p>①学校・家庭・地域と社会教育関係機関が一体となった環境づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> 地域の中で豊富な経験ができるように、学校オープン等で地域の方と共に活動する機会を増やした。 通学路、地域のより一層の安全確保のため、「子ども見守り隊」の活動への協力を呼びかけた。 部活動のより専門的な技術指導の充実を図るため、部活動外部指導者を配置した。 インターネット上のルールやマナーの向上を図るため、各小中学校で情報モラル研修会を実施した。 <p>Do</p> <p>②子どもと子育て家庭を支える仕組みづくり</p> <ol style="list-style-type: none"> 保育園、幼稚園の年長児を支援するために、幼保小発達支援連絡会を開催した。 地域に開かれた園づくりを目指して、幼稚園オープンを実施した。 地域全体として、子どもの成長を支える環境をつくるために、ホームページや園だより等を発信した。また、平成29年度から、教育無償化保育料軽減補助事業を実施した。 児童虐待等の多様な課題に対応するために、スクールソーシャルワーカーを活用し、関係機関と連携した家庭支援を行った。 <p>関連事業</p> <ol style="list-style-type: none"> いきいき学校応援事業、子ども見守り隊、部活動外部指導者派遣事業 認定こども園の整備、スクールソーシャルワーカー配置事業、教育無償化保育料軽減補助事業 							
成果と評価	取組	継続課題	成果					
	①	▶ 部活動外部指導者の活用	▶ 中学校3校で10の部において、外部指導者を配置した。					
	②	▶ 幼児教育・小学校教育の円滑な接続	▶ 幼小連携を目的として、小学校教職員の幼稚園参観・合同研修会を幼稚園で実施した。					
Check	評価	減少理由:インフルエンザや行事により参集者が例年に比べ減少した。 各校の「情報モラル研修会」に参加した人数が744人だったので、評価「D」とします。						
今後の課題	取組	課題や改善点						
	①	◇携帯電話やスマートフォンの所持率の増加、低年齢化が進む中で、保護者の問題意識を喚起し、適切な対応がとれるよう、研修への参加率の向上と内容の充実を図る必要がある。						
	②	◇スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーをさらに活用し、学校と関係機関とが連携して保護者や家庭の支援を行える体制づくりが必要である。						
Action								

H29

【点検と評価】

基本方針3	子どもたちの学びや育ちを支える仕組みの確立	年度評価	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
基本的方向(4)	家庭の教育力の向上		B	B			

所管課	青少年センター、学校教育課、生涯学習課							
目標設定 Plan	成果指標	単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
	保護者等を対象とした各種講座の回数	目標値	回	30	33	36	38	45
		実績値	回		32	34		
評価目標値 講座回数45回以上:「A」、講座回数30回以上:「B」、講座回数25回以上:「C」、講座回数25回未満:「D」								
取組内容 Do	<p>①親の学びの機会の提供、関係機関の連携による地域が家庭を見守る体制づくり</p> <p>1 インクルーシブ教育の啓発を進めるために、保護者一般市民向けの研修会を実施した。 2 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携し、保護者の悩みを受け止めるために、校内教育相談体制を充実させた。 3 いじめ等の問題で悩む保護者等を支援するために、学校教育課、青少年センターが積極的に関わりながら相談に応じた。</p> <p>* 「あったか加東伝の助かるた大会」、「地域子ども教室」、「新成人の集い」などの事業を実施した。 * 加東市子ども会育成連絡協議会、市内2つのボーイスカウト団体とも市と連携し実施した。</p> <p>4 * 小学生チャレンジスクールを実施した。 * 「加東市ノーベル大賞」を実施した。 * 加東市連合PTAと連携して、研修会等を実施した。</p>							
	関連事業 ①	<p>* 不登校対策委員会、スクールソーシャルワーカー配置事業 * ひょうご放課後プラン(子ども教室)事業、あったか加東伝の助かるた大会、成人式事業 * 青少年育成団体活動支援事業(市子連協・ボーイスカウト) ※市子連協:書初め大会、夏休み体験教室、ドッジボール大会、サッカー大会、オセロ大会などを開催 * 小学生チャレンジスクール事業 * 加東市ノーベル大賞、親子活動、親学習</p>						
成果と評価	取組	継続課題	成果					
Check		▷ 保護者一般市民やアシスタント・介助員対象の研修会の充実	▷ 保護者対象に加えて、スクールアシスタントや介助員等特別支援教育に関わる職員対象の研修を実施した。					

	<p>①</p>	<p>▷ 地域や家庭との連携を通じた人間力の育成や郷土愛の醸成</p>	<p>▶ 「あったか加東伝の助かるた大会」、「地域子ども教室」、「新成人の集い」を通じて、子ども達に加東市で生まれ育つ喜びを友人や家族、地域の人達と共に味わい、郷土愛を深め、地域の歴史や伝統を次代へとつないでいくことの大切さを学ぶことが出来た。また、「地域子ども教室」においては、地域の人たちや異年齢の子ども達と一緒に活動することで、人間関係や上下関係、規律、道徳心等を理解し、仲間づくりの術を学ぶことができた。</p> <p>▶ 「小学生チャレンジスクール」では、様々な体験活動や学習活動を行うことで、自らの知識や技術の向上につなげることができた。</p> <p>▶ 17事業34教室(キャンプ、ハイキング等の野外活動、トールペイントや陶芸等の製作活動、茶道や生花等の伝統文化活動など)</p> <p>▶ 「加東市ノーベル大賞」では、子ども達が地域の身近な自然を観察することで、故郷への思いや自然・環境の大切さを学ぶことができた。</p>
	<p>▷ PTAと協調した事業の実施と親学習・家庭教育の充実に向けた研修</p>	<p>▶ 加東市連合PTAと連携して、研修会等を実施することで、地域の子どもの大人たちが連携して育てていくことの意識向上につながった。</p> <p>講演会「子どもの育ちと豊かな関わり～みんなで子育てできる社会へ～」 大阪教育大学教育学部教員養成課程家政教育講座(保育学)准教授 小崎 恭弘 氏</p>	
	<p>評価</p>	<p>講座回数が34回であったため、評価を「B」とします。</p>	
<p>今後の課題</p>	<p>取組</p>	<p>課題や改善点</p> <p>①</p> <p>◇ 実施する研修会への保護者一般市民の参加者を増やすための取組が必要である。</p> <p>◇ 地域や保護者が、より一体となって子どもを育む環境を整えるため、子ども教室の指導員を対象に、子どもとの関わり方を深めるための取組が必要である。</p> <p>◇ 公共施設適正化計画並びに小中一貫校の方向性を注視しながら、新たな教室のあり方等、実行委員会で深く検討する必要がある。</p> <p>◇ 引き続きPTAと連携して、親学習・家庭教育の充実に向けて、計画的に、かつニーズに応じた研修を行う必要がある。</p>	
<p>Action</p>			

H29

【点検と評価】

基本方針4	生涯学習による、だれもが生きがいをもてる社会の形成	年度評価	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
基本的方向(1)	生涯を通じた学びの機会・場の提供		A	A			

所管課	生涯学習課								
目標設定 Plan	成果指標		単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
	講座等の実施内容と参加者数の増減(市主催事業通年分)	目標値	—	設定なし					—
		実績値	人		10,540	11,295			
評価目標値 ◎成果指標の目標値は設定せず、実績値を比較・分析して評価する。									
取組内容 Do	①各年代に応じた学習、施策の取組								
	<p>1 * 高齢者大学、文学講座、加東遺産講座、成人学習講座を継続して実施した。</p> <p>5 * 子ども達には、青少年健全育成事業で対応した。</p> <p>4 平成29年度登録サークル数(滝野公民館24、社公民館29、東条公民館14、さんあいセンター42、明治館7、コミュニティセンター東条会館13の計129団体)</p>								
	②社会教育関係団体の支援								
	<p>1 * 市連合婦人会、市連合PTAの団体の活動がより活発化するよう、自主性を重んじながら、各団体の設立趣旨も確認しつつ社会教育活動への支援を行った。</p>								
	③芸術・文化活動の振興								
<p>* 市公募美術展、市文化祭、ギャラリー収蔵品展、加東文化振興財団及び新しい風かとうによる各種文化芸能事業等を実施し、市の文化振興を図った。</p> <p>1 * 市文化祭は前年度と同様、市秋のフェスティバルと同日・同会場で実施し、文化薫るイベントとして開催した。</p> <p>* 新しい風かとうによる第28回日本木管コンクール(クラリネット部門)を東条文化会館で開催し、レベルの高い演奏を行った。</p>									
④芸術・文化団体の支援									
<p>* 市文化連盟、市美術協会、また公民館やコミュニティセンターを使用される文化団体の支援を行った。</p> <p>* 各公民館ごとに趣向を凝らした活動発表の場を提供した。</p> <p>1 * 市文化連盟は、「文化連盟祭」を通じて各部会の発表会を実施し、また後継者の育成や青少年の健全育成を目的に「市子ども絵画公募展」、福祉施設等への慰問活動、地区行事への支援活動などを積極的に展開し、地域の文化団体として貢献した。</p> <p>* 市美術協会は、「美術協会展」や研修会の開催のほか、市文化連盟主催の「市子ども絵画公募展」を支援し、市文化連盟と連携して地域貢献活動を展開した。</p>									
関連事業	<p>① 高齢者大学、成人学習講座、各公民館定期登録団体</p> <p>② 連合婦人会・連合PTAへの支援</p> <p>③ サークル活動支援・公募美術展事業、文化祭事業、ギャラリー活用事業、加東文化振興財団文化事業(委託)・新しい風かとう文化事業(委託)</p> <p>④ 芸術・文化団体の育成・活動支援(市文化連盟、市美術協会)</p>								

成果と評価		取組	継続課題	成果
Check	①		▶ 人を引き付ける魅力ある新たな成人向け講座の開設	▶ 各世代向けの講座開設や、多様なジャンルのサークルが公民館を利用することによって、学習機会を提供することができた。 ▶ 日程調整等を行うことで、スムーズに使用できる環境の整備に努めたほか、新たな団体発足に向けた相談等にも適切に対応するなど、市民が望む文化芸術活動の支え役としての役割を果たすことができた。
	②		▶ 自分のためでなく、人のため、地域のためといった行動がとれる団体の育成	▶ 市連合婦人会、市連合PTAの団体は、自らの団体の役割を十分に認識し、子育て、人権、環境問題などに係る様々な分野に参画され、各々の役割を果たすことができた。
	③		▶ 効果的かつ合理的に行うため、文化連盟や秋のフェスティバル実行委員会と十分に調整し実施	▶ 市文化祭は、悪天候により野外イベントが中止となったが、文化連盟や秋のフェスティバル実行委員会と調整し、効率的に実施することができた。
	④		▶ 自分たちの団体、活動だという意識を強く持って活動ができる後継者の育成	▶ 市美術協会は、文化・芸術・芸能などの分野で、自己の研鑽や生きがいがづくり、コミュニティの増進等を目的とするサークル活動を支援し、多種・多様な市民のニーズに応えられる生涯学習の受け皿としての役割を果たすことができた。
		評価	講座や展示会などの実施内容を充実させ、多数の参加者が得られたことから、評価を「A」とします。	
今後の課題		取組	課題や改善点	
Action	①		◇ 今年度から実施した、成人向け講座「トランポ・ロボックス教室」の参加者の中で、有志の方々が自主的にサークル活動を行っていく意向があるため、これを支援しつつ、引き続き、魅力ある新たな成人向け講座を開設する必要がある。	
	②		◇ 社会教育団体の存続・活性化が難しい状況が続くなか、自分のためでなく、人のため、地域のためといった行動がとれる団体の育成は、社会教育上大切なことだと認識し、粘り強く、継続して支援していく必要がある。そのためには、各団体のリーダーを見出し、つながりを深めて後方支援を行っていく必要がある。	
	③		◇ 芸術・文化活動の振興を図るため、多数の観覧者を集める工夫が必要である。	
	④		◇ 引き続き、自分たちの団体、活動であるという意識を持って活動できるよう指導し、後継者の育成に努める必要がある。	

H29
【点検と評価】

基本方針4	生涯学習による、だれもが生きがいをもてる社会の形成	年度評価	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
基本的方向(2)	文化財保護の推進と活用		A	A			

所管課	生涯学習課								
目標設定 Plan	成果指標		単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
	文化財調査により得られた資料の公開・活用の回数	目標値	—	設定なし					—
		実績値	回		8	9			
	評価目標値 ◎成果指標の目標値は設定せず、実績値を比較・分析して評価する。								
取組内容 Do	①文化財の保護・活用								
	<ul style="list-style-type: none"> * 文化財保護対策事業では、指定文化財修理補助事業、防火設備管理事業、無形民俗文化財の後継者育成事業、文化財保護活動として見学会、講演会や出前講座とともに、その意識を高める広報・啓発活動にも努めた。 * 埋蔵文化財事業では、開発事業に伴う試掘・立会調査、開発照会事務を行った。 <p>2 * 加古川流域滝野歴史民俗資料館、三草藩武家屋敷旧尾崎家では、常設展示の公開・運営はもとより、資料館の館蔵資料の整理を行った。</p>								
	関連事業	① 文化財保護対策事業、埋蔵文化財調査事業、歴史民俗資料館管理事業、三草藩武家屋敷管理事業							
成果と評価 Check	取組	継続課題	成果						
		①	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 埋蔵文化財の出土遺物や民俗資料館の資料を利用・活用、展示、保管 ▶ 施設の維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 加古川流域滝野歴史民俗資料館講座「見る・触れる」文化財教室(全4回)を開催し、体験学習型の講座として実際に触れる機会を提供し文化財への造詣を深めることができた。 ▶ 加東市の文化財の活用や広報紙へ掲載により文化財の保護及び啓発を図ることができた。 ▶ 埋蔵文化財事業では、法に基づき適正に開発事業に伴う試掘・立会調査(30件)、開発照会事務(139件)等を行った。 ▶ 文化財保護対策事業では、指定文化財修理補助事業(1件)、防火設備管理事業(3件)、無形民俗文化財の後継者育成事業(4件)、文化財保護活動として展示会(1件)、講演会や出前講座(3件)とともに、その意識を高める広報と啓発活動に努めることができた。 ▶ 民俗資料について、寄贈・寄託(3件)を受けた。 					
	評価	貴重な資料の公開や、充実した講座の開催など多数実施できたので、評価を「A」とします。							
今後の課題 Action	取組	課題や改善点							
		①	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 加古川流域滝野歴史民俗資料館については、観覧者が安心して利用できる施設とするため外壁改修工事を実施する必要がある。 ◇ 文化財の適正な長期保護の観点から、恒久的な管理施設を完備し、かつ展示して広く公開することが可能となる施設の確保について検討する。また、保存環境に左右される文書・絵画の保存施設についても検討していく必要がある。 ◇ 引き続き、文化財の保護及び普及・啓発を図り、加東市の貴重な文化財を活用した展示会を開催し、積極的に市内外へ発信する必要がある。 						

H29
【点検と評価】

基本方針4	生涯学習による、だれもが生きがいをもてる社会の形成	年度評価	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
基本的方向(3)	生涯スポーツの普及と振興		B	B			

所管課	生涯学習課									
目標設定 Plan	成果指標		単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)	
	気軽に参加できる生涯スポーツ大会数	目標値	—	設定なし					—	
		実績値	大会数		9	9				
評価目標値 ◎成果指標の目標値は設定せず、実績値を比較・分析して評価する。										
取組内容 Do	①生涯スポーツの振興とコミュニティづくりの支援									
	<p>1 * 生涯スポーツを通じて、市民の健康保持・増進、地域コミュニティの育成につなげていくための事業を実施した。</p> <p>5 「地区親善ソフトボール大会」、「地区親善バレーボール大会」、「ゲートボール大会」、「ペタンク大会」、「グラウンドゴルフ大会」、「卓球大会」、</p> <p>3 「パークゴルフ大会」、「加東伝の助マラソン大会」、「ふるさとハイキング」</p>									
	②スポーツ団体の支援									
成果と評価 Check	取組	継続課題			成果					
		①	<p>▷ 各事業の内容、会場等を精査、人員確保と安全対策</p> <p>▷ 多種のスポーツに参加できる体制が整っていること</p> <p>▷ 市民への周知</p> <p>▷ 年間使用計画と施設利用の調整</p> <p>▷ 施設利用者の混乱を避けるため、体育協会をはじめ、各種団体等に周知</p>			<p>▷ 各種目とも多くの市民の参加が得られ、技術の向上や地域、世代を越えたコミュニティの推進が図られた。</p> <p>▷ 各大会の開催には、市体育協会(各種目協会含む)、市スポーツ推進員等の協力も得られ、市民の手による市民のための大会が開催できた。</p> <p>▷ 「加東市伝の助マラソン大会」は、県立播磨中央公園で開催し、市民に親しまれる大会として定着させることができた。</p>				
			②	なし			▷ 今年度もスポーツ団体への支援として、施設利用における支援及び活動補助並びに活躍するスポーツ団体及び市民アスリートに対する適正な支援を実施することができた。			
関連事業	<p>① ふれあい球技大会(地区親善ソフトボール大会、地区親善バレーボール大会、ペタンク大会、グラウンドゴルフ大会、卓球大会、ゲートボール大会、パークゴルフ大会)、加東伝の助マラソン大会、ふるさとハイキング</p> <p>② 体育協会補助金・スポーツ賞制度・代表選手賞賜金制度・体育施設維持管理事業</p>									

	評価	各大会を実施する中、一部で日程の変更や参加者の増減があったことから、評価を「B」とします。
今後の課題	取組	課題や改善点
Action	①	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 廃止となる施設について、定期利用団体との調整等を密に行い年間使用計画に支障が生じないよう調整を図っていく必要がある。また、施設利用者の混乱を避けるため、体育協会をはじめ各種団体等に周知を図っていく必要がある。 ◇ 市民が気軽に生涯スポーツに取り組めるよう、また触れることができるよう各種イベントを開催するとともに、スポーツ団体・指導者の育成に努める必要がある。
	②	◇ 今後においても、引き続きスポーツ団体への支援を行う必要がある。

H29
【点検と評価】

基本方針4	生涯学習による、だれもが生きがいをもてる社会の形成	年度評価	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
基本的方向(4)	社会教育・体育関係施設の管理・運営		A	A			

所管課	生涯学習課								
目標設定 Plan	成果指標		単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
	安全で快適な施設の管理事業を行った件数	目標値	—	設定なし					—
		実績値	件数			5	10		

評価目標値
◎成果指標の目標値は設定せず、実績値を比較・分析して評価する。

取組内容 Do	①社会教育・体育関係施設の管理・運営 3公民館、2コミュニティ施設、3文化会館、6体育館、9グラウンド、滝野複合施設、明治館、加古川流域滝野歴史民俗資料館、三草藩武家屋敷の管理・運営と市民に喜ばれる施設として活用いただけるよう適切な運用と効果的な維持管理を行った。 公共施設適正化計画の方針決定に伴い、各施設について適切な維持管理・運営を行った。 平成29年度の主な工事等 * やしろ国際学習塾のホール棟2、3階トイレ改修工事 * 東条文化会館舞台吊物改修工事 * 社公民館防犯カメラ設置工事 * 滝野公民館防犯カメラ追加工事 * 東条公民館移転に伴うとどろき荘改修工事 * 社武道館天井等改修工事 * 社武道館防犯カメラ設置工事 * 社第一グラウンドテニスコート照明機器修繕工事 他2件
	関連事業 ① 3公民館、2コミュニティ施設、3文化会館、6体育館、9グラウンド、滝野複合施設、明治館、加古川流域滝野歴史民俗資料館、三草藩武家屋敷 維持管理事業

成果と評価 Check	取組	継続課題	成果
	①	▶ 施設の維持管理は、順次整備、改修に努め、快適な使用環境を提供 ▶ 防犯対策	▶ 施設の維持管理は、順次整備・改修に努め、快適な使用環境の提供に努めることができた。 ▶ 廃止となる施設は維持費の投資を抑え、存続する施設については適切な維持管理・運営が実施できた。 ▶ 防犯上特に必要と認められる施設について、防犯カメラの設置箇所を調査して、整備することができた。
	評価	各施設の管理については、順次整備・改修に努め、計画どおりの実施により快適な使用環境を提供できたことから、評価を「A」とします。	

今後の課題 Action	取組	課題や改善点
	①	◇ 引き続き、施設の適正な維持管理に努め、利用者の安全安心を確保し、施設運営を行う必要がある。

H29

【点検と評価】

基本方針4	生涯学習による、だれもが生きがいをもてる社会の形	年度評価	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
基本的方向(5)	市立図書館の充実		B	B			

所管課	図書館								
目標設定 Plan	成果指標		単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
	図書館利用の市民登録率	目標値	%	47	48	49.0	52.0		54
		実績値	%		49.5	50.5			
評価目標値 市民登録率目標以上:「A」、順調に登録率上昇:「B」、登録率低下:「C」、登録率低迷:「D」									
取組内容 Do	①資料提供・情報提供の充実 1 広報及びケーブルテレビ、図書館だより(H28年8月から隔月)により情報提供を行った。 2 図書館システムを利用し、図書や雑誌などの貸出を行うとともに、ウェブ予約によるサービス充実に努めた。 3 学校との連携を図り団体貸出しを実施した。								
	②魅力ある蔵書の整備・充実 1 図書館資料収集基準及び廃棄基準に基づき蔵書の整備・充実に努めた。 2 予約資料や郷土資料を購入した。 3 雑誌スポンサー制度の導入により、雑誌コーナーの充実を図った。 4 特設展示コーナーを設置し、図書を案内した。								
	③図書館利用の推進 1.2 おとどけ図書館及びおでかけ図書館を実施した。 3 絵本のおはなし会を4館で実施するとともに人権教育課と連携し館外でも行った。 4 健康課と連携し、4か月検診の親子に「はじめてであう絵本」を実施した。 5 図書館の会議室を学習室として活用した。 6 読書活動推進事業として、利用者参加型の事業を展開した。 7 図書館相互利用推進事業(加西市・西脇市・多可町の返却本の預かりサービス)								
	関連事業	① 図書館システムの維持管理、団体貸付 ② 図書等の資料購入、雑誌スポンサー制度 ③ おとどけ図書館、おでかけ図書館、絵本のおはなし会、はじめてであう絵本、読書活動推進事業、特設展示コーナー							
成果と評価	取組	継続課題	成果						
	①	▶ 資料提供・情報提供の充実、市民への情報提供方法	▶ 図書館だより、広報かとう等により情報提供した。						
	②	▶ 特別展示等の開催、雑誌スポンサー制度の充実	▶ 毎月、各館で話題性や季節の行事などテーマを決めて展示を行うことにより、蔵書の活用を図った。 ▶ 雑誌スポンサー4社で13冊						

Check	③	<p>▽ おとどけ図書館の選書、おでかけ図書館の対象学年拡大、おはなし会の他部署連携、読書活動推進事業の拡充</p> <p>▶ 学校と協力し「おでかけ図書館」を市内10校で実施することで、図書館の役割について説明を行うとともに、施設の見学や「としよカード」により本を借りる体験を提供した。</p> <p>▶ 図書カードを登録することにより図書館利用を高めることができた。</p> <p>▶ 市内外の図書館相互利用により図書館の利用促進を行った。</p> <p>▶ 小学生高学年による図書館員の体験やお化けのおはなし会など、利用者参加型の催しを工夫した。</p>
	評価	図書館行事の充実に努め、成果指標も上昇していますが、貸出冊数等の減少が続いているため評価を「B」とします。
今後の課題	取組	課題や改善点
Action	①	◇ 図書館の利用について、市民に情報提供を行っていく。
	③	<p>◇ リクエスト等市民が希望する本について、購入又は他館との相互貸借により貸出を行う。</p> <p>◇ 学校や他部署と連携を図り、子どもに読書の輪を広げたり、市民の自己学習を支援したりする活動を展開していく。</p> <p>◇ 読書活動推進事業においては、市民が参加したいと思う催しを行う。</p>

H29

【点検と評価】

基本方針5	人権教育・啓発の推進による、共生社会と人権文化の創造	年度評価	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
基本的方向(1)	豊かな人権感覚を培う人権教育・啓発		B	B			

所管課	人権教育課							
目標設定 Plan	成果指標	単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
	実施する講演会のに参加して人権問題に関する関心や理解が深まった人の割合	目標値	%	45	46	47	48	50
		実績値	%		39.2	38.8		
	評価目標値 アンケート回答者の関心や理解が大変深まった人の割合54%以上:「A」、36%以上:「B」、27%以上:「C」、27%未満:「D」							
取組内容 Do	①人権教育・啓発の推進							
	1 市民が日常生活の中で、人権を尊重することを自然に考え、行動できる感覚を身につけられるよう、学校・家庭・職場・地域における人権学習が充実したものとなるように支援した。 3 特定職業従事者(市職員、教職員、保育職員、医療・保険関係者、福祉関係者)を対象とした研修を充実した。 10 3歳から5歳の幼児に人権尊重の感性を育むための幼児期人権教育事業、小中学生向けの人権講演会を行った。							
	②人権教育の学習資料の提供							
	1 効果的な人権学習会が行われるように、人権教育に関する情報を収集し、学習教材として提供した。 4							
	③人権尊重の視点に立った行政の推進							
	1 人権施策推進連絡会議を開催し総合的な推進を図った。							
	④人権教育指導者の充実							
	1 市民が主体となった自主的な学習を行う一助とするため、人権教育指導者の講師登録を進めた。							
⑤各種団体が取り組む人権学習への支援								
1 各種団体が行う人権学習会への情報提供や講師派遣を行い学習の充実を図った。 3								
⑥相談支援体制の充実								
1 インターネットを悪用した人権侵害の相談のほか、さまざまな人権問題に対する相談や支援の充実を図った。 3								
関連事業	人権啓発講演会、人権を考える市民のつどい、人権教育スキルアップ講座、地域に学ぶ体験学習支援事業、人権の花運動、各種啓発展示、人権啓発番組の放送、インターネットモニタリング、小中学校人権教育講演会、幼児期における人権教育の推進			③ 人権施策推進連絡会議				
				④ 講師登録制度の充実に向けた取組				
			⑤ 市民人権講座の開講、市人権・同和教育研究協議会事業、市企業人権教育協議会事業					
② 情報誌「夢きらめいて」の発行、同和問題啓発資料「ふるさと」の活用、人権啓発ビデオライブラリの構築			⑥ 人権擁護委員活動、広域隣保館活動事業					

成果と評価	取組	継続課題	成果
Check	①	▶ 若年層(40歳代以下)の参加増への工夫	▶ 人権啓発講演会では、PTAの後援承諾を得て277名の参加者があり、そのうちアンケートを回答した40代以下は12.5%で昨年度の10.1%から微増することが出来た。また、幼児期人権学習事業は、保育園・幼稚園の先生向けの指導者養成セミナーを理論編と実践編の計2回、親子で体験する親子セミナーを児童館等で3回、また出前親子セミナーとして、幼稚園、保育園、認定こども園で希望のあった4園で実施し、昨年と合わせた体験親子組数も200組を超えた。参加者からは「絶対人権感覚を培うためには、子どもの自己肯定感を育むことであり、親として子どものありのままの姿を受け入れて認めることが必要と感じました。」との事業を評価する感想が寄せられた。
	②	▶ 教材の有効活用	▶ 平成29年度に県が作成した人権啓発ビデオ「風の匂い」を社会教育推進委員会で試写し、活用を促した。その結果、78地区が地区学習に使用し、障がい者理解や合理的配慮に関する理解が深まった。
	③	なし	▶ 部長会で市内におけるネット差別書き込み事案について報告し、危機感を共有するとともに、課員への伝達と人権啓発を依頼した。その後、市職員対象の人権啓発研修で取り上げ、再度、人権擁護の重要性について研修した。
	④	なし	▶ 住民学習説明会を3回実施し、学習を計画的に取り組めるように指導するとともに、内容を地域のふれあい活動から人権学習重視への移行を依頼した。その結果、98地区中92地区で住民学習が実施できた。
	⑤	▶ 住民学習参加者の減少対策と内容の充実	▶ 老人会、婦人会、民生児童委員会、消防団などに講師紹介・講師派遣を行った。また、地区が行う人権学習会へも講師派遣を行った。その結果、DVD視聴以外の学習方法が19地区で実施され内容の充実が図られた。
	⑥	▶ 相談の充実	▶ 従来から実施している相談事業と合わせ、市ホームページに人権に関する相談窓口を集約して掲載し、相談機会の充実が図られた。
	評価	人権問題に関する関心や理解が深まったと回答した人の割合が38.8%なので、「B」とします。	
今後の課題 Action	取組	課題や改善点	
	①	◇ 幼児期人権教育事業は、市内の保育園等への出前親子セミナーを行うなど積極的な展開に努めます。	
	②	◇ ビデオや資料が積極的に活用されるシステムづくりを検討します。	
	③	◇ 人権施策推進連絡会議を開催し進行管理に努めます。	
	④	◇ 地域リーダーを養成するシステムづくりを検討します。	
	⑤	◇ 充実した人権学習となるように講師紹介等を行います。	
	⑥	◇ ホームページに相談窓口を設置し相談の機会を充実します。	

H29

【点検と評価】

基本方針5	人権教育・啓発の推進による、共生社会と人権文化の創造	年度評価	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
基本的方向(2)	男女共同参画社会の実現のための意識・機会・環境・地域づくり		A	A			

所管課	人権教育課								
目標設定 Plan	成果指標		単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
	実施する講演会の内容に満足している参加者の割合		%	50	51	52	73		75
	評価目標値		%		78.3	71.2			
	アンケート回答者の大変満足した人の割合60%以上:「A」、40%:「B」、30%以上:「C」、30%未満:「D」								
取組内容 Do	①人権尊重と男女共同参画の意識づくり								
	1 人権啓発情報誌「夢きらめいて」における記事の掲載、街頭啓発活動のほか、男女共同参画や女性活躍、男性の家事参加や働き方の変革に関するセミナー、講演会、研修会の実施に取組んだ。								
	②あらゆる分野へ参画できる機会づくり								
	1 女性の人材育成に努め、女性が意欲を持って活躍できる機会の充実を図り、女性の活躍や団体の支援を行った。 2 また、女性の政策・方針決定過程への参画を進めるため、審議会、委員会への女性登用を進めた。								
	③男女がともに豊かに働ける環境づくり								
	1 固定的な性別役割分担意識を解消するための啓発や女性が活躍できる職場づくりの研修会を実施するとともに、商工会に対し、ワーク・ライフ・バランスや男性の育児休業等の制度啓発に取組んだ。								
	④だれもが安心して暮らせる地域づくり								
	1 研修会を通じて、子育てや介護・看護などの女性の側の負担となっている事柄を家族や地域で支える意識啓発に取組んだ。								
関連事業	① 男女共同参画セミナー、街頭啓発活動、人権啓発情報誌、人権啓発講演会			③④ 市企人教研修会、商工会理事会において「男女共同参画ニュース」配布					
成果と評価 Check	取組	継続課題			成果				
	①	▶ 男女共同参画を浸透させる効果的な講演会やセミナーの開催			▶ テーマを絞ったセミナーや多人数を対象とした研修会・講演会を実施したところ、参加者の満足度が71.2%となっており、男女共同参画の意識啓発に一定の成果があった。				
	②	▶ 女性の登用について各種団体への働きかけ			▶ 市の女性管理職の割合は、26.5%となり、前年度(23.7%)より2.8ポイント増となったが、審議会等委員の割合は25.3%で、前年度(27.7%)より2.4ポイント減であった。				
	③	▶ 仕事、家庭生活、地域活動をバランスよく選択、実現できる学習機会の			▶ 女性活躍や男性の働き方の変革が求められる意義に関する研修会や講演会を通じて、ワーク・ライフ・バランスについてを考える機会となった。				
	④	▶ 女性をはじめ子どもや高齢者等、誰もが安心して暮らせる環境の整備・充実			▶ セミナーや講演会を通して、性別にとられない家庭における家事や子育ての役割分担や地域づくりについて啓発した。				

	評価	セミナー参加者の満足度が71.2%と目標値を超えたので評価を「A」とします。
今後の課題	取組	課題や改善点
	①	◇セミナーの継続実施とともに男性の意識改革のための取組、地区学習などへの学習資料の提供などを行い、更なる男女共同参画意識の向上に努めます。
	②	◇女性委員の比率が30%以上になるよう、委員選考の際に女性の登用促進を進めます。
	③	◇再就職や起業など女性の活躍を支援するためのセミナーや男性の意識改革のための講演会等を開催します。
	④	◇関係機関との連携により、性別等に関係なく地域で支え合って暮らすことの大切さを考える機会を提供します。
Action		

評価委員所見

評価委員

所見(特にコメントすべきことがあれば)	
幼稚園・学校教育	<p>第2期の中期目標を受け、年次計画に沿って、各種事業が着実に展開されていることを十分に認識できる。</p> <p>また、小中一貫教育の実施に向けて、カリキュラム作成の計画に取り組み一方で、小中学校間の児童交流や小・中学生の交流の機会を設けて、新たな問題・課題の探求に取り組む等々、用意周到な備えで臨むようしていることに心強さを感じる事ができる。</p>
社会教育	<p>用意したプログラムを展開する広範な事業を実施し、また市民による自主的活動を推進するための施設・用具などを提供し、市民のニーズに応じようとしている。</p> <p>他方、社会教育・生涯学習として、与えられたプログラムに参加するかどうかや与えられた施設・用具を用いた自主的活動を実施するかどうかは、市民個人の意志に任せるため、学習の経過・過程における個人差が学習成果にも着しく反映される。</p> <p>このことに着目して、社会教育・生涯学習による成果の把握や評価の方法について、形成的評価を中心とした新たな工夫の試みもみられ、今後に大きな期待を持つ。</p>
教育行政	<p>「点検と評価」の作成に際して、第2期の中期目標と年次計画と一層明確に対応させることによりPDCAの継続を円滑にするための内容にしたり、また「学校教育」と「社会教育」の各々の特徴を尊重した内容にしようとしていることが理解できる。とりわけ、後者については、今後とも重要となる項目・事項であるだけに、大いに期待したい。</p>

総評	
<p>「点検と評価」に対しては、各事業に参加する市民・事業の担当者・事業の管理者等々に位置付く人々にとって、有意義に機能することが望まれている。この期待からみても、作成された「点検と評価」の様式は相方完成の域に達しているように思われる。</p> <p>ただ、上記の市民・担当者・管理者にとって、より機能する「点検と評価」となるためには、各事業の実施による成果や問題・課題について、いっそう具体的に把握・分析することが肝要になると思われる。</p> <p>この点に関わって、社会教育・生涯学習による成果の把握や評価の方法について、形成的評価に着目した新たな工夫の試みがうかがわれ、大いに期待し今後待たたい。</p>	

評価委員所見

評価委員

所 見(特にコメントすべきことがあれば)	
幼稚園・学校教育	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎基本を重視しながら、新しい教育課題にも積極的に取り組んでいる。また、その教育効果の向上も著しい。 数年先の小中一貫校の開校を目指す中、こども園と小学校、小学校と中学校との連携に係る先導的取組の充実が望まれる。 また、時期尚早かも知れないが、学校・園の活性化をより図るため、学校やこども園の運営自体を評価する基準づくりに取り組むことを検討してもよいのではないか。
社会教育	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設の適正配置等課題がある中、創意工夫した運営や事業が展開されている。今後、社会教育委員会をはじめ、各種審議会等の意見を活用しながら、「学習成果の社会還元」を活かし、より一層の「生涯学習ボランティアの育成」や「自治能力を備えた市民の育成」が望まれる。そのために、受益者負担をもっと導入してもよいのではと思う。 ○ 人権啓発の取組は、必要課題という学習ニーズの困難さがある中、創意工夫し、効果的に推進していることは、大いなる評価に値する。
教育行政	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育条件整備については、年々着実に進められ充実してきている。小中一貫校の着実な推進は、条件整備の効率化に寄与すると共に、たくましい「加東っ子」の育成にもつながり、特色あるまちづくりにも大きく貢献することは確かである。 ○ 合併10年以上過ぎ、年々数多くの現実的な課題に対応すると共に、小中一貫校の設置開校に向けて着実に進んでいることを核として、教育委員会の各課の連携による事業推進がより期待される。

総 評	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 28年度より事業点検・評価の変更したことにより、目標達成や目標設定が具体的になり事業効果も解りやすくなっている。 ○ 次年度よりこども園が教育委員会の所管とする機構改革をしたことは、時機を得た取組と言える。 ○ 事業効果を上げている割に市民に十分伝わっていない。教育委員会全体(特に学校・社会教育現場)として、さらなるマスコミ等への情報提供・発信することが望まれる。 	

平成29年度

教育委員会 点検と評価

資 料 編

加東市教育委員会

目 次

1. 学校教育課	
・平成29年度加東市学習チューター活動実績	・・・ 1
・平成29年度地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」活動報告書	・・・ 2～4
・食育推進事業 実績報告書	・・・ 5～6
・加東市内小中学校児童生徒の問題行動等の状況	・・・ 7
・「加東市ネット見守り隊」実施要領	・・・ 8～11
・平成29年度「シリーズ研修」の実施日及び講師等一覧	・・・ 12
2. 教育総務課（学校給食センター）	
・平成29年度事業実施状況	・・・ 14
・平成29年度給食指導訪問	・・・ 15
・平成29年度「かとう夢プラン」楽しみのある 学校給食特別メニュー	・・・ 16
・平成29年度給食センター見学会及び給食試食会	・・・ 17
・平成29年度夏休み親子料理教室	・・・ 18
3. 生涯学習課	
・社会体育関係	・・・ 19
・社会教育関係	・・・ 20
4. 図書館	
・図書館の状況	・・・ 21
5. 人権教育課	
・人権教育・啓発の推進	・・・ 22～23
・男女共同参画事業の推進	・・・ 23

平成29年度加東市学習チューター活動実績

番号	学校園名	所属	時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	社小学校	神戸親和女子大学	通年	/	2	4	1	/	/	2	2	2	1	/	2	16
2	社小学校	兵庫教育大学	前期	/	1	4	2	/	/	/	/	/	/	/	/	7
3	社小学校	兵庫教育大学	前期	/	1	1	2	/	3	/	/	/	/	/	/	7
4	社小学校	兵庫教育大学	通年	/	2	3	/	/	4	3	1	/	/	1	2	16
5	社小学校	兵庫教育大学	通年	/	1	2	2	/	3	2	5	3	/	/	/	18
6	福田小学校	兵庫教育大学	前期	/	/	1	2	/	3	/	/	/	/	/	/	6
7	福田小学校	兵庫教育大学	通年	/	/	1	2	/	/	4	4	3	3	3	/	20
8	福田小学校	兵庫教育大学	通年	/	/	2	5	/	2	3	4	2	2	2	2	24
9	福田小学校	兵庫教育大学	後期	/	/	/	/	/	/	/	/	2	4	4	4	14
10	米田小学校	兵庫教育大学	前期	/	2	2	/	/	3	/	/	/	/	/	/	7
11	米田小学校	兵庫教育大学	通年	/	2	2	2	/	3	2	3	4	4	4	3	29
12	三草小学校	兵庫教育大学	前期	/	1	5	2	/	4	/	/	/	/	/	/	12
13	三草小学校	兵庫教育大学	通年	/	3	7	6	/	6	1	1	3	3	2	2	34
14	鴨川小学校	兵庫教育大学	通年	/	1	1	1	/	2	/	/	/	/	/	/	5
15	鴨川小学校	兵庫教育大学	前期	/	1	4	3	/	2	/	/	/	/	/	/	10
16	鴨川小学校	兵庫教育大学	後期	/	/	/	/	/	/	/	3	3	3	5	1	15
17	滝野東小学校	神戸親和女子大学	後期	/	/	/	/	/	/	3	3	3	2	2	3	16
18	滝野東小学校	兵庫教育大学	前期	/	/	1	2	/	4	/	/	/	/	/	/	7
19	滝野東小学校	兵庫教育大学	通年	/	/	3	2	/	2	/	4	3	/	3	2	19
20	滝野東小学校	兵庫教育大学	後期	/	/	/	/	/	/	/	3	3	3	3	3	15
21	滝野東小学校	兵庫教育大学	後期	/	/	/	/	/	/	/	/	/	1	/	/	1
22	滝野東小学校	兵庫教育大学	後期	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	2	4	6
23	滝野南小学校	神戸親和女子大学	通年	/	2	5	3	/	4	4	4	4	3	3	3	35
24	滝野南小学校	兵庫教育大学	前期	/	2	1	3	/	3	/	/	/	/	/	/	9
25	滝野南小学校	兵庫教育大学	前期	/	2	1	3	/	/	/	/	/	/	/	/	6
26	滝野南小学校	兵庫教育大学	前期	10	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	10
27	滝野南小学校	兵庫教育大学	後期	/	/	/	/	/	/	/	/	/	1	/	/	1
28	東条東小学校	兵庫教育大学	前期	/	/	/	2	/	1	/	/	/	/	/	/	3
29	東条東小学校	兵庫教育大学	前期	/	1	1	1	/	2	/	/	/	/	/	/	5
30	東条東小学校	兵庫教育大学	通年	/	1	1	/	/	/	/	3	2	2	/	/	9
31	東条西小学校	兵庫教育大学	前期	/	2	1	2	/	2	/	/	/	/	/	/	7
32	東条西小学校	兵庫教育大学	通年	/	1	/	2	/	2	2	2	1	2	/	2	14
33	社中学校	神戸親和女子大学	通年	/	/	/	2	/	1	2	1	1	/	/	/	7
34	社中学校	兵庫教育大学	通年	/	/	1	/	/	/	/	1	/	/	/	/	2
35	社中学校	兵庫教育大学	通年	/	/	/	/	/	/	2	/	/	/	/	/	2
36	社中学校	兵庫教育大学	通年	/	/	/	/	/	/	2	1	1	1	/	/	5
37	滝野中学校	兵庫教育大学	通年	/	/	/	/	/	/	/	1	1	/	/	/	2
38	滝野中学校	兵庫教育大学	前期	/	3	6	5	/	2	/	/	/	/	/	/	16
39	東条中学校	兵庫教育大学	通年	/	/	4	3	/	/	/	2	2	2	1	/	14
40	社幼稚園	兵庫教育大学	通年	/	/	5	2	/	1	/	/	/	/	/	/	8
月間合計				10	31	69	62	0	59	32	48	43	37	35	33	459

平成29年度地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」活動報告書

1 学校の概要

実施 学校名	加東市立社中学校	参加 生徒数	男子 66 (1) 名 女子 62 (2) 名 合計 128 (3) 名
-----------	----------	-----------	--

※()に特別支援学級生徒数を内数で記入する。

2 活動の概要

(1)活動期間

活動期間	平成 29年 10月 2日(月) ～ 平成 29年 10月 6日(金)	基本的な 活動班数	59	班
------	-------------------------------------	--------------	----	---

(2)活動内容等

活動分野名	具 体 名	活 動 場 所			班の数	生徒の数 (特別支援 学級生徒)	指導ボラン ティアの数		
		◎	●	★					
農林水産体験活動	酪 農		●		共進牧場(株)	1	3 ()	1	
	製 造		●		(株)ゲンタロウ	1	2 ()	1	
	製 造		●		Kajitsu	1	1 ()	1	
	製 造				(株)ベーカリーナポレオン	1	2 ()	1	
	製 造				アイガー社店	1	2 ()	1	
	製 造		●		パティスリーアプレシエ	1	1 ()	1	
	製 造				富士通周辺器(株)	1	2 ()	1	
	ス ポ ー ツ 体 育 施 設				サンロイヤルゴルフクラブ	1	3 ()	1	
	ス ポ ー ツ 体 育 施 設				ヤシロカントリークラブ	1	3 ()	2	
	ス ポ ー ツ 体 育 施 設				高室池スポーツクラブ	1	2 ()	1	
	病 院				加東市民病院	1	3 ()	1	
	自 動 車 関 連				藤原モーターサービス	1	1 ()	1	
	理 容 ・ 美 容				美容室ビィシャイン	1	2 ()	2	
	ガ ス 電 力 水 道				関西電力(株)社営業所	1	3 ()	1	
	水 族 館 動 物 園		●		アクア東条	1	1 ()	1	
	銀 行		◎		中兵庫信用金庫社支店	1	2 ()	1	
	幼 児 教 育				スマイルキッズナーセリースクール	1	1 ()	1	
	幼 児 教 育				三草こども園	1	2 ()	1	
	幼 児 教 育				社こども園	1	3 ()	1	
	幼 児 教 育				社幼稚園	1	3 ()	1	
	幼 児 教 育				正覚坊こども園	1	4 ()	1	
	幼 児 教 育				椿山保育園	1	4 ()	1	
	幼 児 教 育				東古瀬こども園	1	4 ()	1	
	幼 児 教 育				米田こども園	1	3 ()	1	
	小 学 校				鴨川小学校	1	1 (1)	1	
	小 学 校				三草小学校	1	2 ()	1	
	小 学 校				社小学校	1	8 ()	1	
	小 学 校				福田小学校	1	4 ()	1	
	小 学 校				米田小学校	1	3 (1)	1	
	小 学 校		●		滝野東小学校	1	1 ()	1	
	高 校 ・ 大 学				兵庫教育大学	1	1 ()	1	
	販 売		●		(有)西村書店	1	1 ()	1	
	販 売				(株)銀ビルストアーボンマルシェ社店	1	1 ()	1	
	販 売				イオンリテール(株)イオン社店	1	2 ()	1	
	販 売				ジュンテンドー社店	1	2 ()	1	
	販 売				ローソン社嬉野店	1	3 ()	2	
	販 売				(株)マックスバリュ西日本社店	1	1 ()	2	
	販 売				社スポーツ	1	1 ()	1	
	販 売				上新電機株式会社社店	1	2 (1)	1	
	飲 食 店		●		お好み焼き寛美	1	1 ()	1	
	旅 館 ・ ホ テ ル		●		西脇ロイヤルホテル	1	1 ()	1	
	映 画 館 ・ 劇 場				国際学習塾	1	1 ()	1	
	交 通 機 関		●		神戸電鉄志染駅	1	1 ()	1	
	公 民 館 ・ 児 童 館				社アフタースクール	1	3 ()	1	
	公 民 館 ・ 児 童 館				社児童館やしろこどものいえ	1	1 ()	1	
消 防 署				北はりま消防組合 加東消防署	1	4 ()	1		
役 所			★	兵庫県北播磨県民局加東土木事務所	1	1 ()	1		
図 書 館				加東市中央図書館	1	3 ()	1		
美 術 館 博 物 館 科 学 館		●		にしわか経緯度地球科学館	1	4 ()	1		
警 察				加東警察署	1	3 ()	1		
自 衛 隊 駐 屯 地		●		陸上自衛隊青野ヶ原駐屯地	1	2 ()	1		
造 園		◎		(株)富士川商事ヤシロ店	1	1 ()	1		
地 域 ・ 郷 土 芸 能 活 動	文 化 遺 産 発 掘		●	埋蔵文化財研究所	1	1 ()	1		
福 祉 課 活 動 ・ ボ ラ ン テ ィ ア	社 会 福 祉 施 設			ケアホームかとう	1	1 ()	1		
情 報	社 会 福 祉 施 設			ラポートやしろデイサービスセンター	1	1 ()	1		
其 他	地 域 の 放 送 局			加東市役所(加東ケーブルビジョン)	1	1 ()	1		
	公 共 公 園		★	嬉野台生涯教育センター	1	6 ()	1		
	公 共 公 園		★	県立やしろの森公園協会	1	1 ()	1		
	公 共 公 園		● ★	播磨中央公園管理事務所	1	1 ()	1		
合 計		2	14	4	59	カ所	59	128 (3)	63

市立特別支 援学校	在籍生徒数(中学部2年生)	0	参加生徒数	0	うち、居住地中学校区で活動した生徒数	0
--------------	---------------	---	-------	---	--------------------	---

(3) 介助補助員等の有償ボランティアの人数(実数 (0) 人

※生徒の数の欄の()には、特別支援学級生徒の数を内数で記入する。
 ※各欄には、1受け入れ事業所等について記入することとし、必要に応じて記入欄を増減させてよい。
 ※指導ボランティアはその活動場所での指導に当たった人数(実数)を記入する。
 ※活動場所が新規活動場所の場合は◎、校区外活動場所の場合は●、県立施設の場合は★を記入する。

平成29年度地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」活動報告書

1 学校の概要

実施 学校名	加東市立滝野中学校	参加 生徒数	男子 58 (2) 名 女子 55 (0) 名 合計 113 (2) 名
-----------	-----------	-----------	--

※()に特別支援学級生徒数を内数で記入する。

2 活動の概要

(1)活動期間

活動期間	平成 29 年 10月 2日(月) ~ 平成 29 年 10月 6日(金)	基本的な 活動班数	40 班
------	---------------------------------------	--------------	------

(2)活動内容等

活動分野名	具 体 名	活 動 場 所			班の数	生徒の数 (特別支援 学級生徒)	指導ボラン ティアの数		
		◎	●	★					
農林水産体験 活動	農 業	● ★	農林水産技術総合センター		1	4 ()	1		
		◎	共進牧場		1	1 ()	1		
職場体験活動	製 造	●	富士通周辺機(株)		1	2 ()	1		
			積水成型工業(株)兵庫滝野工場		1	1 ()	1		
		●	社菓庵 末永		1	1 ()	1		
			滝野総合公園スカイピア		1	2 ()	1		
	スポーツ体育施設			ナイススポーツプラザ		1	1 ()	1	
		病 院	◎	津田歯科医院		1	2 ()	1	
			増村医院		1	4 ()	2		
	理 容 ・ 美 容			BeShine滝野		1	2 ()	1	
				たきの愛児園		1	2 ()	1	
	幼 児 教 育			加茂こども園		1	7 ()	1	
				河高保育園		1	4 ()	1	
		◎		高岡育児園		1	1 ()	1	
		●		ひよこ保育園		1	4 ()	1	
	小 学 校			加東市立滝野東小学校		1	11 (1)	2	
				加東市立滝野南小学校		1	4 ()	2	
		販 売			ローソン下滝野店		1	3 ()	1
					ローソン上滝野店		1	2 ()	1
			◎		エディオン西脇		1	2 ()	1
			◎		ファッションセンターしまむら 社店		1	1 ()	1
					(株)エーコープ近畿 滝野店		1	4 ()	1
飲 食 店				カフェアンジュ		1	1 ()	1	
				風神ラーメン		1	3 ()	1	
				ゆんたく		1	1 ()	1	
温 泉 施 設				たきの温泉ぼかぼ		1	4 ()	1	
劇 場		◎		やしろ国際学習塾		1	3 ()	1	
公 民 館 ・ 児 童 館				児童館きらら		1	2 ()	1	
消 防 署		●		加東消防署		1	3 ()	1	
警 察 署	●		加東警察署		1	2 ()	1		
図 書 館			加東市滝野図書館		1	3 ()	1		
自 衛 隊 駐 屯 地	●		青野ヶ原自衛隊駐屯地		1	10 ()	1		
給 食 セ ン タ ー	●		加東市学校給食センター		1	2 ()	1		
福祉体験活 動・ボラン ティア	社会福祉施設		特別養護老人ホーム フロイデ滝野		1	1 ()	1		
		◎	滝野東なかよしクラブ		1	4 ()	1		
		●	小野市立小野特別支援学校		1	1 ()	1		
情 報	地 域 の 放 送 局		加東ケーブルテレビジョン		1	1 ()	1		
科学技術	科学に関する研究	◎ ●	アクア東条		1	1 ()	1		
		◎ ●	にしわか経緯度地球科学館		1	2 ()	1		
その他			★ 播磨中央公園		1	4 (1)	3		
合 計		9	11	2	40	カ所	40	113 (2)	45

市立特別支 援学校	在籍生徒数(中学部2年生)	0	参加生徒数	0	うち、居住地中学校区で活動した生徒数	0
--------------	---------------	---	-------	---	--------------------	---

(3) 介助補助員等の有償ボランティアの人数(実数) (0) 人

※生徒の数の欄の()には、特別支援学級生徒の数を内数で記入する。
 ※各欄には、1受け入れ事業所等について記入することとし、必要に応じて記入欄を増減させてよい。
 ※指導ボランティアはその活動場所での指導に当たった人数(実数)を記入する。
 ※活動場所が新規活動場所の場合は◎、校外活動場所の場合は●、県立施設の場合は★を記入する。

平成29年度地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」活動報告書

1 学校の概要

実施 学校名	加東市立東条中学校	参加 生徒数	男子 33 (0) 名 女子 29 (0) 名 合計 62 (0) 名
-----------	-----------	-----------	---

※()に特別支援学級生徒数を内数で記入する。

2 活動の概要

(1) 活動期間

活動期間	平成29年10月2日(月) ~ 平成29年10月6日(土)	基本的な 活動班数	29	班
------	-------------------------------	--------------	----	---

(2) 活動内容等

活動分野名	具 体 名	◎ ● ★			活 動 場 所	班の数	生徒の数 (特別支援学級生徒)	指導ボラン ティアの数	
		◎	●	★					
農林水産体験活動	酪 農		●		(有)プリランテ(前川牧場)	1	2 ()	1	
	酪 農		●		BOSS&MOM(西山牧場)	1	4 ()	1	
職場体験活動	ス ポ ー ツ 体 育 施 設				東条の森カントリー倶楽部	1	2 ()	1	
	病 院				中村接骨鍼灸院	1	1 ()	1	
	自 動 車 関 連				Honda Cars 北神戸東条店	1	1 ()	1	
	理 容 ・ 美 容		●		美容室 ビィ シャイン	1	2 ()	1	
	水 族 館 動 物 園				アクア東条	1	3 ()	1	
	幼 児 教 育				東条こども園	1	2 ()	1	
	幼 児 教 育				秋津保育園	1	2 ()	1	
	小 学 校				東条西小学校	1	3 ()	1	
	小 学 校				東条東小学校	1	4 ()	1	
	高 校 ・ 大 学				兵庫教育大学	1	1 ()	2	
	販 売		●		社スポーツ	1	1 ()	1	
	販 売				ファミリーマート東条 インターパーク店	1	3 ()	2	
	販 売				ローソン吉井店	1	2 ()	1	
	飲 食 店		●		(株)ベーカリー ナポレオン	1	1 ()	1	
	飲 食 店		●		パティスリー アプレシエ	1	1 ()	1	
	飲 食 店				やまざと	1	2 ()	1	
	飲 食 店				シャレード	1	2 ()	1	
	飲 食 店				獅子銀 東条店	1	1 ()	1	
	旅 館 ・ ホ テ ル				ホテルグリーンプラザ東条湖	1	3 ()	1	
	消 防 署		●		北はりま消防組合 加東消防署	1	3 ()	1	
図 書 館		●		加東市中央図書館	1	2 ()	1		
自 衛 隊 駐 屯 地		●		陸上自衛隊 青野原駐屯地	1	6 ()	2		
地域・郷土芸能活動	文 化 遺 産 発 掘				埋蔵文化財研究所	1	1 ()	1	
福祉体験活動・ボランティア	社 会 福 祉 施 設				伽の里	1	2 ()	2	
情 報	地 域 の 放 送 局		●		加東市役所(加東ケーブルビジョン)	1	1 ()	1	
その他	公 園		●	★	嬉野台生涯教育センター	1	3 ()	1	
	公 園		●	★	県立やしらの森公園協会	1	1 ()	1	
合 計		0	12	2	29	カ所	29	62 (0)	33

市立特別支 援学校	在籍生徒数(中学部2年生)	0	うち、居住地中学校区で活動した生徒数	0
	参加生徒数	0		

(3) 介助補助員等の有償ボランティアの人数(実数) (0) 人

※生徒の数の欄の()には、特別支援学級生徒の数を内数で記入する。
 ※各欄には、1受け入れ事業所等について記入することとし、必要に応じて記入欄を増減させてよい。
 ※指導ボランティアはその活動場所での指導に当たった人数(実数)を記入する。
 ※活動場所が新規活動場所の場合は◎、校区外活動場所の場合は●、県立施設の場合は★を記入する。

食育推進事業 実績報告書

学 校 名	加 東 市 立 東 条 東 小 学 校	
実施期間	平成 2 9 年 4 月 1 日 から 平成 3 0 年 3 月 3 1 日	
推進校の 実施概要	職員や保護者が食育基本法や食育とはどのようなものか知ることから始めようと研修の機会をもった。児童はプロの料理人が調理する姿を見たり、実際に調理したりした。	
推進校の 取組 <small>栄養教諭の活用について</small>	各学年、自分たちで育てた野菜を自分たちで調理して食べたり、講師を招いて調理実習をしたりして、食べることに興味や関心を高めている。	
実施時期	実施内容	摘 要
8月30日	食育研修会 職員対象 「食育推進に向けて」 兵庫教育大学 門脇千里	食育基本法、食育で大切なことなどの講話、簡単なお菓子の調理実習
10月28日	味噌汁調理（5年） 有馬旅館旅籠 大田忠道	出汁について （だし巻き卵、おひたし、味噌汁の調理）
11月1日	朝食とリズム（6年） 有馬旅館旅籠 大田忠道	バランスのよい食事、和食、行事食 （だし巻き卵、おひたし、味噌汁の調理）
1月21日	食育講演会 保護者対象 「食育推進にあたって」 兵庫教育大学 門脇千里	食育について、食生活の変化、食生活と健康などの講話
成果と課題	食育の授業や体験学習を通して、料理が楽しいと思ったり食に興味や関心をもったりする児童が増えた。残菜はなくならないものの、少しずつ減っている。 講師招聘のために時間を使ってしまい、児童や保護者への啓発活動がなかなかできなかった。	

食育推進事業 実績報告書

学 校 名	加 東 市 立 東 条 中 学 校	
実施期間	平成29年 4月 1日から平成30年 3月 31日	
推進校の 実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・給食部等生徒会活動の活性化を図り、給食時の偏食や残菜防止に向けた取組を推進。 ・大学等の管理栄養士による講話や給食センター栄養教諭による出前授業を実施。 ・「地産地消」をテーマに地域の関連団体「いずみ会」からゲストティーチャーを招聘し、調理実習を実施。 ・アレルギーに関する専門医を招聘し、「食の安全」等に関する校内教職員研修を実施。 	
推進校の栄養 教諭の活用について	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生を対象として「給食を通した食と健康づくり」をテーマに出前授業を実施。 ・「和食の日」に全校生を対象として「和食」の歴史や特長についての講話を実施。その後、1年生の給食に同席し、給食指導を実施。 	
実施時期	実施内容	摘 要
5月	生活習慣アンケートの実施 〔全校生〕	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の食習慣等の実態把握のため全校生徒を対象に実施 ・生徒会給食部の活動として全校生徒を対象に実施 ・六甲アイランド甲南病院 医師 榎林成之氏による講話 ・給食センター栄養教諭による出前授業 ・兵庫ヤクルト販売株式会社管理栄養士による出前授業 ・生徒の食習慣等の変化を把握し、「食育」の成果と課題を把握するため実施 ・立命館大学客員研究員 海崎 彩氏による講話 ・加東市いずみ会の方々をゲストティーチャーとして招聘し、調理実習を実施
6月	給食コンクール 〔全校生〕 （「残菜0運動」）	
8月19日（金）	校内教職員研修 〔教職員〕 「食の安全とアレルギー」	
10月17日（月）	出前授業 〔3年生〕 「給食を通した食と健康づくり」	
11月7日（月）	出前授業 〔1年生〕 「食と健康」	
11月	生活習慣アンケートの実施 〔全校生〕	
12月2日（金）	講話 〔全校生、教職員〕 「スポーツのための食事」	
12月2日（金）	調理実習 〔2年生〕	
12月6日（火）	（テーマ「地産地消」）	
通年	各学年調理実習の実施等各教科の年間計画や生徒会活動に位置づけた指導	
成果と課題	<p>昨年度と比較して給食時の残菜量が大幅に改善されてきた。また、朝食をしっかりと食べてくることなど、成長期にある中学生として食に関する意識と食習慣の改善が見られる。さらに教職員にも食の安全や給食指導の重要性等を意識した取組が推進された。</p> <p>今後さらに、食事量の個人差への配慮、食物アレルギー等の正確な把握と共通理解を十分に行いながら食に関する指導を進めたい。その際、栄養教諭のさらなる活用や地域団体との連携、生徒会活動の一層の活性化を図るなど、推進校としての特別な取組ではなく、系統的な取組として通常の年間指導計画に位置づけられるよう計画・実行していきたい。</p>	

加東市内小中学校児童生徒の問題行動等の状況

【小学校】

種別		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
刑法犯行為	暴力行為 校内(件)	0	1	0	0	3	4
	暴力行為 校外(件)	0	0	0	1	0	0
	恐喝(件)	0	0	0	0	0	0
	窃盗(万引き等)(件)	6	10	4	6	5	7
	その他(放火等)	0	0	0	0	0	0
ぐ犯・不良行為	家出(件)	0	2	0	2	1	1
	飲酒(件)	0	0	0	0	0	0
	喫煙(件)	0	0	0	0	0	0
	その他(不良交友等)	5	7	0	2	5	50
無免許運転		0	0	0	0	0	0
合計(件)		11	20	4	11	14	62
いじめ(件)		9	10	4	2→3	9	71
不登校(人)		4	5	8	5	8	14

【中学校】

種別		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
刑法犯行為	暴力行為 校内(件)	11	15	8	4	9	2
	暴力行為 校外(件)	0	0	0	0	1	0
	恐喝(件)	0	1	0	0	1	0
	窃盗(万引き等)(件)	5	3	7	7	1	4
	その他(放火等)	0	2	2	0	1	0
ぐ犯・不良行為	家出(件)	4	0	10	3	4	1
	飲酒(件)	1	1	1	0	2	0
	喫煙(件)	6	7	9	4	3	2
	その他(不良交友等)	35	54	53	51	36	49
無免許運転		1	0	0	1	0	0
合計(件)		63	83	90	70	58	58
いじめ(件)		10	6	*10	10→12	19	26
不登校(人)		33	23	24	23	24	25

※「いじめ」は、被害児童生徒数。

*平成26年度いじめ認知件数は、平成27年4月現在で3件としていたが、平成27年9月の文部科学省のいじめ認知事例に「いじめの芽」を含む等再点検の通知を受け、各校で点検した結果、10件とした。いずれも解決済みであるが、継続して観察している。

※「不登校」は、人数。それ以外は、件数。

平成29年度「いじめ」の概要

【小学校】

・仲間はずれ、からかい、悪口等 【解消39件、継続観察32件 計71件】

【中学校】

・嫌がらせ、悪口、暴力 【解消19件、継続観察7件 計26件】

※「いじめ」認知件数

※平成29年度より、いじめの定義4要件に該当する指導事案、全て件数としてあげている。
 「①児童生徒に対して、(中略)当該児童生徒と②一定の人間関係のある他の児童生徒が行う、③心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものも含む。)であって、当該行為の対象となった児童生徒が④心身の苦痛を感じているもの。」
 ※いじめの加害を「その他」であげる事案が増加した。

「加東市ネット見守り隊」実施要項

加 東 市
加東市教育委員会
兵 庫 教 育 大 学

1 目的

携帯電話やパソコン等を利用する子どもたちが増加することに伴い、その利便性と同時に危険性への対応が重要になっている。特に、インターネット上の掲示板や学校非公式（学校裏）サイト等を利用して、特定の児童生徒を誹謗中傷する「ネットいじめ」が大きな社会問題になっている。

また、それらを過度に利用することは、子どもたちの生活スタイルを変え、特に人間関係づくりに多大な影響も与えてきている。

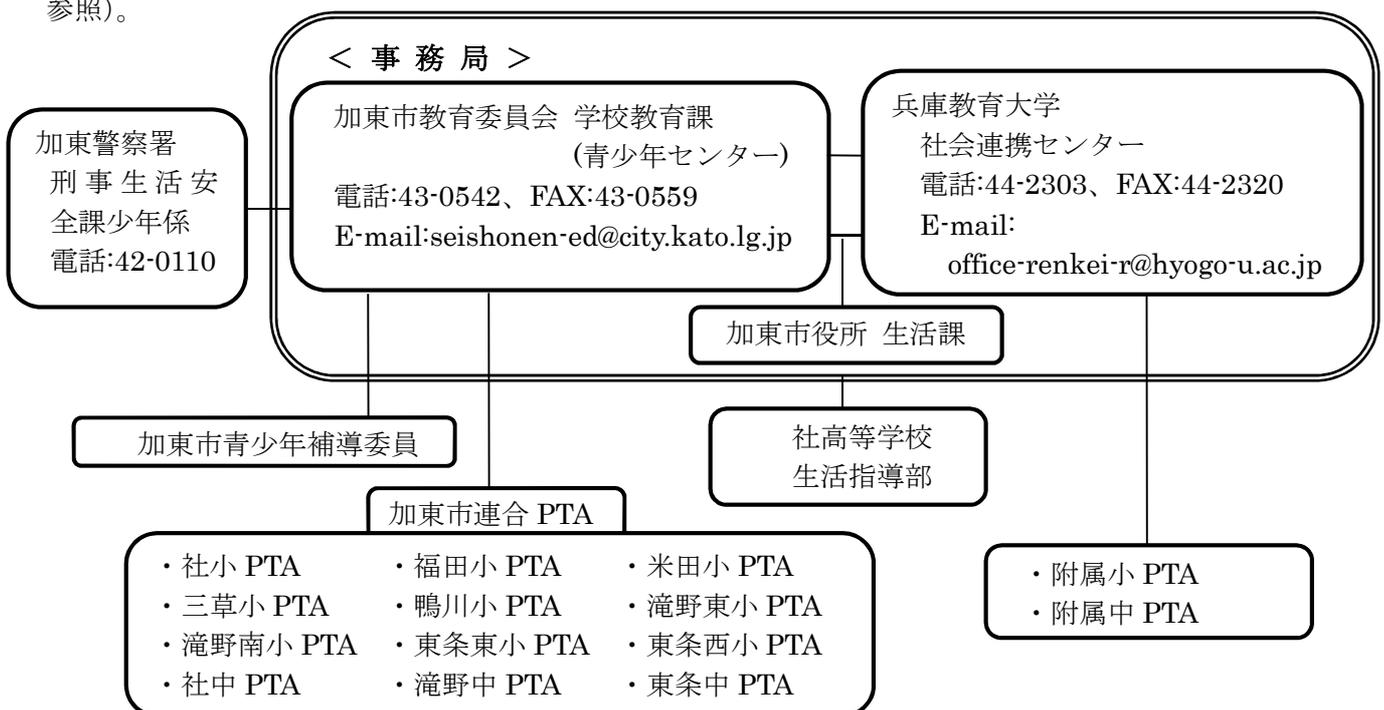
そこで、「加東市ネット見守り隊」を組織し、市内各小中学校 PTA、社高等学校、加東警察署刑事生活安全課、加東市教育委員会及び兵庫教育大学がスクラムを組み、有害情報やネットいじめ・誹謗中傷から子どもたちを守るとともに、インターネット上のトラブルや犯罪行為の早期発見・早期解決に向けた取組を行う。あわせて、学校と保護者が密接に連携しながら、子どもたちの発達の段階に応じたインターネット上のルールやマナーを守る指導を積極的に行う。

2 設置の方法

「加東市ネット見守り隊」は、市内各小中学校（例、生徒指導部会等）が、保護者と連携して組織する。なお、設置後は、各学校は別紙様式 1 により、加東市教育委員会（学校教育課）へ報告する。

3 「加東市ネット見守り隊」の構成員

加東市教育委員会学校教育課及び兵庫教育大学社会連携センターを中心に、加東市連合 PTA（小中学校 PTA を含む）、社高等学校、加東市青少年補導委員会及び加東警察署刑事生活安全課が相互補完的に協力し、必要に応じて情報交換、監視行動（不審者対応を含む）及び啓発活動を行う（下の連携図参照）。



4 構成員の役割

- (1) 加東市教育委員会（学校教育課）及び兵庫教育大学社会連携センターは、互いに連携して「加東市ネット見守り隊」の運営、及び兵庫県情報セキュリティサポーターや警察等の関係機関との連絡調整にあたる。
- (2) 加東市教育委員会（青少年センター）及び兵庫教育大学「学校教育相談室」は、保護者からの相談窓口としての役割を担う。
- (3) 加東市教育委員会（学校教育課）及び兵庫教育大学は、特別監視員として兵庫県情報セキュリティサポーター1名を指名する。
- (4) 社高等学校生活指導部、加東市連合PTA（各小中学校PTAを含む）及び兵庫教育大学附属小中学校PTAは、監視行動（不審者対応を含む）と啓発活動を充実させる取組を行う。

5 具体的な取組内容

(1) サイバーパトロール（監視行動）

① P T A会員によるサイバーパトロール

- ・会員は、自主的に有害情報やネットいじめ等の監視行動を可能な限り実施する。

② 特別監視員によるサイバーパトロール

- ・兵庫県情報セキュリティサポーター（特別監視員）は、専門的な視点から定期的に有害情報やネットいじめ等の監視行動を実施する。
- ・特別監視員が小中学校に出向いて、有害情報やネットいじめ等の研修会講師を担う。

※書き込み等が発見された場合は、加東市教育委員会学校教育課及び兵庫教育大学社会連携センターが中心に、関係機関と連携しながら迅速な対応を行い、問題解決にあたる。

(2) 啓発活動

- ① 学校通信や教育委員会等の広報紙を活用して、保護者や地域社会が地域の子どもへの関心を高め、有害情報への接触を制限するなどして、インターネット上のトラブル、特に誹謗中傷・いじめ等の書き込みを防ぐ取組を強化する。

- ② 「『加東市ネット見守り隊』のぼり」を待ち合わせ場所や関係機関等を立て、インターネットに関係した被害の未然防止及びネット監視活動のPRとする。

- ③ 各校PTA等が情報モラル教育を促進する。

- ・インターネット等（親子）学習会

申込み・問い合わせ先：公益財団法人 兵庫県青少年本部

TEL：078-891-7410

- ・加東市ネット見守り隊 研修事業（消費者教育・啓発活性化事業）＜加東市立小中学校のみ＞

申込み・問い合わせ先：加東市教育委員会 学校教育課（青少年センター）TEL：0795-43-0542

6 誹謗中傷等いじめ解消に向けた対応

掲示板やブログ、プロフ等への誹謗中傷等の書き込みなど「インターネット上のいじめ」が児童生徒や保護者等から相談された場合、及びそれらがサイバーパトロールにより発見された場合は、次に示す手順で、書き込みの削除を迅速に行う。あわせて、保護者と協働して児童生徒への支援・指導を的確に行う。

- (1) 書き込み内容を確認し、掲示板等の管理者に削除依頼を行う。
- ① 書き込みのあったURLを控える。
 - ② 書き込みのあった内容を印刷するとともに、それを保存する。
 - ③ パソコンでは見ることができない掲示板等も多く、その場合は、携帯電話からアクセスを行う。その内容が印刷困難な場合は、デジタルカメラ等で撮影して、内容を保存する。
 - ④ 掲示板等の管理者に削除依頼を行う。
 - ・管理者に削除依頼を行う（個人の所属・氏名は記入しない）。
 - ↓
 - ↓ <削除されないとき>
 - ↓
 - ・プロバイダに削除依頼を行う。
- (2) 児童生徒への支援・指導を行う。
- ① 書き込まれた児童生徒への支援を行う。
 - ・いじめられた児童生徒の保護を最優先にしながら、傾聴的態度で、かつ、心の内面を多面的・総合的に理解する教育相談を行う。
 - ② 書き込んだ児童生徒を特定する。
 - ・書き込んだ内容等から、その情報を知っている子どもを推測する。あわせて、書き込みがあった背景も含め、トラブルの全体的な実態把握に努める。
 - 特に、いじめの場合は、被害者・加害者・聴衆・傍観者の4層構造に配慮する。
 - ③ 書き込んだ児童生徒には、「いじめは絶対に許されない」との毅然とした対応を心がける。
 - ④ 書き込まれた児童生徒の保護者と連携する。
 - ・家庭訪問を中心に、その日のうちに保護者と話し合いの機会をもつ。
 - ・心のケアを最優先しながら、状況と指導過程について説明する。
 - ・これからの対応について話し合う。
- (3) ネットいじめ・誹謗中傷等で困ったとき、次のようなところに相談することが可能であることを周知する。
- ① 加東市教育委員会 学校教育課（青少年センター） 「青少年の相談」
月曜日～金曜日の 8:30～17:15 に電話又はメールによる相談に応じている。
TEL : 0795-43-0542 E-mail: seishonen-ed@city.kato.lg.jp
 - ② 兵庫教育大学 「学校教育相談室」
予約制、月曜日～金曜日の 9:00～17:00 に電話又はメールで事前に申込み、面談による相談を行っている。
場所：兵庫教育大学 教育・言語・社会棟 5階 512号室（加東キャンパス嬉野台地区）
TEL : 0795-44-1100 E-mail: pro-sodan@hyogo-u.ac.jp
 - ③ 兵庫県警察本部サイバー犯罪対策課 TEL : 078-341-7441（代）
インターネットを安全・安心に使用するために、インターネット上のトラブル事例やその対処

方法、情報セキュリティービデオの貸し出し等サイバー犯罪に関する広報啓発活動を行っている。
また、インターネット上の誹謗中傷に関する相談にも応じてくれる。

- ④ インターネットの安全・安心相談（警察庁） <http://www.npa.go.jp/cybersafety/>
インターネットに悪口や個人情報が掲載された場合など、インターネット上で起こるトラブルの解決を支援している。
- ⑤ 迷惑メール相談センター <http://www.dekyo.or.jp/soudan/ihan/>
迷惑メールで困っている人からの相談を受け付け、その対策などのアドバイスを行うとともに、迷惑メールを送信させない・受信しない環境づくりに対する情報提供を行っている。
迷惑メール（チェーンメール等）受信してお困りの方からの電話相談も用意されている。（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く） TEL：03-5974-0068
- ⑥ ひょうごっ子「ネットいじめ情報」相談窓口 <http://hyogokko.npos.biz>
パソコンや携帯電話をつかったインターネット上の誹謗中傷や嫌がらせなどへの対処方法についての相談を行っている。（電話相談 月～土 14：00～19：00（日・祝日と12月28日～1月3日は休み） TEL：06-4868-3395

7 附則

この実施要項は、平成22年7月16日から施行する。

一部改訂

平成22年9月24日に一部を改訂し、同日から施行する。

平成26年3月4日に一部を改訂し、同日から施行する。

平成26年6月27日に一部を改訂し、同年4月1日から施行する。

平成27年4月1日に一部を改訂し、同日から施行する。

平成27年11月2日に一部を改訂し、同日から施行する。

平成29年度「シリーズ研修（特別支援教育）」講師等計画一覧
教職員対象

研修	形態	内 容	講 師	実施日時・場所
I-① 参加者 47名	講義	【発達相談に来る子どもたちから学ぶこと】 発達相談の事例をとおして、子どもの発達の見方、気づき、支援のあり方について堅守を深め、指導力の向上を図る。	兵庫教育大学教授 高野美由紀 (医学博士)	7月18日(火) 15:00～ 201 会議室
I-② 参加者 87名	講義	【エピソードに学ぶ】 エピソード事例を基に、支援の目的は「子どもの特性を理解し、その子が豊かな人生を送れるように支援すること」であるということ伝える。	いなみ野特別支援学校教諭 市位 葉子	8月28日(月) 17:30～ 201 会議室
I-③ 参加者 54名	講義	【すべての子どもに等しく学びを】 「困り感に寄り添う支援」「学び合い」などをキーワードに、すべての子どもにわかる・できる授業づくり・学級づくりについての講演。	岡山大学教授 佐藤 暁(さとる)	8月8日(火) 13:00～ 301・302 会議室
I-④ 参加者 25名	講義	【夏季巡回相談を終えて】 夏季巡回相談を終えて、特別な支援が必要な子への個別の対応、クラス全体への対応、保護者支援、園内の支援体制をどう確立するか。等についての講義。	北はりま特別支援学校教諭 大牧愛由美	8月24日(木) 14:00～ 302 会議室
I-⑤ 参加者 27名	講義 ・ 分散会	【気になる子へのかかわり方】 加東市でのスクールアシスタントの経験から、現場の実態を踏まえた講和・それを受けての分散会を実施し、悩みや課題について情報交換し、介助員やスクールアシスタント等の指導力の向上を図る。	兵庫教育大学院生	9月1日(金) 13:30～ 201 会議室
I-⑥ 参加者 94名	講義	【気づきから始まる気になる子の支援～幼児期における合理的配慮とは～】 子どもの気になる行動には訳があり、同じに見える行動も、特性・発達によって理由は様々であることを理解し、保育の中で、基本環境整備や合理的配慮を行う。保育する者同士の連携が重要である。	池坊短期大学非常勤講師 高畑 芳美	10月23日(月) 17:30～ 201 会議室

保護者一般対象

研修	形態	内 容	講 師	実施日時・場所
I-⑦ 参加者 72名	市民講座	<p>【発達障害の息子3人の育児から、それぞれに学んだこと】</p> <p>発達障害の3人の息子さんの成長する姿を通して、「支援とは失敗させないことではない。本人の向かうべき課題を奪ってはいけない。子どもが変わろうとする力を信じ、待ち、見守り、支えていくことが大切」ということを伝えられた。</p>	<p>社会福祉士 精神保健福祉士 笹森理絵</p>	<p>11月12日（日） 13:30～</p> <p>社福祉センター レク室</p>
I-⑧ 参加者 27名	講義	<p>【冬季巡回相談を終えて】</p> <p>冬季巡回相談を終えて、特別な支援が必要な子への個別の対応、クラス全体への対応、保護者支援、園内の支援体制をどう確立するか。等についての講義。</p>	<p>北はりま特別支援 学校教諭 大牧愛由美</p>	<p>2月27日（火） 14:00～</p> <p>302 会議室</p>

平成29年度事業実施状況

	給食指導訪問	お祝い給食	給食センター見学・試食会及び事業等	主要会議
4月	給食開始			担当者会 物資部会
5月	小学校2年	「入学・進級お祝い給食」 (全小・中・幼)	滝野南小1年親子見学・試食会(49名) 社小1年親子試食会・講話 鴨川小保護者試食会 福田小1年親子見学・試食会(35名)	担当者会 物資部会
6月	小学校1年		東条西小1年親子見学・試食会(19名) 6/7「かとう和食給食の日」の実施 園田学園女子大学4年「臨地実習」(1名) 米田小、三草小、鴨川小各1年見学・給食(35名)	担当者会
7月	小学校3年		夏休み親子見学・試食会 7/27(83名)、7/31(80名) 夏休み親子料理教室 8/1 東条(25名)、8/2 滝野(36名) 8/4 社(54名)	担当者会 運営委員会
8月	(夏休み)			物資部会
9月	全中学校		滝野東小1年親子試食会・講話	担当者会 物資部会
10月	小学校4年		滝野中2年「トライやる・ウィーク」(2名) 三草小親子試食会	担当者会 物資部会
11月	小学校5年		11/16「かとう和食給食の日」の実施	担当者会 物資部会
12月	(冬休み)		社高校3年「学校給食研究事業」(4名)	担当者会 物資部会
1月	小学校6年			担当者会 物資部会
2月	小学校1年		社高校2年「インターンシップ」(4名) 2/6「かとう和食給食の日」の実施 東条東小3年「豆腐作り」	担当者会 物資部会
3月	給食終了 (春休み)	「卒園・卒業お祝い給食」 (全小6年・全中3年・全幼)		担当者会 運営委員会 物資部会

☆かとう夢プラン 楽しみのある学校給食特別メニューの実施

平成29年度 給食指導訪問

学 年	指 導 内 容	媒 体
1 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給食について（給食の準備と後片付け、給食のマナー）1回目 ・ 牛乳について 	<ul style="list-style-type: none"> ・ パネル ・ 紙芝居（2回目）
2 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食べ物の働きについて（赤、黄、緑の食品） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ パネル
3 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝ごはんの大切さについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・ パネル ・ 朝食のワークシート
4 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ おやつについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・ おやつの事前アンケート ・ パネル
5 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 赤、黄、緑の食品のグループ分けについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・ パネル
6 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の健康を自分で守るための食習慣について ・ 中学校の給食について 	<ul style="list-style-type: none"> ・ プリント「食生活を見直してみよう」 ・ パネル

※全体で約25分程度の指導です。

【実施月】	【献立内容】（*夢プランメニュー）
4、5月	加東市産のいちご
6月	加東市産の旬の野菜を味わおう *加東市産野菜カレー(玉葱、ズッキーニ、県産の人参) ・ごまじゃこサラダ(県産のしらす干し、胡瓜)
7月	地元の夏野菜を味わおう *加東市産夏野菜入り味噌汁(なす、玉葱、県産の青葱) *じゃこピーマン(加東市産のピーマン、県産のしらす干し)
9月	地産地消メニュー ・具だくさんコンソメスープ(加東市産の玉葱) ・鶏肉のゆず香り揚げ(県産のゆず果汁) ・切干し大根の焼きそば風(加東市産のピーマン) *かとうのももゼリー(桃(白鳳)) パッケージのイラストを募集
10月	地産地消メニュー ・県産のコッペパン(県産の小麦粉(ふくほのか)) ・ポトフ(加東市産の冬瓜) *滝野なすのミートグラタン(なす) ・カラフルマリネ(県産のれんこん)
11月	地産地消メニュー ・煮込みうどん(県産の小麦粉(ふくほのか)) *加東市産コロッケ(じゃがいも(男爵)、玉葱) ・じゃこピーマン(加東市産のピーマン、県産のしらす干し)
12月	地元食材を使った冬至メニュー(運盛りの「ん」が付く食材を意識して) ・冬野菜入り味噌汁(加東市産の大根、青葱、県産の白菜、 <u>にんじん</u>) *かぼちゃとれんこんの甘辛和え(<u>なんきん</u> 、県産の <u>れんこん</u>) ・ツナと胡瓜の酢の物(県産のゆず果汁)
1月	地元の食材をおいしく食べよう ・きのこスパゲティ(県産のブラウンマッシュルーム) ・鶏ささみフライのソースかけ(県産の鶏ささみ肉) *加東市産の桃ジャム(桃(白鳳)) 地元のおいしい食材を知ろう(全国学校給食週間 1/24) ・かやくうどん(県産の小麦粉(ふくほのか)) *黒豆とかえりのごままぶし(加東市産の黒豆) ・和風サラダ(加東市産の人参、県産のキャベツ) ・味付けのり(県産ののり)
2月	バレンタインデーにちなんで *ビーフカレー (♥型の人参入り)
3月	ひなまつり献立を華やかに *ちらし寿司 ・鱈の照り焼き ・ひなあられ

平成29年度夏休み親子給食センター見学・試食会

1. 趣 旨 親子で給食センターを見学し給食を試食することで、給食を身近に感じ、食への関心を高める。
2. 主 催 加東市学校給食センター
3. 開 催 日 平成29年7月27日（木）
7月31日（月）
※会場の都合により2日間に分けて行います。
4. 開催場所 加東市学校給食センター
加東市山国2007-125
5. 開催日程・内容

9:30～	受付
10:00～10:10	開会・挨拶
10:15～11:00	調理場内見学
11:10～11:40	兵庫県学校給食・食育支援センター内見学
11:50～12:50	給食の試食・片付け
13:00～	閉会
6. 参加対象者 加東市内の幼稚園児・小学生とその保護者等
7. 参加費用・持ち物
 - ①給食を試食しますので箸、水筒、材料費1人300円を当日持参してください。
 - ②調理場に入りますので、エプロン、髪覆い(三角巾)、上履きを持参してください。
 - ③兵庫県学校給食・食育支援センター見学は、徒歩で移動します。帽子、日傘が必要な方は持参してください。また、冷蔵庫や冷凍庫の見学をしますので、長袖等の上着が必要な方は持参してください。
8. 参加申し込み
 - ①申し込み先 : 各幼稚園及び各小学校
 - ②申し込み期限 : 6月23日（金）
9. 連絡先 加東市学校給食センター TEL 0795-42-0074
FAX 0795-42-5591

平成29年度夏休み親子料理教室

1. 趣旨 小学校の親子を対象に、調理実習を通して親子で料理を作る楽しさを体験し、栄養面及び衛生面に配慮した正しい食生活への理解と認識を深める。
2. 主催 加東市学校給食センター
3. 開催日及び開催場所
 - ① 8月1日（火）加東市東条公民館 調理室 （約25名）
加東市岡本 1572-4
TEL 0795 - 46 - 0553
 - ② 8月2日（水）加東市滝野公民館 調理室 （約40名）
加東市下滝野 1369-2
TEL 0795 - 48 - 3073
 - ③ 8月4日（金）兵庫県学校給食・食育支援センター 調理室（約50名）
加東市山国 2007
TEL 0795 - 42 - 3791

※開催日及び開催場所については選択制にしています。

4. 開催日程・内容
 - 9：00 ～ 受付
 - 9：30 ～ 開会
 - 9：40 ～ 調理実習『しっかり食べて暑さに負けない体を作ろう』
 - 12：00 ～ 試食
 - 12：40 ～ 後片付け ・ 閉会

5. 参加対象者
全小学校の全学年（1～6年生）とその保護者等

6. 参加費用・持ち物
 - ①材料費として1人300円を当日持参してください。
 - ②エプロン、髪覆い（三角巾）、上履き、箸、水筒を持参してください。
※ただし滝野公民館については、上履きは必要ありません。

7. 指導者 加東市学校給食センター 栄養教諭及び調理員

8. 参加申し込み
 - ①申し込み先 : 各小学校
 - ②申し込み期限 : 6月23日（金）

9. 連絡先 加東市学校給食センター TEL 0795 - 42 - 0074

◆社会体育関係

□体育協会

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
加入団体数	16	16	16	17	17	17
加入会員数	3,350	3,137	3,129	2,937	2,937	2,750

□スポーツ少年団加入団体数

種別	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
野球	7	7	7	7	7	7
サッカー	2	2	2	2	2	2
バレー	7	7	6	6	6	5
バスケット	3	3	3	3	3	3
ダンス	1	1	1	1	1	1
柔道	2	2	2	2	2	2
剣道	2	2	2	2	2	2
空手	2	2	2	2	2	2
合計	26	26	25	25	25	24

□スポーツ推進委員

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
委員数	31	29	23	21	20	20

□体育施設利用者数(延べ人数)

施設名	面数等	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
社第一体育館	バレー2面	38,804	25,760	23,279	22,114	27,155	40,782
滝野総合公園体育館(スカイピア)	バレー2面	74,052	52,638	52,014	62,181	44,903	66,717
滝野体育センター	バレー2面	27,569	27,212	28,047	29,380	32,504	29,107
東条第一体育館	バレー2面	16,754	19,323	22,238	15,976	17,613	15,952
東条第二体育館	バレー2面	13,227	15,313	16,015	11,240	12,612	13,954
社武道館	136畳	21,418	20,893	18,095	22,993	22,459	15,815
計		191,824	161,139	159,688	163,884	157,246	182,327
社第一グラウンド	10,600㎡	8,252	5,012	4,316	4,138	5,839	4,069
社第二グラウンド	14,980㎡	14,291	13,948	22,241	18,865	17,270	11,683
社第三グラウンド(多目的)	7,200㎡	13,574	17,834	18,988	18,444	18,180	19,895
社第三グラウンド(ソフトボール場)	5,000㎡	9,985	9,206	14,561	12,422	16,528	12,872
滝野総合公園多目的グラウンド	21,000㎡	28,832	32,667	30,280	23,365	23,776	25,837
グリーンヒルスタジアム	11,533㎡	10,375	17,275	29,941	21,725	15,196	16,835
東条グラウンド	17,596㎡	11,090	12,797	11,774	11,244	9,897	9,521
東条野球場	9,022㎡	7,456	9,538	5,119	4,275	2,700	2,617
東条健康の森グラウンド	7,681㎡	3,001	2,345	1,818	2,171	1,621	2,057
夕日ヶ丘公園パークゴルフ場	14,160㎡			6,520	6,530	4,805	3,710
計	118,772㎡	106,856	120,622	145,558	123,179	115,812	109,096
社第一 テニスコート	2面	7,666	7,085	8,034	11,075	7,454	28,489
社第二 テニスコート	4面	17,970	15,822	14,971	17,147	14,422	68,871
滝野総合公園グラウンド(テニスコート)	4面	21,600	15,776	16,504	16,693	16,741	18,589
計		47,236	38,683	39,509	44,915	38,617	115,949
滝野総合公園体育館(スカイピア)	トレーニングルーム	15,161	14,897	15,578	16,225	15,476	14,724
合計		361,077	335,341	360,333	348,203	327,151	422,096

◆社会体育事業参加者数

項目	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
地区親善ソフトボール大会	参加チーム数	30	32	31	35	35	29
地区親善バレーボール大会	参加チーム数	38	38	37	32	37	34
三世代ゲートボール大会	参加チーム数	15	16	雨天中止	雨天中止	10	8
ペタンク大会	参加チーム数	12	12	13	14	10	12
グラウンドゴルフ大会	参加チーム数	51	雨天中止 60	48	53	53	52
パークゴルフ大会	参加チーム数			24	18	24	25
卓球大会	参加者数	194	190	177	129	72	117
伝の助マラソン大会	参加者数	1,923	1,984	1,803	1,985	1,384	1,602
市民ハイキング	参加者数	203	65	84	63	162	64
体力測定	参加者数			225	174	126	82
合計		2,466	2,397	2,442	2,503	1,913	2,025

◆社会教育関係

□社会教育関係団体会員数

団体名	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
文化連盟	団体数	53	54	51	43	41	38
	会員数	997	1,031	952	853	861	771
美術協会	会員数	29	34	33	33	30	29
子ども会育成連絡協議会	会員数	2,711	2,657	2,467	2,546	2,564	2,582
連合PTA	会員数	2,765	2,759	2,707	2,680	2,629	2,591
婦人会	会員数	403	400	403	402	403	403
ボーイスカウト	2団体・会員数	47	45	62	72	69	103
計		6,952	6,926	6,624	6,586	6,556	6,479

□社会教育施設利用者数(述べ人数)

施設名	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
社公民館	25,861	23,546	22,296	27,760	33,588	30,965
滝野公民館	19,375	17,416	23,140	20,339	20,933	19,029
東条公民館	16,222	16,671	17,506	18,985	19,348	24,211
計	61,458	57,633	62,942	67,084	73,869	74,205
社コミュニティーセンター	753	559	440	398	393	0
さんあいセンター	15,431	17,294	20,387	23,508	25,311	45,520
コミュニティーセンター東条会館	7,194	6,085	6,510	6,758	5,464	5,646
計	23,378	23,938	27,337	30,664	31,168	51,166
やしろ国際学習塾	29,239	28,564	32,660	39,567	37,429	37,683
滝野文化会館	27,982	25,508	26,662	27,297	29,990	34,393
東条文化会館	17,933	19,680	23,667	22,814	17,131	20,195
計	75,154	73,752	82,989	89,678	84,550	92,271
明治館	4,778	4,646	5,338	4,711	4,773	3,596
加古川流域滝野歴史民俗資料館	1,125	1,025	418	601	786	582
三草藩武家屋敷	458	497	340	467	414	312

□市主催事業参加者数

事業名	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
加東市ノーベル大賞	出展者数	122	108	119	107	94	71
成人式	出席者数	349	349	356	366	338	327
公募美術展	出展者数	409	377	428	454	463	451
ギャラリー活用事業	入場者数	591	1,308	787	425	332	308
高齢者大学	入学者数	513	463	441	424	392	388
小学生チャレンジスクール	参加者数	942	769	1,046	863	920	652
地域子ども教室	延べ参加者数	7,095	6,074	5,828	6,685	7,736	8,578
伝の助かるた大会	参加者数	215	208	169	176	228	240
文学講座	参加者数	60	58	58	56	37	58
成人学習事業	参加者数			127	159	216	222
計		10,296	9,714	9,359	9,556	10,540	11,295

□団体支援事業参加者数

事業名	主催	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
子ども絵画公募展	文化連盟	505	379	345	327	388	356
ドッジボール大会	子連協	19チーム	17チーム	16チーム	14チーム	19チーム	15チーム
サッカー大会	子連協	21チーム	21チーム	19チーム	16チーム	16チーム	15チーム
釣り大会	子連協	40	36				
夏休み体験教室	子連協			41	50	42	44
新春書初め大会	子連協	250	204	201	208	188	205
オセロ大会	子連協					45	66
研究発表大会	連合PTA	247	197	287	245	249	307

□文化連盟事業

東文連事業	コーラス大会・みんよう大会・大茶会・芸能祭・選抜美術展・「子午線」発刊 ほか
自主事業	文化連盟祭・プラスフェスタ・みんようフェス・合唱祭・いけばな展・謡曲大会・囲碁大会・芸能発表会・美術作品展 ほか

図書館の状況

貸出冊数

(単位：冊)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
中央図書館	302,875	279,162	265,052	256,661	246,305	239,443
図書・情報センター	69,422	64,569	61,913	54,003	49,696	40,772
滝野図書館	286,134	267,497	252,661	241,265	219,772	216,642
東条図書館	75,362	76,622	74,605	69,967	65,580	57,045
ウェブ	5,756	7,639	8,543	10,282	10,976	10,817
計	739,549	695,489	662,774	632,178	592,329	564,719

利用者数

(単位：人)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
中央図書館	66,542	61,689	58,708	56,150	55,085	51,419
図書・情報センター	13,295	12,076	11,549	10,697	9,425	8,025
滝野図書館	54,040	51,524	47,832	45,697	42,318	41,266
東条図書館	15,980	15,478	15,185	13,948	13,330	11,306
ウェブ	5,756	7,639	8,543	10,282	10,976	10,817
計	155,613	148,406	141,817	136,774	131,134	122,833

予約件数

(単位：冊)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
中央図書館	10,602	10,175	8,988	8,448	8,044	8,089
図書・情報センター	2,882	2,157	2,249	1,948	2,269	2,167
滝野図書館	8,966	8,577	7,680	8,121	7,600	7,002
東条図書館	3,415	3,310	3,152	3,359	2,888	2,640
ウェブ	21,939	22,848	21,749	23,471	24,251	25,106
計	47,804	47,067	43,818	45,347	45,052	45,004

蔵書数

(単位：冊)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
中央図書館	166,232	170,508	174,087	175,866	178,483	182,588
図書・情報センター	48,416	48,868	49,256	49,638	50,287	49,698
滝野図書館	148,202	152,740	157,986	162,483	168,711	171,405
東条図書館	48,262	48,421	48,086	47,520	48,718	49,256
計	411,112	420,537	429,415	435,507	446,199	452,947

貸出冊数・利用者数・予約件数・・・図書館の利用状況
蔵書数・・・月次統計表の受払統計（総合計－ＡＶ－雑誌－児童書（紙芝居））

人権教育・啓発の推進

1. 人権感覚を培う人権教育・啓発

①人権啓発講演会(H24までは「子どもの人権と健全育成を考える講演会」として開催)

実施年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
参加人数(人)	450	450	296	272	485	277

*H24・H25は市民人権講座との共同開催。H26単独開催。H28市制10周年

②人権と福祉のまちづくりフェスティバル(H25からは「小中学校人権教育講演会」へ移行。)

実施年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
参加人数(人)	233					

*H21までは社会福祉協議会との共同開催。

③小中学校人権教育講演会(H25からの新規事業。)

実施年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
参加人数(人)		2,061	1,875	2,010	1,857	1,821

*小学生5・6年生を対象に3会場、中学生全生徒を対象に3校で実施。

④人権を考える市民のつどい

実施年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
参加人数(人)	427	428	434	427	348	318

⑤人権教育スキルアップ講座

実施年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
参加人数(人)	115	118	85	86	68	88

*H26・H27は1日集中講座として開催。

⑥啓発番組「夢きらめいて」の制作(H24までは「この町が好き、じんけんボン」)

実施年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
放送回数	毎月1回	毎月1回	毎月1回	毎月1回	毎月1回	毎月1回

⑦人権啓発ポスター・標語の募集

実施年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
人権ポスター募集	○	○	○	○	○	○
人権標語募集	○	○	○	○	○	○

*小学校(9校)・中学校(3校)から募集。Bioにて作品展を開催。

⑧人権共同作品

実施年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
人権共同作品募集	○	○	○	○	○	○

*市内15保育園から募集。Bioにて作品展を開催。

⑨広域隣保活動事業

実施年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
延べ参加人数(人)		221	266	345	362	352

*H25から広域隣保活動事業として、人権セミナー等を開催。

2. 人権教育の学習資料の提供

①人権啓発情報誌「夢きらめいて」の発行

実施年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
年間発行回数(全戸配布)	2回	2回	2回	2回	2回	2回

*11月と3月の年間2回発行

②人権啓発用ビデオ「こころの窓」

実施年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
ビデオタイトル	ヒロシマ原爆被爆～真実を語り継ぐ～	DVって何？	「ふるさと」を学ぼう	多文化共生が実現した社会の将来像	障害者理解一歩進めよう	

③人権ビデオライブラリ

実施年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
新規購入事業	○	○	○	○	○	○

3. 各種団体人権学習への支援

①加東市民人権講座

実施年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
延べ参加人数(人)	703	688	620	638	742	613

②加東市人権・同和教育研究協議会委託事業

(報告分)

実施年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
地区学習実施地区数	92	86	88	94	95	92
地区学習参加人数(人)	3,501	3,446	3,596	4,226	3,240	2,890

③加東市人権・同和教育研究協議会委託事業(団体別研修)

実施年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
<老人クラブ(3地域)> 参加人数(人)	295	277	285	325	291	269
<連合婦人会> 参加人数(人)	33	65	/	124	83	/
<消防団> 参加人数(人)	77	89	60	71	72	73
<民生・児童委員> 参加人数(人)	/	/	88	未実施	77	91
<市職員> 参加人数(人)	379	403	330	359	874	457
<人権出前講座> 講座数・参加人数(人)	/	/	/	633	29	62

④加東市企業人権教育協議会の運営

実施年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
参加人数(人)	382	338	296	267	250	251

4. 相談支援体制の充実

①人権擁護委員活動

実施年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 法務局相談 総合相談 特設人権相談 隣保館相談 子どもの人権SOSミニレター その他相談 	<ul style="list-style-type: none"> 法務局相談 総合相談 特設人権相談 隣保館相談 子どもの人権SOSミニレター その他相談 	<ul style="list-style-type: none"> 法務局相談 総合相談 特設人権相談 隣保館相談 子どもの人権SOSミニレター その他相談 	<ul style="list-style-type: none"> 法務局相談 総合相談 特設人権相談 隣保館相談 子どもの人権SOSミニレター その他相談 	<ul style="list-style-type: none"> 法務局相談 総合相談 特設人権相談 隣保館相談 子どもの人権SOSミニレター その他相談 	<ul style="list-style-type: none"> 法務局相談 総合相談 特設人権相談 隣保館相談 子どもの人権SOSミニレター その他相談

②隣保館運営事業(H25から広域隣保活動事業として取り組む。)

実施年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 人権擁護委員相談事業 総合相談事業 その他相談事業 	<ul style="list-style-type: none"> 人権擁護委員相談事業 総合相談事業 その他相談事業 人権教育、啓発事業 地域交流事業 地域福祉事業 広報等 	<ul style="list-style-type: none"> 人権擁護委員相談事業 総合相談事業 その他相談事業 人権教育、啓発事業 地域交流事業 地域福祉事業 広報等 	<ul style="list-style-type: none"> 人権擁護委員相談事業 総合相談事業 その他相談事業 人権教育、啓発事業 地域交流事業 地域福祉事業 広報等 	<ul style="list-style-type: none"> 人権擁護委員相談事業 総合相談事業 その他相談事業 人権教育、啓発事業 地域交流事業 地域福祉事業 広報等 	<ul style="list-style-type: none"> 人権擁護委員相談事業 総合相談事業 その他相談事業 人権教育、啓発事業 地域交流事業 地域福祉事業 広報等

男女共同参画事業の推進

1. 人権尊重と男女共同参画の意識づくり

①男女共同参画セミナー

実施年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
述べ参加人数(人)	70	15	387	349	448	394

②DVやセクハラ防止等の研修会

実施年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
述べ参加人数(人)	/	/	1,040	105	/	/

第2期 加東市教育振興基本計画 実施計画

<平成28～32年度>

平成29年度

加東市教育委員会

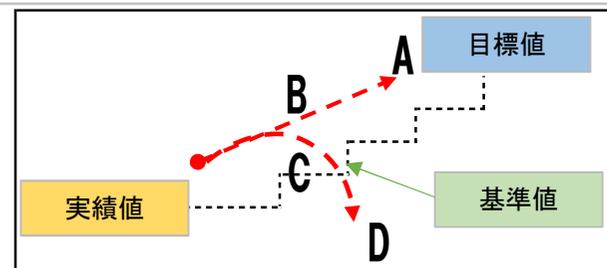
目次

【実施計画】		ページ
1	計画の目的	1
2	計画の期間	1
3	計画の対象	1
4	計画の構成	1
5	成果指標	1
6	計画の進行管理	1
7	評価	1
8	検証や評価による見直し	2
9	施策別計画	3
基本方針		
1 小中一貫教育をとおして自立した子どもを育む学校教育の充実		
基本的方向		
	(1)社会的自立に向けたキャリア形成の支援	3
	(2)グローバル化に対応した教育の推進	4
	(3)地域人材や地域資産等を活用した「ふるさと学習」の推進	6
	(4)小中一貫校開校に向けた適切な準備	7
2 「生きる力」としての「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む教育の推進		
基本的方向		
	(1)確かな学力・主体的に学ぶ態度の育成	9
	(2)自尊感情や思いやりの心の醸成	12
	(3)心身の健康増進・個性の伸長	14
3 子どもたちの学びや育ちを支える仕組みの確立		
基本的方向		
	(1)学校の組織力及び教職員の資質能力の向上	17
	(2)安全・安心で信頼される学校づくり	19
	(3)子どもたちの健全な成長を見守り支える体制づくり	21
	(4)家庭の教育力の向上	22
4 生涯学習による、だれもが生きがいをもてる社会の形成		
基本的方向		
	(1)生涯を通じた学びの機会・場の提供	23
	(2)文化財保護の推進と活用	25
	(3)生涯スポーツの普及と振興	26
	(4)社会教育・体育関係施設の管理・運営	27
	(5)市立図書館の充実	28
5 人権教育・啓発の推進による、共生社会と人権文化の創造		
基本的方向		
	(1)豊かな人権感覚を培う人権教育・啓発	30
	(2)男女共同参画社会の実現のための意識・機会・環境・地域づくり	33

- 1 計画の目的 加東市教育委員会では、平成28年3月に第2期加東市教育振興基本計画(平成28年度～32年度)を策定し、本市の教育が目指す基本的な方向と目標を明らかにしました。本実施計画は、加東市教育振興基本計画の実現に向けた施策を、計画的・総合的に実施することをねらいとしています。
- 2 計画の期間 本実施計画の期間については、平成28年度から平成32年度までの5年間とし、毎年検証を行い、実施の見直しを図り進めていきます。
- 3 計画の対象 人間形成の基礎が培われる乳幼児期から社会人としての基礎的な資質や能力を培う青少年期、複数の役割を持ち心身ともに充実する成年期、地域社会の重要な担い手となる老年期までの生涯学習全般の事業を対象にしています。
- 4 計画の構成 本実施計画は、加東市教育振興基本計画の取組みや、市教育大綱の重点的に取り組む教育施策や市の総合計画の施策との整合性を図りながら、市教育振興基本計画の基本理念を実現するため、5つの基本方針により構成し必要な事業を整理しています。
- 5 成果指標 施策の計画を効果的に進めるためには、施策の達成状況である成果を客観的に検証し、そこで明らかになった結果をもとに、計画の改善を図ることが必要です。そのため、施策の成果を評価する具体的な指標を基本方針ごとに「成果指標」として示しています。また、事業においては、事業の進捗状況を記録するために実績値を示しています。
- 6 計画の進行管理 本実施計画の毎年度の取り組みの進捗状況や実績などについて点検や評価を行い、検証しながら推進していきます。
- 7 評価 成果指標の達成度や取組内容について、下記の基本評価を基に評価します。

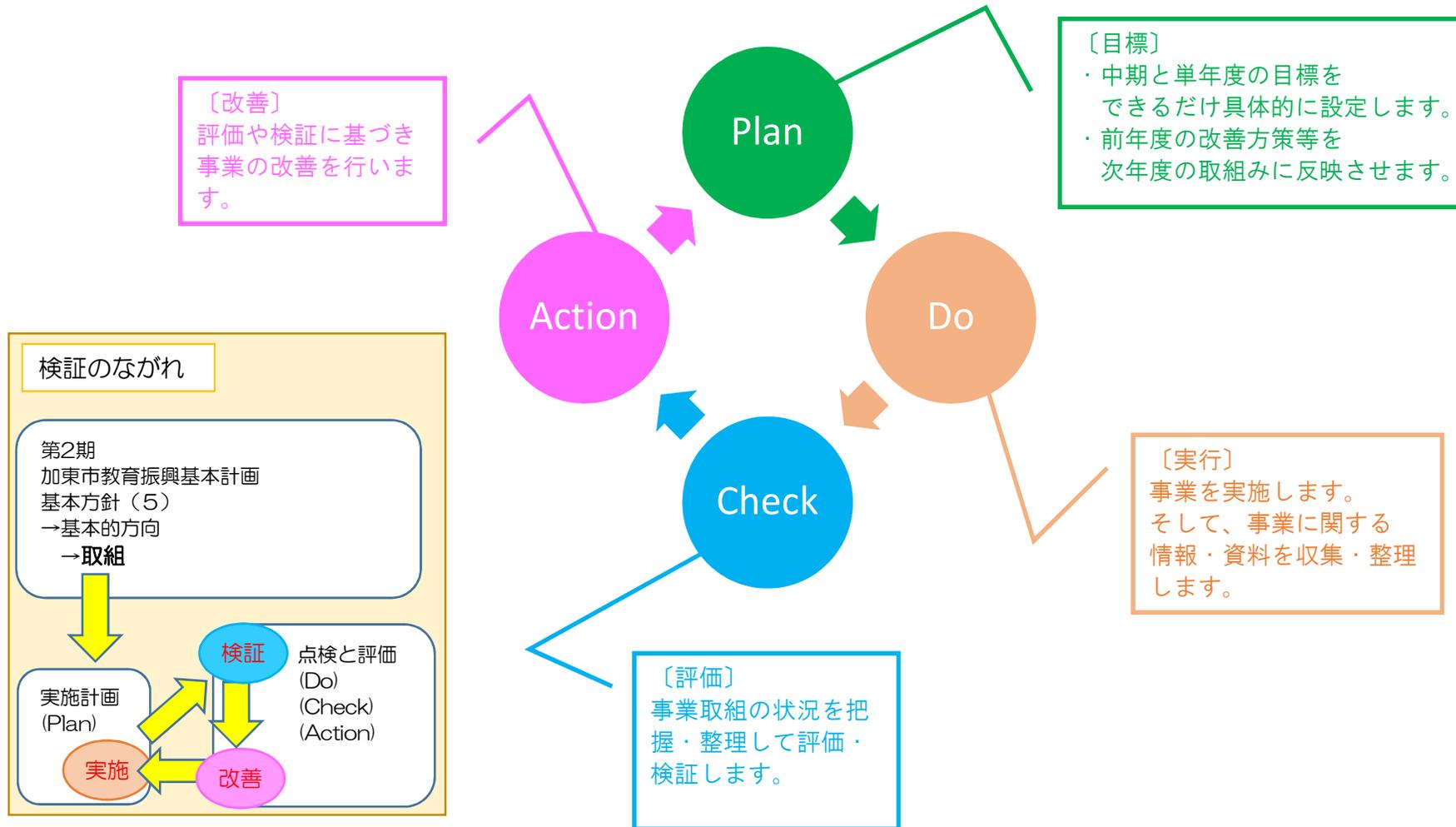
基本評価

評価	評価の基準
A	目標以上を達成している
B	目標に向けて順調に推移している
C	順調に推移していない
D	見直しが必要



8 検証や評価による見直し

目標に向かって下記のように検証し改善していきます。



9.施策別計画
【実施計画】H29

基本方針1 小中一貫教育をととして自立した子どもを育む学校教育の充実

基本的方向(1)

社会的自立に向けたキャリア形成の支援									
目標設定 Plan	成果指標		単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
	将来の夢や目標を実現するために努力している児童生徒の割合(小・中)	目標値	(%)	56.3	57	59			65
		実績値	(%)		57.2	57.8			
		評価※年度ごとに記載していく			B	B			

凡例 (→表示) 単年事業 ⇨ 複数年事業 ⇨⇨

①体験活動をととして職業観、勤労観を培う進路指導の充実

取組		所管課 学校教育課				
生徒・保護者に対し、積極的な情報提供等各学校におけるガイダンス(指導・助言)機能を充実します。		2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
1	系統的な進路学習の実施 職業調べや就業体験等による職業観、勤労観を培う進路学習	進路学習	進路学習	⇨		
2	個に応じた進路指導の実施 各発達段階に即した進路指導	進路指導	進路指導	⇨		

②家庭や地域と連携した組織的・系統的なキャリア教育の推進

取組		所管課 学校教育課							
9年間をととして、家庭や地域と連携した多様な体験活動等を取り入れたキャリア教育を推進します。		2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)			
1	地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」推進事業 地域に学ぶトライやる・ウィーク事業の実施	トライやる 実施	トライやる 実施	⇨					
2	小中学校「キャリアノート」の活用 キャリアノートを利用したキャリアプランニング能力の育成	キャリアノート 作成	キャリアノート 活用	⇨					
実績値		2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
	トライやる・ウィーク協力事業所数	129	135	135	136	129			

【実施計画】H29

基本方針1 小中一貫教育をとおして自立した子どもを育む学校教育の充実

基本的方向(2)

グローバル化に対応した教育の推進									
目標設定 Plan	成果指標	単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)	
	英検3級相当以上の英語力を有する中学校3年生の割合	中(%)	38.9	40	42			50	
		中(%)		39.9	43.9				
		評価※年度ごとに記載していく		B	B				

凡例 (→表示)	単年事業	複数年事業
----------	------	-------

①外国人留学生や姉妹都市の学校との交流等による国際理解教育の推進

所管課 学校教育課

取組	国際理解教育の推進により、外国人と意欲的にコミュニケーションをとろうとする態度や異文化理解の精神を育成します。	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
1	外国人留学生との交流 兵庫教育大学等の留学生との交流	交流	交流			
2	姉妹都市(オリンピア市)の学校との交流 姉妹都市(オリンピア市)の学校とビデオレター等による交流	交流	交流			

②英語教育の充実

所管課 学校教育課

取組	小中一貫した英語教育の充実に取り組みます。	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
1	外国語指導助手(ALT)を活用した授業の実施 ALTと日本人教員によるチーム・ティーチングの実施	ALTとのチームティーチング	ALTとのチームティーチング			
2	小学校での英語活動の実施 英語に慣れ親しむことを中心とした英語活動	英語活動	英語活動			
3	「かとう英語ライセンス制度」 市独自のレッスンブックを活用した授業や検定制度	レッスンブック活用 検定	レッスンブック活用 検定			
4	「加東わくわく英語村」事業 ALTと一緒に英語だけで交流活動	わくわく英語村実施	わくわく英語村実施			
5	実用英語検定(英検)の検定料助成事業 英検の検定料を中学生1人につき年1回、全額助成	検定料助成	検定料助成			

③ICT機器を活用したプレゼンテーション活動の充実		所管課	学校教育課			
取組	ICT機器を効果的に活用した授業をとおして、発達段階に応じた情報活用能力をバランスよく育成する取組を行います。					
		2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
1	I C T機器を活用した授業の充実 「情報活用の実践力」「情報の科学的理解」「情報社会に参画する態度」に関連させた学習活動	I C T活用授業	I C T活用授業	⇒		
2	情報モラル学習の実施 専門家による情報モラル学習	情報モラル学習	情報モラル学習	⇒		
3	I C T環境の整備・充実 学校のICT環境の一層の充実	機器活用	機器活用	⇒		
4	情報教育に関する教員研修の充実 ICT教育研究推進校を中心とした研修等による教員のICT活用能力向上	教員研修	教員研修	⇒		

【実施計画】H29

基本方針1 小中一貫教育をととして自立した子どもを育む学校教育の充実

基本的方向(3)

地域人材や地域資産等を活用した「ふるさと学習」の推進										
目標設定	成果指標		単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)	
Plan	ふるさと学習「かとう学」の副読本とカリキュラムの作成準備状況		目標値	%	なし	20	40			100
			実績値	%		20	40			
			評価※年度ごとに記載していく				B	B		

凡例 (→表示)	単年事業	複数年事業
----------	------	-------

①地域人材や地域資産を活用した、地域に学ぶ「ふるさと学習」の実施

所管課	学校教育課
-----	-------

取組		2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
	地域の人、もの、ことを教材化し、ふるさと学習「かとう学」としてカリキュラムに位置づけ、地域の課題を見つけ、解決しようとする態度や能力を育成する学習を実施します。					
1	「かとう学」副読本の作成 ふるさと学習の実施にむけた副読本作成	副読本作成	副読本作成			
2	ふるさと学習「かとう学」のカリキュラムづくり 地域人材や地域資産等を活用した郷土の歴史や文化等にふれるカリキュラム作成	カリキュラム作成	カリキュラム作成			
3	ゲストティーチャーの積極的活用 地域の人を教材として活用	人材活用	人材活用			

【実施計画】H29

基本方針1 小中一貫教育をととして自立した子どもを育む学校教育の充実

基本的方向(4) ①

小中一貫校開校に向けた適切な準備									
目標設定 Plan	成果指標		単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
	統合する小学校間や小中学校間で児童生徒の交流活動を実施した学級の割合	目標値	%	33	38	43			55
		実績値	%		40	44			
		評価※年度ごとに記載していく			B	B			

凡例 (→表示) 単年事業 ⇨ 複数年事業 ⇨⇨

①小中一貫校開校に向けた児童生徒の交流活動と教職員研修の計画的な実施

所管課 学校教育課

取組	平成33年度の小中一貫校の開校に向け、小学校児童(小小連携)や小・中学生(小中連携)の交流機会や小中一貫教育カリキュラムの作成を計画的に実施し、小中一貫校での教育活動を円滑にスタートさせます。								
					2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
1	小学校間の児童交流、小中学校間児童生徒交流の計画的な実施 計画的な小小間、小中間の交流活動				交流活動	交流活動	⇨		
2	計画的、継続的な教職員研修の実施 小中一貫教育に係る計画的な研修実施を通した小小間、小中間の教職員交流				合同研修	合同研修	⇨		
3	小中一貫教育カリキュラムの早期作成と試行 早期の小中一貫教育カリキュラム作成と試行期間の確保				カリキュラム 試行	カリキュラム 試行	⇨		
4	個々の教職員の特性(教科・免許等)を生かした小中一貫校への適切な人事配置 教職員の特性を配慮した人事配置						⇨ 検討		
実績値		2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
	教職員への小中合同研修回数	34	36	37	41	22			

【実施計画】H29

基本方針1

小中一貫教育をとおして自立した子どもを育む学校教育の充実

基本的方向(4)

②

小中一貫校開校にむけた適切な準備

目標設定 Plan	成果指標	単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
	小中一貫校開校にむけた協議状況	-	設定なし					東条 H33開校
		回数		開校準備委員会 3	開校準備委員会 3			
				B	B			
評価※年度ごとに記載していく								

②「小中一貫校開校準備委員会」の設置、運営

所管課

教育総務課・学校教育課

取組	「小中一貫校開校準備委員会」を立ち上げ、各課題について地域ごとに検討を進めます。				2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
1	「小中一貫校開校準備委員会」の設置、運営 東条地域 開校準備委員会による課題等への対応 専門委員会、部会による協議 社地域 開校準備委員会による課題等への対応 専門委員会、部会による協議				設置、運営 開校準備委員会 専門委員会 部会	運営 開校準備委員会 専門委員会 部会			
		H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
実績値	開校準備委員会の開催数 ・準備委員会 ・専門委員会 ・専門部会 教室等設計部会 通学路等安全対策部会				13 3 3 4 3	7 3 3 0 1			

【実施計画】H29

基本方針2 「生きる力」としての「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む教育の推進

基本的方向(1)

目標設定		成果指標	単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
Plan	家庭など学校での授業以外で平日に1時間以上学習する児童生徒の割合(小・中)	目標値	%	61.9	62	66			72
		実績値	%		65.6	69.5			
		評価※年度ごとに記載していく				B	B		

凡例 (→表示)	単年事業	⇨	複数年事業	⇨⇨
----------	------	---	-------	----

①効果的な授業形態の展開

取組		所管課			学校教育課				
取組		小学校での教科担任制や中学校での複数指導の充実、協同的な学習による主体的な学びや少人数学習、個別指導による基礎基本の習得、グループや学級全体による思考力・表現力等を高める学習等、発達段階に応じた効果的な授業形態を展開します。							
		2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)			
1	学力向上プロジェクト委員会 指導実践事例集の作成	委員会	委員会	⇨					
2	「学習タイム」による漢字・計算等の学力補充 10分間程度の短い時間に行う漢字や計算などを一定の要件のもとに行う授業	学習タイム	学習タイム	⇨					
3	学習チューターの配置 教員を志望する教育大学生や大学院生による学習支援ボランティアを配置	配置	配置	⇨					
4	少人数指導、同室複数指導 少人数学習、個別指導による基礎・基本の習得、グループや学級全体による思考力・表現力向上	指導	指導	⇨					
実績値		2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
学習チューター登録者数		52	63	63	52	40			

②家庭学習の習慣化

取組		所管課			学校教育課				
取組		長期休業中の学びの居場所づくりや学習方法を示した手引きの整理など、家庭学習の習慣化も含め、主体的に学ぶ子どもを育成します。							
		2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)			
1	「加東スタディライフ」事業 教員OBや教員を志望する大学生等を指導員として、自主学習室を夏季・冬季休業期間中に設ける	スタディライフ	スタディライフ	⇨					
2	「学習の手引き」の作成と活用 家庭学習の方法を示した手引きを整理し、家庭学習の習慣化を図る	学習の手引き	学習の手引き	⇨					
3	放課後における補充学習推進事業 教員免許保持者を指導員とした放課後学習の場を開設	放課後補充学習	放課後補充学習	⇨					
4	子どもの読書活動推進事業 実践研究推進校を指定し、子どもの読書活動の実践研究を推進	実践研究	実践研究	⇨					

実績値	2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
	加東スタディライフ授業参加生徒数(小中)	153	206	295	219	252		

③理数教育の充実		所管課	学校教育課					
取組	理数教育の充実・活性化に取り組みます。							
			2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)	
1	小学校高学年での兵庫型教科担任制の実施 小学校5・6年生での教科担任制	教科担任性	教科担任性	⇒				
2	観察や実験のための教材・設備の充実 専科教員による理数教育の充実、観察や実験等、理数授業の活性化	活性化	活性化	⇒				
3	スペシャリスト特別授業やゲストティーチャーを招へいした授業の実施 大学教員等の外部人材活用	人材活用	人材活用	⇒				
4	「数学・理科甲子園ジュニア」への参加促進 科学技術や理科・数学の知識を競う各種大会への参加	大会参加	大会参加	⇒				

④特別支援教育の充実		所管課	学校教育課					
取組	インクルーシブ教育システム構築を見据え、豊かな人間性を育む交流及び共同学習、保護者支援と啓発研修の充実に取り組みます							
			2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)	
1	インクルーシブ教育システムの構築 障がいのある子どもを含むすべての子どもに対して、個々の教育的ニーズにあった適切な合理的配慮を提供	教育支援	教育支援	⇒				
2	特別支援教育支援員の配置 スクールアシスタントや介助員の配置	介助員	介助員	⇒				
3	就学指導・教育相談の充実 本人・保護者に対して、教育機関や教育内容、支援内容等の十分な情報提供	相談	相談	⇒				
4	サポートファイル・個別の指導計画等の活用 早期から一貫した支援のため、サポートファイル・個別の指導計画などを活用	サポートファイル	サポートファイル	⇒				
5	市民公開講座等による理解促進 特別支援教育の啓発研修を実施	研修	研修	⇒				
6	学校生活指導教員による通級指導 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服するための指導	指導	指導	⇒				
7	発達サポートセンター「はびあ」 平成29年6月オープン 発達、情緒・行動面の問題や子育てなどの課題に、相談や指導の支援	開設準備	相談 指導	⇒				

【実施計画】H29

基本方針2 「生きる力」としての「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む教育の推進
 基本的方向(2)

目標設定		成果指標	単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)	
Plan		自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合	目標値	%	26.3	29	33			45
			実績値	%		32.8	34.8			
			評価※年度ごとに記載していく				B	B		

凡例 (→表示) 単年事業 ⇨ 複数年事業 ⇨⇨

①発達段階に応じた系統性を重視した体験活動の実施

所管課 学校教育課

取組	「心の教育」の充実を図るため、児童生徒の発達段階に応じた体験活動を実施します。					
		2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
1	環境体験事業（小3） 体験型環境学習の実施	環境学習	環境学習	⇨		
2	自然学校推進事業（小5） 4泊5日の長期宿泊体験の実施	自然学校	自然学校	⇨		
3	青少年芸術体験事業～わくわくオーケストラ教室～（中1） オーケストラ鑑賞体験の実施	オーケストラ鑑賞体験	オーケストラ鑑賞体験	⇨		
4	地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」（中2） 地域での社会体験活動の実施	社会体験活動	社会体験活動	⇨		

②異年齢交流や縦割り班活動の意図的・計画的な実施

所管課 学校教育課

取組	喜びや憧れの気持ち、自己有用感、思いやりの心等を育むことができるよう、児童生徒の発達段階に応じた様々な交流活動を実施します。					
		2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
1	異年齢交流活動 異学年が一緒に活動	交流活動	交流活動	⇨		
2	縦割り班活 低学年と高学年が一緒に活動する班割り	班活動	班活動	⇨		
3	ペア学年活動 違う学年が同じ活動を通じて交流を深める	学年活動	学年活動	⇨		

⑤就学前教育の充実

所管課 学校教育課

取組	幼児期の教育の質の向上を図るため、幼児が好奇心や探究心を持って活動できるような教育環境を計画的に整え、家庭・地域と連携した子育て支援の充実に努めます。					
		2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
1	幼稚園オープン 幼稚園施設開放と教育内容の紹介のための一般公開	幼稚園 オープン	オープン	➡		
2	合同研修会（幼小、幼保こども園） 幼稚園教諭が小学校や保育園と合同で研修	研修会	研修会	➡	認定こども園開園	
3	未就園児の会 入園前の子どもに対し、園の様子や雰囲気親子で体験	開催	開催	➡	認定こども園開園	
4	子育て相談、子育て情報の提供 子育てに関する相談や情報の提供	相談	相談	➡		
5	認定こども園の開園に向けた協働体制の構築 認定こども園での幼稚園教育と保育の両面のよさを最大限に活かす	構築	協議	➡	認定こども園開園	

【実施計画】H29

基本方針2 「生きる力」としての「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む教育の推進
 基本的方向(3)

心身の健康増進・個性の伸長		→							
目標設定	成果指標	単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)	
Plan	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思 う児童生徒の割合(小6・中3)	目標値	%	79.4	84	86			100
		実績値	%		83.2	78.4			
		評価※年度ごとに記載していく			B	C			

凡例 (→表示) 単年事業 ⇨ 複数年事業 ⇨⇨

①小中学校教員の情報共有による一貫した生徒指導の充実

		所管課		学校教育課					
取組	学校の教育活動全体を通じて、児童生徒間の絆づくりを意識した授業づくり・集団づくりにより、豊かな心や人間関係を構築する力を育成します。さら に、日常的に全教員による児童生徒の観察と情報共有を行うとともに、児童生徒の内面理解に基づく生徒指導を充実します。	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)			
1	学級集団アセスメント事業 心理面から学級集団の状態を把握するための調査	アセスメント 実施	アセスメント 実施	⇨					
2	加東市いじめ防止基本方針(学校いじめ防止基本方針) いじめ対応チーム(SSWを含む)を中心としたいじめの未然防止、早期発見・対応	SSW スクールソーシャルワーカー 対応	対応	⇨					
3	不登校対策委員会(小中連絡会) 小中学校やスクールカウンセラーとの連携による不登校対策の取組	取組	取組	⇨					
4	ネット見守り隊・青少年の相談体制の充実 ネット上のトラブルを未然に防ぐための相談活動	相談	相談	⇨					
5	加東市ネット見守り隊 ネット上のトラブルの早期発見・早期解決に向けた取組	取組	取組	⇨					
6	北播磨地域ネット見守り隊連絡会 北播磨5市1町によるネット上の情報の共有化	取組	取組	⇨					
実績値	ネット上の不適切な投稿等の発見件数	2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
		-	-	4	11	28			

②発達段階に応じた学校行事の実施

		所管課		学校教育課				
取組	義務教育9年間を通じて、各発達段階に即して児童生徒一人一人の個性や能力を生かす機会を意図的に設定します。	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)		
1	学級、学年、縦割り対抗の各種大会 日常的な異学年交流や縦割り班活動等の実施	大会	大会	⇨				
2	1/2成人式、6年生を送る会(小学校)、3年生を送る会(中学校)等 児童生徒が意欲的に活動する機会の提供	行事	行事	⇨				

③家庭や地域と連携した道徳教育の充実		所管課	学校教育課			
取組	家庭や地域の理解や協力を得ながら道徳教育の充実に努めます。	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
1	「兵庫版道徳教育副読本」等の家庭での活用 家庭での道徳学習啓発	活用	活用	➡		
2	授業参観、オープンスクール等での道徳の授業公開 学校・家庭・地域が連携した道徳	授業公開	授業公開	➡		
3	道徳科に関する研修の実施 道徳教育実践研究事業(全小中学校)の実施と教員の指導力向上	研修	研修	➡		

【実施計画】H29

基本方針2 「生きる力」としての「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む教育の推進

基本的方向(3)-2

心身の健康増進・個性の伸長									
目標設定 Plan	成果指標 地元食材の使用率	単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)	
		目標値	%	16.2	17	17			18
		実績値	%		14.7	14.7			
		評価※年度ごとに記載していく			C	C			

凡例 (→表示) 単年事業  複数年事業 

③運動の習慣化と健康教育、地域と連携した食育の推進

所管課 学校給食センター

取組	生涯にわたって自身の健康保持や運動の習慣化、家庭や地域住民と連携した食育を推進します。								
		2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)			
6 「地産地消」の学校給食 地域の材料を利用した給食の提供		給食	給食						
7 学校給食センターでの体験学習 施設見学による学校給食への理解		体験学習	体験学習						
8 食育の推進 かとう夢プラン 楽しみのある学校給食特別メニュー(毎月1回)、和食給食の提供		特別給食	特別給食						
実績値	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
学校給食の提供数(食)	595,266	597,374	583,581	574,329	574,672				

③運動の習慣化と健康教育、地域と連携した食育の推進

所管課 学校教育課

取組	生涯にわたって自身の健康を保持増進できるよう、運動の習慣化を図るとともに、健康的な生活を送ろうとする態度や能力を育成します。また、家庭や地域住民等と連携した食育を推進します。				
	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
1	小学校水泳教室、水泳交歓会 水泳交歓会：夏季休業中に実施。(会場：6年生は社小、5年生は滝野東小)	水泳教室	水泳教室	➡	
2	中学校スキー教室、部活動 スキー教室：1～2月に中学1年生で実施	部活動	部活動	➡	
3	体力・運動能力テスト 毎年5～7月に全国体力・運動能力、運動習慣等調査の実施	体力テスト	体力テスト	➡	
4	喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育 薬物乱用防止教室：中学校で実施	教育	教育	➡	
5	学校における保健指導 発達段階に応じた性教育の充実	指導	指導	➡	
6	学校における食育の推進 学校給食を活用した食育の推進	教育	教育	➡	

【実施計画】H29

基本方針3 子どもたちの学びや育ちを支える仕組みの確立
 基本的方向(1)

学校の組織力及び教職員の資質能力の向上									
目標設定 Plan	成果指標		単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
	授業中にICTを活用して指導することができる教員の割合(小・中)	目標値	(%)	78	81	85			95
		実績値	(%)		80.1	85.3			
	評価※年度ごとに記載していく					B	B		

凡例 (→表示)	単年事業	⇨	複数年事業	⇨⇨
----------	------	---	-------	----

①計画的・継続的な教職員研修の実施

所管課	学校教育課
-----	-------

取組	今日的な教育課題に対応することができるよう、教員の資質・能力の向上を図る研修を実施します。					
		2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
1	教職員夏季研修 教職員を対象とした悉皆研修	研修	研修	⇨		
2	シリーズ研修 より専門的な内容に対応した研修	研修	研修	⇨		
3	hyper-QU事例検討会 hyper-QUの結果分析・事例の検討	結果分析・検討	結果分析・検討	⇨		
4	学校経営研究発表会 研究指定校による学校経営研究発表会	研究発表会	研究発表会	⇨		
5	教職員の短期海外研修 ICT教育と英語教育に先進的に取り組む外国の視察研修	研修	研修	⇨		
6	児童生徒の考える力を高める授業実践事業 各学校の課題に対応した校内研修への講師招聘	研修	研修	⇨		
7	学習指導要領の改訂に関連した各種研修 教職員への研修		研修	⇨		

②保護者や地域住民に開かれた学校づくり

所管課	学校教育課
-----	-------

取組	学校評議員制度を活用して、学校運営の状況を説明し、保護者や地域住民の意向を学校運営に反映した学校づくりに取り組みます。					
		2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
1	学校評価の実施 教育活動等の成果の検証・学校運営の改善への活用	実施	実施	⇨		
2	学校評議員制度の活用 保護者や地域住民の意向を学校運営に反映	活用	活用	⇨		

③教職員の円滑な職務遂行のための職場環境の整備

所管課	学校教育課
-----	-------

取組	一人一人が意欲を持って教育活動にあたることができるよう、教職員相互の協力・協働の職場づくりを推進します。					
		2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
1	『セクシュアル・ハラスメントのない学校に』（兵庫県教委）等を活用した研修の実施 教職員への研修	研修	研修	⇒		
2	『パワー・ハラスメントの防止に向けた取扱指針』（兵庫県教委）の徹底 教職員への周知	周知	周知	⇒		
3	メンタルヘルスの保持増進に配慮した校内体制等の構築 教職員相互の協力・協働の職場づくり	体制構築	体制構築	⇒		
4	校務支援システムの活用 事務作業の効率化	活用	活用	⇒		
5	「教職員定時退勤日」「ノー会議デー」「ノー部活デー」の完全実施 教職員が子ども一人一人と向き合う時間の確保	実施	実施	⇒		

【実施計画】H29

基本方針3 子どもたちの学びや育ちを支える仕組みの確立

基本的方向(2)

安全・安心で信頼される学校づくり									
目標設定	成果指標	単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)	
Plan	避難訓練、防災訓練、防犯訓練等の実施回数	目標値	回	47	48	48			50
		実績値	回		47	52			
		評価※年度ごとに記載していく				B	A		

凡例 (→表示) 単年事業  複数年事業 

①保護者や地域住民の参画を得た学校行事の積極的な実施

所管課 学校教育課

取組	学校・家庭・地域の連携をより強化し、信頼される学校づくりを行うため、保護者や地域住民の参画を得た学校行事を積極的に実施します。					
		2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
1	運動会、体育祭、音楽会、文化祭等の学校行事 保護者・地域住民の学校行事への参加	学校行事	学校行事			
2	ふるさと学習、体験学習 地域の特徴や人材を活用した学習	学習	学習			
3	ホームページ、学校だよりでの情報発信 地域への情報発信	情報発信	情報発信			

②子どもたちが安全な環境の中で、安心して学校生活を送れる環境づくり

所管課 学校教育課

取組	子供たちの安全を守る環境づくりを推進するため、学校・家庭・地域が連携し、防災訓練等を実施します。					
		2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
1	避難訓練、防犯訓練、防犯教室 児童・生徒・園児と教職員が学校での訓練を実施	訓練	訓練			
2	教員研修（不審者対応等） 教員の不審者対応研修	研修	研修			
3	引き渡し訓練 家庭と連携した防災訓練の実施	訓練	訓練			
4	学校自主防災組織合同訓練 消防署や警察署などと合同での訓練を実施	訓練	訓練			

【実施計画】H29

基本方針3 子どもたちの学びや育ちを支える仕組みの確立

基本的方向(2)

安全・安心で信頼される学校づくり

目標設定 Plan	成果指標 安全・安心な施設に向けた事業の取組み件数	単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
		目標値	—	設定なし				
		小(件数)		3(トイレ洋式化)	4(体育館窓等)			
		中(件数)		3(電子黒板)	2(体育館外壁等)			
		評価※年度ごとに記載していく		A	A			

凡例 (→表示)	単年事業	⇒	複数年事業	⇔
----------	------	---	-------	---

③学校教育施設や教材などの教育環境や就学支援の充実

所管課 教育総務課

取組	学校施設の整備、耐震化やICT機器の整備、就学支援により、安全で快適な教育環境を充実します。							
	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)			
1 小中一貫校の整備 平成33年東条地域小中一貫校開校に向けた取組	調査	設計 買収	設計 建設	建設	建設			
平成36年 社地域小中一貫校開校に向けた取組			調査	買収	建設			
2 学校施設の補修、改修工事 老朽化による補修や安全・安心な施設管理に向け、計画的な事業の実施	工事	工事						
3 ICT機器の整備、更新 電子黒板などのICT機器や教育用コンピュータの管理、整備、更新	更新	校務支援 サーバ更新						
4 就学援助や就学奨励事業 経済的な理由で就学が困難、または、特別支援が必要な児童生徒の保護者への支援	支援							
実績値	2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
耐震対策工事								
体育館等天井		2	2	-	-			
体育館天井照明		8	-	-	-			
体育館外壁		1	2	-	1			
学校トイレの洋式化工事		滝東小	社小、滝南小、三草小	3	※小中一貫校整備に合わせて中止			
電子黒板の整備	6	三草、滝東、滝南、社、滝中、東条中:→	三草、鴨川	3	-			
タブレットPC等の整備		三草小、鴨川小、東条東、東条西	福田小、社中、東条中	-	3			

【実施計画】H29

基本方針3 子どもたちの学びや育ちを支える仕組みの確立

基本的方向(3)

子どもたちの健全な成長を見守り支える体制づくり		→							
目標設定 Plan	成果指標	単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)	
	各校で開催している「情報モラル研修会」に参加した保護者、地域住民の人数	目標値	(人)	814	900	930			1000
		実績値	(人)		918	744			
		評価※年度ごとに記載していく			B	D			

凡例 (→表示) 単年事業 ⇨ 複数年事業 ⇨⇨

①学校・家庭・地域と社会教育関係機関が一体となった環境づくり

所管課 青少年センター、学校教育課

取組	地域住民が様々な経験や特技を生かして、授業や部活動など学校の教育活動が活発化するように地域への支援を求めています。また、地域における子どもたちの安全確保について、広範囲な人々の参画を得た取組を進めます。	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
1	いきいき学校応援事業 学校支援ボランティア等を活用した学習を積極的に進める。	事業	事業	⇨		
2	子ども見守り隊・青色パトロールカー 地域の子ども見守り隊と連携を図り、学校や通学路の安全を確保する。	パトロール	パトロール	⇨		
3	部活動指導補助員 外部指導者の支援を受け、部活動指導の充実を図る。	指導	指導	⇨		
4	情報モラルの研修 インターネット上のルールやマナーについて研修会を開催し、周知を図る。	研修	研修	⇨		

②子どもと子育て家庭を支える仕組みづくり

所管課 学校教育課、教育総務課

取組	幼児一人一人の特性に応じた教育・保育を実施し、安心して子育てができる環境づくりのために、家庭・地域との連携による子育て支援の仕組みづくりに取り組みます。	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
1	認定こども園の整備 平成31年の新設認定こども園に向け、取組む。	整備	設計 建設	⇨	オープン	
2	子育てサークル等が行う子育て講演会・教育講演会等の支援 保護者が安心して子育てができるように、講演会を支援する。	支援	支援	⇨		
3	就学援助事業 平成29年度から幼児教育を受けられる機会を確保するため教育費相当額を助成する。	助成検討	助成検討	⇨		
4	虐待防止対策 スクールソーシャルワーカーを配置し、家庭環境等に課題のある子供や保護者を支援する。	対策	対策	⇨		

【実施計画】H29

基本方針3 子どもたちの学びや育ちを支える仕組みの確立

基本的方向(4)

家庭の教育力の向上 									
目標設定 Plan	成果指標		単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
	保護者等を対象とした各種講座の回数	目標値	回	30	33	36			45
		実績値	回		32	34			
		評価※年度ごとに記載していく			B	B			

凡例 (→表示)	単年事業 	複数年事業 
----------	--	---

①親の学びの機会の提供、関係機関の連携による地域が家庭を見守る体制づくり

所管課 青少年センター、学校教育課、生涯学習課

取組		2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
	親が親として成長するための学びの場として、子どもとの関わり、子どもの生活習慣づくり、保護者同士の交流等の機会や情報提供、相談窓口の開設等を推進します。					
1	市民公開講座の実施 インクルーシブ教育啓発のための研修会の実施	講座	講座			
2	スクールカウンセラーによるメンタルヘルス相談 スクールカウンセラーによる相談活動	相談	相談			
3	青少年センターによる問題行動等の相談 青少年センターによる相談相談活動	相談	相談			
4	親学習や体験学習など、学びの場を提供 あったか加東伝の助かるた大会や小学校チャレンジスクール、PTA研修会などの開催	開催	開催			

【実施計画】H29

基本方針4 生涯学習による、だれもが生きがいをもてる社会の形成

基本的方向(1)

生涯を通じた学びの機会・場の提供 目標設定 Plan 成果指標 講座や講演会の参加者数の増減(市主催事業通年分)		単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
		目標値	-	設定なし				
		実績値	人	10,540	11,295			
		評価※年度ごとに記載していく			A	A		

凡例 (→表示)	単年事業	⇒	複数年事業	⇨
----------	------	---	-------	---

①各年代に応じた学習、施策の取組

					所管課	生涯学習課				
取組	各年代に応じた学習や施策を展開するとともに、利用の少ない青年・壮年世代の人たちのニーズに応じた講座の開催に取組みます。				2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)	
	1	高齢者大学等の講座や各種サークル活動の実施・支援 各年齢層に対する学習機会の提供			支援	支援	⇒			
	2	成人学習講座の開催 青年層や壮年世代向けの学習機会の提供			講座	講座	⇒			
	3	小学生チャレンジスクール 多種多様な体験活動を子どもたちに提供			スクール	スクール	⇒			
	4	ひょうご放課後プラン「子ども教室」 地域の中で子どもたちを育む活動の場を提供			教室	教室	⇒			
実績値	参加者数		H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	1	高齢者大学	463	441	424	392	388			
	2	成人学習事業		127	159	216	222			
	3	小学生チャレンジスクール	769	1,046	863	920	652			
	4	子ども教室	6,074	5,828	6,685	7,736	8,578			

②社会教育関係団体の支援

					所管課	生涯学習課				
取組	新たな活動シーンを共に考え、社会教育関係団体の活動を支援します。				2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)	
	1	連合婦人会や連合PTA等、各種社会教育関係団体活動への支援 活動が活発化するように支援			支援	支援	⇒			
実績値	社会教育関係団体会員数 (子ども会育成連絡協議会、連合PTA ほか)		H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			5,861	5,639	5,700	5,665	5,679			

【実施計画】H29

基本方針4 生涯学習による、だれもが生きがいをもてる社会の形成

基本的方向(2)

文化財保護の推進と活用					2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
目標設定 Plan	成果指標 文化財調査により得られた資料の公開・活用の回数	目標値	単位	H27基準値					
		実績値	回数	設定なし	8	9			—
		評価※年度ごとに記載していく				A	A		

凡例 (→表示)	単年事業	⇨	複数年事業	⇨⇨
----------	------	---	-------	----

①文化財の保護・発掘及び活用

所管課 生涯学習課(埋蔵文化財事務所)

取組	新たな保護・活用事業の展開を図り、地域全体で伝統文化を保護・活用します。	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
1	出前講座等、文化財保護対策事業 文化財の保護や広報、啓発活動を行う	事業	事業	⇨		
2	加古川流域滝野歴史民俗資料館、三草藩武家屋敷旧尾崎家の活用や運営 展示や公開などの運営	運営	運営	⇨		

③芸術・文化活動の振興						所管課	生涯学習課			
取組	多くの市民が、芸術・文化に対し深い興味や関心が持てるよう、積極的に事業を展開します。					2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
	1	公募美術展や文化芸能公演鑑賞事業 各種文化芸能事業等を実施			事業	事業				
実績値		H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
		公募美術展	377	428	454	463	451			
		ギャラリー活用事業	1,308	787	425	332	308			

④芸術・文化団体の支援						所管課	生涯学習課			
取組	芸術・文化を愛する個人やグループが地域の中で活躍・研さんできるよう、文化連盟加入活動団体等を支援します。					2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
	1	加東市文化連盟や加東市美術協会への支援 市の芸術・文化の振興に寄与する活動へ支援			支援	支援				
実績値		H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
		芸術・文化団体会員数 (文化連盟、美術協会)	1,065	985	886	891	800			

【実施計画】H29

基本方針4 生涯学習による、だれもが生きがいをもてる社会の形成

基本的方向(3)

生涯スポーツの普及と振興		単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
目標設定 Plan	成果指標	—	設定なし					
	目標値	—						
	実績値	大会数		9	9			
評価※年度ごとに記載していく				B	B			

凡例 (→表示) 単年事業 ⇨ 複数年事業 ⇨⇨

①生涯スポーツの振興とコミュニティづくりの支援

所管課 生涯学習課

取組	スポーツに多くの市民が興味を持ち、誰もが気軽に参加できるように工夫し、地区対抗や異世代交流のスポーツの機会を提供するなどのコミュニティづくりを支援します。									
		H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
1	ふれあい球技大会等のコミュニティ促進事業 地域内の親善に向けた事業				促進事業	促進事業	⇨			
2	地区親善ソフトボール大会等の地区交流事業 地区親善に向けた事業				交流事業	交流事業	⇨			
3	マラソン大会等の専門技術向上事業 市スポーツ推進員等の技術向上				向上事業	向上事業	⇨			
実績値	社会体育事業参加者数									
	1 コミュニティ促進事業	2,327	2,374	2,436	1,841	1,962				
	3 地区交流事業	70	68	67	72	63				

②スポーツ団体の支援

所管課 生涯学習課

取組	スポーツに対する意欲・関心を高めるため、スポーツ文化の向上に貢献する団体などを支援します。									
		H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
1	加東市体育協会、スポーツクラブ21活動等への支援 施設利用、活動補助、活躍するスポーツ団体及び市民アスリートへの支援				支援	支援	⇨			
2	スポーツ賞賜金（表彰） 競技レベルや意識の向上に、そして、栄誉と誇りを市民と共有				表彰	表彰	⇨			
実績値	体育協会 加入会員数	3,137	3,129	2,937	2,937	2,750				

【実施計画】H29

基本方針4 生涯学習による、だれもが生きがいをもてる社会の形成

基本的方向(4)

社会教育・体育関係施設の管理・運営									
目標設定 Plan	成果指標		単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
		目標値	-	設定なし					-
	安全で快適な施設の管理事業を行った件数	実績値	件数		5	10			
		評価※年度ごとに記載していく			A	A			

凡例 (→表示)	単年事業	⇒	複数年事業	⇔
----------	------	---	-------	---

①社会教育・体育関係施設の管理・運営

		所管課		生涯学習課						
取組	社会教育・体育関係施設を、安全・安心な施設として市民に提供します。									
		2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)				
	1 施設の管理・運営 老朽化した施設の補修や安全・安心な施設管理に向けた事業の実施	管理	管理	⇔						
実績値	管理施設	管理数	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	合計	28	28	28	28	28	27			
	公民館	3	3	3	3	3	3			
	コミュニティ施設	3	3	3	3	3	2			
	文化会館	3	3	3	3	3	3			
	体育館	6	6	6	6	6	6			
	グラウンド	9	9	9	9	9	9			
	複合施設(滝野、 明治館)	1	1	1	1	1	1	1		
	加古川流域滝野歴史民俗資料館	1	1	1	1	1	1	1		
	三草藩武家屋敷旧尾崎家	1	1	1	1	1	1	1		

【実施計画】H29

基本方針4 生涯学習による、だれもが生きがいをもてる社会の形成

基本的方向(5)

市立図書館の充実									
目標設定 Plan	成果指標		単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
		目標値	%	47	48	49.0			50
		実績値	%		49.5	50.5			
		図書館利用の市民登録率	評価※年度ごとに記載していく			B	B		

凡例 (→表示) 単年事業  複数年事業 

①資料提供・情報提供の充実

所管課 図書館

取組								
小中学校の学校図書館と緊密な連携、協力を保ち、子どもたちが自ら学ぶ場としての利用を高めるよう努めます。図書館資料の貸出や問合せの対応を行うとともに、ケーブルテレビ、広報及び図書館だよりにより情報提供を行います。	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)			
1 充実した資料貸出の実施 「読みたい」「知りたい」「楽しみたい」といった要求に応える資料及び情報の提供	図書館だより 貸出	図書館だより 貸出	→					
2 充実した予約サービスの実施（ウェブ予約） ウェブ予約によるサービス	サービス	サービス	→					
3 学校への団体貸出の実施 学校に図書情報を提供した図書の貸出	貸出	貸出	→					
実績値	2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
貸出冊数	695,489	662,774	632,178	592,329	434,017			
ウェブ予約件数	22,848	21,749	23,472	24,251	19,253			

②魅力ある蔵書の整備・充実

所管課 図書館

取組								
市民の暮らしに生きる資料や、図書を積極的に収集し、新鮮で魅力ある蔵書の確保に努めます。また、加東市や周辺地域に関する資料を積極的に収集し、郷土行政資料の充実に努めます。	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)			
1 図書の購入	購入	購入	→					
2 予約資料の購入	購入	購入	→					
2 郷土資料の購入	購入	購入	→					
3 雑誌スポンサー制度による購入 雑誌の充実を図るため、雑誌のスポンサーを募集	購入	購入	→					
4 特設展示コーナー 話題性を考え、魅力あるテーマに沿った図書を展示	展示	展示	→					
実績値	2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
購入冊数	12,591	13,977	12,844	12,480	8,743			
雑誌スポンサーによる購入冊数	-	-	18	18	13			

③図書館利用の推進

所管課 図書館

取組	子どもに読書の輪を広げたり、市民の自己学習を支援したりする活動を展開し、情報提供する場、市民の憩いの場としての利用を推進します。							
	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)			
1 おとどけ図書館 順次学校を回り、市立9小学校へ1ヶ月間図書館が選定した本を配送	おとどけ 図書館	おとどけ 図書館	➡					
2 おでかけ図書館 図書館の見学とカードを作って図書を借りる体験を提供	おでかけ 図書館	おでかけ 図書館	➡					
3 絵本のおはなし会 中央図書館で月1回から月2回開催	おはなし会	おはなし会	➡					
4 はじめてであう絵本の実施 保健センターと連携し4ヶ月健診時にその母親に絵本を紹介	絵本会	絵本会	➡					
5 会議室を学習室として使用するなどの施設活用 利用者増へつなげるための図書館の有効活用	活用	活用	➡					
6 利用者参加型イベント 読書活動推進事業として、利用者参加型の事業を展開	開催	開催	➡					
7 図書館相互利用 近隣市町の図書館と連携して、図書の貸出	利用	利用	➡					
実績値	2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
参加者数								
おはなし会の延べ人数(おはなし会・ヨミカツイベント)	-	797	460	398	449			
はじめてであう絵本の参加者数(組)	-	287	356	373	261			

【実施計画】H29

基本方針5 人権教育・啓発の推進による、共生社会と人権文化の創造

基本的方向(1)

豊かな人権感覚を培う人権教育・啓発										
目標設定 Plan	成果指標 実施する講演会のに参加して人権問題に関する関心や理解が深まった人の割合		単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)	
		目標値	%	45	46	47				50
		実績値	%		39.2	38.8				
		評価※年度ごとに記載していく				B	B			

凡例 (→表示) 単年事業 ⇨ 複数年事業 ⇨⇨

①人権教育・啓発の推進

所管課 人権教育課

取組	市民が日常生活の中で、人権を尊重することを自然に考え、行動できる感覚を身につけられるよう、学校・家庭・職場・地域における人権に関する学習を一層充実させるよう取り組みます。								
		2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)			
1	人権啓発講演会 あらゆる年齢層の人々が、共に豊かな人権感覚を育むための講演会	講演会	講演会	⇨					
2	人権を考える市民のつどい 人権感覚を培う人権教育・啓発活動の発表(1年間の活動のまとめ)	つどい	つどい	⇨					
3	人権教育スキルアップ講座 学校教育及び行政に携わる職員や市民を対象としたスキルアップ講座	講座	講座	⇨					
4	地域に学ぶ体験学習支援事業 子どもたちの人権意識を高める	支援	支援	⇨					
5	人権の花運動 小学校で花を共同で育て、優しさと思いやりの心を体得する	運動	運動	⇨					
6	各種啓発展示(人権週間等) 「人権文化をすすめる市民運動」(8月)、人権週間(12月)等の啓発活動	啓発	啓発	⇨					
7	テレビ企画番組「夢きらめいて」の放送 人権に関する事業報告及び事業周知、法務局等からの情報提供	放送	放送	⇨					
8	インターネットモニタリング インターネットに流れる人権侵害案件の監視	実施	実施	⇨					
9	小中学校人権教育講演会 小中学校での講演会	講演会	講演会	⇨					
10	幼児期における人権教育の推進 絶対人権感覚を持った幼児の育成	推進	推進	⇨					
実績値		2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
参加者数	人権啓発講演会	450	296	272	485	277			
	人権を考える市民のつどい	414	434	427	342	318			
	人権教育スキルアップ講座	136	85	86	68	88			
	地域に学ぶ体験学習	-	100	129	158	218			

②人権教育の学習資料の提供		所管課 人権教育課				
取組	身近にある人権課題に応じた学習方法や家庭内の子ども、女性、高齢者等にかかわる人権課題について、地区住民学習の実績データを分析・検証し、ケーブルテレビ、情報紙や啓発パンフレットなどにより情報を提供します。					
		2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
1	人権啓発情報紙「夢きらめいて」発行 人権教育・啓発の取組や成果の紹介	発行	発行	⇒		
2	人権啓発用ビデオ「こころの窓」制作 学習教材としての活用	制作	終了	費用対効果を検討し制作しない。		
3	同和問題啓発資料「ふるさと」の活用 住民学習や団体別研修への活用促進	活用	活用	⇒		
4	人権啓発ビデオライブラリの構築 住民学習に役立てるため、新しい教材の充実と活用	構築	構築	⇒		

③人権尊重の視点に立った行政の推進		所管課 人権教育課				
取組	人権教育・啓発の総合的かつ計画的な推進を図るため、「人権施策推進連絡会議」を中心に、全庁体制で適切な進行管理に努めます。					
		2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
1	人権施策推進連絡会議 部長を構成員とする会議を年1回開催	会議	会議	⇒		

④人権教育指導者の充実		所管課 人権教育課				
取組	市民人権講座をとおして、地域リーダーの育成を図り、人権についての多様な実践と理論を備えた人権教育指導者の講師登録を進めます。					
		2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
1	講師登録制度の充実に向けた取組 講師の発掘やリーダー養成のためのセミナー等の開催	取組	取組	⇒		

⑤各種団体が取り組む人権学習への支援		所管課 人権教育課							
取組	各種団体の主体的・自主的な人権教育の取組を支援します。								
		2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)			
1	市民人権講座の開講 地域の人権リーダーの育成	講座	講座	⇒					
2	市人権・同和教育研究協議会事業(地区住民学習会、リーダー研修会、 学校等公開授業、団体別研修、人権出前講座) 人権文化の定着	事業	事業	⇒					
3	市企業人権教育協議会事業(企業経営者研修、社員研修会) 企業や職場における人権意識を高める	事業	事業	⇒					
実績値		2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
	参加者数								
	市民人権講座	688	620	638	742	613			

⑥相談支援体制の充実

所管課 人権教育課

取組	子どもや高齢者に対する虐待、DV、子どもの養育放棄など、家庭の中で起きる様々な人権問題に対する相談や支援機能充実、インターネットを悪用した人権侵害に対する相談の充実にも努めます。				2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)			
	1	人権擁護委員活動 社会福祉協議会が実施する総合相談等の実施			活動	活動	⇒					
	2	インターネット人権トラブル相談事業 インターネット上での人権トラブルに対する相談			相談	終了	ホームページに国等の窓口を掲載し、相談機会を拡大し、インターネットの人権に限定した相談日の開設は終了する。					
	3	広域隣保活動事業 地域福祉の向上と人権意識の高揚を図る			活動	活動	⇒					
実績値	相談件数				2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
	広域隣保活動事業		延べ人数		-	266	345	259	352			

【実施計画】H29

基本方針5 人権教育・啓発の推進による、共生社会と人権文化の創造

基本的方向(2)

男女共同参画社会の実現のための意識・機会・環境・地域づくり									
目標設定 Plan	成果指標 実施する講演会の内容に大変満足している参加者の割合		単位	H27基準値	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
		目標値	%	50	51	52			55
		実績値	%		78.3	71.2			
		評価※年度ごとに記載していく			A	A			

凡例 (→表示) 単年事業 ⇨ 複数年事業 ⇨⇨

①人権尊重と男女共同参画の意識づくり

所管課 人権教育課

取組					2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)	
	セクシュアル・ハラスメントなどの防止の啓発や研修会などを充実させ、市民の人権意識を高める意識づくりに努めます。									
1	男女共同参画セミナー	男女共同参画について話し合い、意識啓発を行う			セミナー	セミナー	⇨			
2	研修会等での啓発用ビデオの活用	研修会等を利用して学習機会を設ける			活用	活用	⇨			
実績値	参加者数	男女共同参画事業	2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
			111	1427	454	448	394			

②あらゆる分野へ参画できる機会づくり

所管課 人権教育課

取組					2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
	女性の活動支援、人材育成に努め、女性が意欲をもって活躍できる機会をつくります。								
1	各種団体の支援	各種団体に対しての活動支援と人材育成			支援	支援	⇨		
2	審議会等への女性登用の促進	政策決定等への女性の参画促進			促進	促進	⇨		

③男女がともに豊かに働ける環境づくり

所管課 人権教育課

取組					2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
	男女雇用機会均等法の周知や、固定的な性別役割意識の解消などの意識啓発を行い男女が豊かに働ける環境づくりに努めます。								
1	男女の均等な雇用機会と待遇の確保	均等な雇用機会と待遇の確保			雇用機会	雇用機会	⇨		
2	ワーク・ライフ・バランスの啓発	「仕事と生活を共存させながら、持っている能力をフルに発揮し、それぞれが望む人生を生きることを目指す」ことを啓発			啓発	啓発	⇨		

④だれもが安心して暮らせる地域づくり

所管課 人権教育課

取組	地域で暮らす人が共に助け合い、支え合う福祉のまちづくりに寄与します。					
		2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
1	福)加東市社会福祉協議会、兵庫県加東健康福祉事務所、保健センター、児童館等との連携 各種活動事業による連携	連携	連携			